

2017(平成 29)年 3 月 31 日

2017(平成 29)年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2017(平成 29)年度名古屋経済大学 FD 委員会

平成 28、29 年度は平成 24 年度より開始した方式（2 年に 1 回は担当科目の授業評価アンケートを実施する）を継続して採用している。平成 29 年度はその後半に当たり、教員あるいは学科がアンケート対象科目を選択した。ただし、専門共通基礎 I, II（19 科目）についてはすべて実施することとした。また、情報科目については前・後期とも全クラスをアンケート対象とした。実施件数は前期 141、後期 140 の合計 281 件であった。

経済学部と経営学部の学生視点結果について、それぞれ「留学生」と「留学生を除く」に項目を分けて統計を出した。また、経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部教育保育学科の学生視点結果について、「スポーツ学生のみ」と「スポーツ学生を除く」に項目を分けて統計を出した。

前・後期ごとに実施科目の個別結果と科目担当者による改善点を含む考察は学内ホームページに掲載し、学生にも閲覧するよう案内を出した。学部学科の傾向については FD 委員会が分析し、その内容を教授会に報告した（詳細は以下参照）。

名古屋経済大学 授業評価アンケート

科目
名称

FD委員会

この授業評価アンケートは、学生による授業評価を通して、授業の改善を図るためのものです。
 学生による回答の秘密は守られ、授業改善のため以外の目的に使用されることはありません。回答が成績評価に影響することは、全くありません。
 誠実な回答をお願い致します。
 回答の仕方：この授業について、各質問にお答え下さい。鉛筆で、回答欄をマークして下さい。

- A. あなたの所属している学部・学科はどこですか。** <回答欄>
- 1: 経済学部・現代経済学科
 - 2: 経営学部・経営学科
 - 3: 法学部・ビジネス法学科
 - 4: 人間生活科学部・教育保育学科
 - 5: 人間生活科学部・管理栄養学科
 - 6: 科目等履修生・研究生
- B. あなたは何年生ですか。**
- 1: 1年生
 - 2: 2年生
 - 3: 3年生
 - 4: 4年生
 - 5: その他
- C. あなたは留学生ですか。**
- 1: はい
 - 2: いいえ
- D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか。**
- 1: はい
 - 2: いいえ
- E. あなたはこの授業のシラバスを読みましたか。**
- 1: はい
 - 2: いいえ
- 1. あなたはこの授業によく出席しましたか。**
- 1: 全部出席した
 - 2: 1-2回欠席した
 - 3: 3-4回欠席した
 - 4: 5-6回欠席した
 - 5: 7回以上欠席した
- 2. あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 13. 複数教員による授業は良かったと思いますか。**
- 1: 強くそう思う
 - 2: そう思う
 - 3: どちらともいえない
 - 4: そう思わない
 - 5: まったくそう思わない
- 14. 自由質問**
- 板書を見て、回答してください。
- 15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください。**
- 良かった点

不満な点

2017年度前期 実施概要

| 所属名 | 対象科目数 (A) | 回収科目数 (B) | 回収率 (B÷A) | コメント 提出科目数 (C) | コメント提出率 (C÷B) |
|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|------------------|
| 経済学部 | 29 | 27 | 93.10 | 27 | 100.00 |
| 経営学部 | 27 | 27 | 100.00 | 27 | 100.00 |
| 法学部 | 17 | 17 | 100.00 | 17 | 100.00 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 28 | 28 | 100.00 | 28 | 100.00 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 8 | 8 | 100.00 | 8 | 100.00 |
| 非常勤 | 34 | 34 | 100.00 | 34 | 100.00 |
| 【全体】 | 143 | 141 | 98.60 | 141 | 100.00 |

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|----------------|---------------------|---------------------|--------------|--------------|
| 経済学部 | 2,131 | 2,060 | 1,315 | 63.83 |
| 経営学部 | 2,697 | 2,697 | 1,864 | 69.11 |
| 法学部 | 2,239 | 2,239 | 1,553 | 69.36 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 1,169 | 1,169 | 995 | 85.12 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 331 | 331 | 300 | 90.63 |
| 非常勤 | 1,040 | 1,040 | 722 | 69.42 |
| 【全体】 | 9,607 | 9,536 | 6,749 | 70.77 |

2017年度後期 実施概要

| 所属名 | 対象科目数 (A) | 回収科目数 (B) | 回収率 (B÷A) | コメント 提出科目数 (C) | コメント提出率 (C÷B) |
|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|------------------|
| 経済学部 | 34 | 34 | 100.00 | 34 | 100.00 |
| 経営学部 | 27 | 27 | 100.00 | 27 | 100.00 |
| 法学部 | 25 | 25 | 100.00 | 25 | 100.00 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 26 | 25 | 96.15 | 25 | 100.00 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 8 | 8 | 100.00 | 8 | 100.00 |
| 非常勤 | 21 | 21 | 100.00 | 21 | 100.00 |
| 【全体】 | 141 | 140 | 99.29 | 140 | 100.00 |

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|----------------|---------------------|---------------------|--------------|--------------|
| 経済学部 | 2,847 | 2,847 | 1,830 | 64.28 |
| 経営学部 | 2,099 | 2,099 | 1,371 | 65.32 |
| 法学部 | 2,284 | 2,284 | 1,505 | 65.89 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 1,247 | 1,213 | 891 | 73.45 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 309 | 309 | 265 | 85.76 |
| 非常勤 | 526 | 526 | 299 | 56.84 |
| 【全体】 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |

[名古屋経済大学] 2017年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

| 設問 | 内容 |
|----|---|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか |

| 所属 | 設問1 | 設問2 | 設問3 | 設問4 | 設問5 | 設問6 | 設問7 | 設問8 | 設問9 | 設問10 | 設問11 | 設問12 |
|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 4.19 | 4.01 | 3.86 | 3.97 | 3.92 | 4.15 | 3.99 | 4.09 | 4.01 | 4.18 | 3.96 | 4.24 |
| 経済学部 | 4.02 | 3.94 | 3.84 | 3.85 | 3.82 | 4.01 | 3.92 | 4.01 | 3.96 | 4.01 | 3.92 | 4.18 |
| 経営学部 | 4.15 | 4.06 | 3.95 | 4.05 | 3.97 | 4.26 | 4.05 | 4.16 | 4.11 | 4.27 | 4.03 | 4.29 |
| 法学部 | 4.05 | 3.91 | 3.81 | 3.88 | 3.83 | 4.01 | 3.88 | 3.98 | 3.92 | 4.09 | 3.83 | 4.13 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 4.25 | 3.97 | 3.82 | 4.00 | 4.07 | 4.22 | 4.01 | 4.04 | 3.90 | 4.29 | 3.99 | 4.30 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 4.69 | 4.10 | 3.83 | 4.01 | 4.02 | 4.24 | 4.08 | 4.13 | 4.09 | 4.26 | 4.04 | 4.29 |
| 非常勤 | 4.19 | 4.11 | 3.88 | 4.12 | 3.95 | 4.28 | 4.10 | 4.25 | 4.01 | 4.30 | 3.99 | 4.36 |

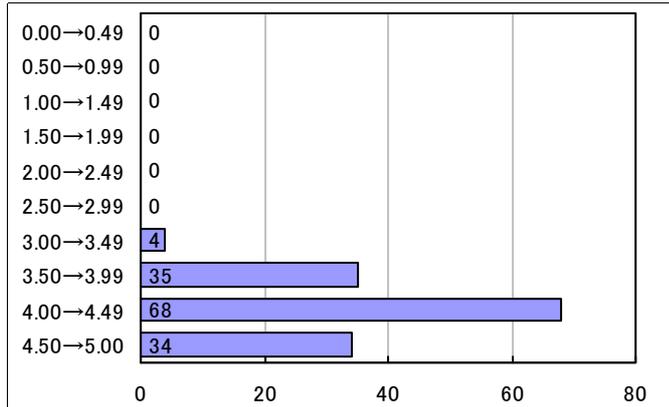
[名古屋経済大学] 2017年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

| 設問 | 内容 |
|----|---|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか |

| 所属 | 設問1 | 設問2 | 設問3 | 設問4 | 設問5 | 設問6 | 設問7 | 設問8 | 設問9 | 設問10 | 設問11 | 設問12 |
|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 4.07 | 4.04 | 3.96 | 4.03 | 3.99 | 4.17 | 4.03 | 4.14 | 4.10 | 4.19 | 4.00 | 4.23 |
| 経済学部 | 3.96 | 3.99 | 3.95 | 3.94 | 3.92 | 4.08 | 3.95 | 4.10 | 4.04 | 4.09 | 3.93 | 4.12 |
| 経営学部 | 4.12 | 4.14 | 4.08 | 4.19 | 4.09 | 4.31 | 4.14 | 4.26 | 4.21 | 4.34 | 4.11 | 4.35 |
| 法学部 | 3.95 | 3.96 | 3.90 | 3.93 | 3.92 | 4.09 | 3.93 | 4.05 | 3.99 | 4.12 | 3.91 | 4.14 |
| 人間生活科学部・教育保育学科 | 4.26 | 4.15 | 3.92 | 4.30 | 4.23 | 4.40 | 4.32 | 4.22 | 4.27 | 4.46 | 4.16 | 4.47 |
| 人間生活科学部・管理栄養学科 | 4.37 | 4.14 | 3.97 | 4.10 | 4.09 | 4.23 | 4.11 | 4.16 | 4.21 | 4.29 | 4.12 | 4.29 |
| 非常勤 | 4.12 | 3.95 | 3.87 | 3.88 | 3.91 | 4.03 | 3.99 | 4.14 | 3.97 | 3.92 | 3.82 | 4.31 |

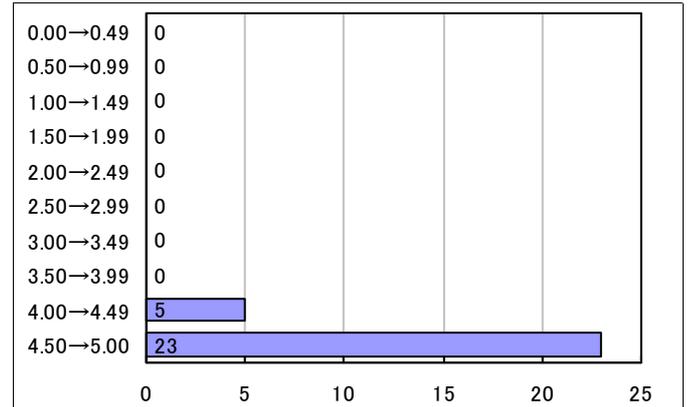
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



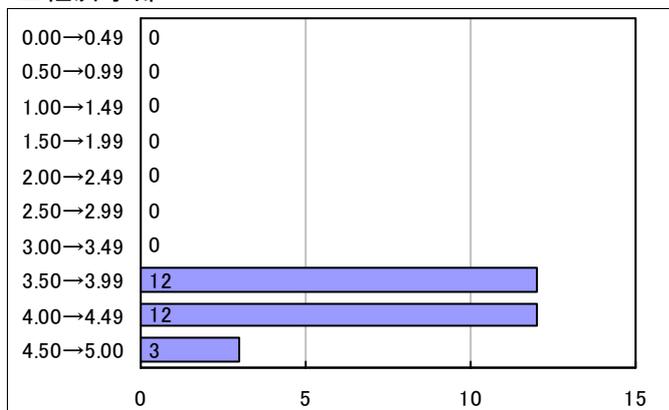
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・管理栄養学科



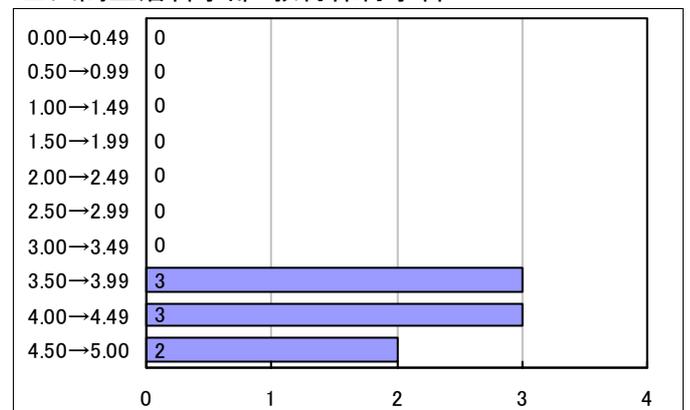
平均値 = 4.69

■経済学部



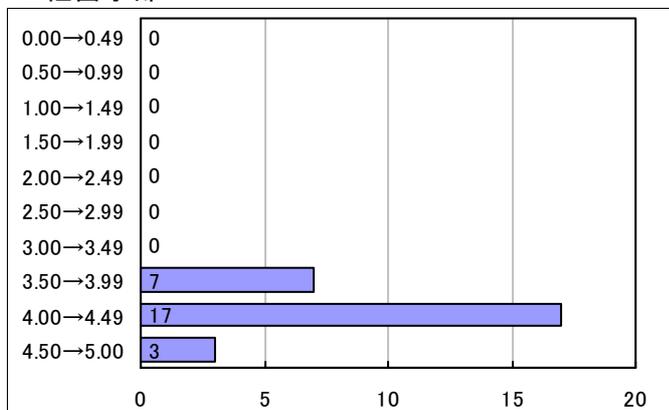
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・教育保育学科



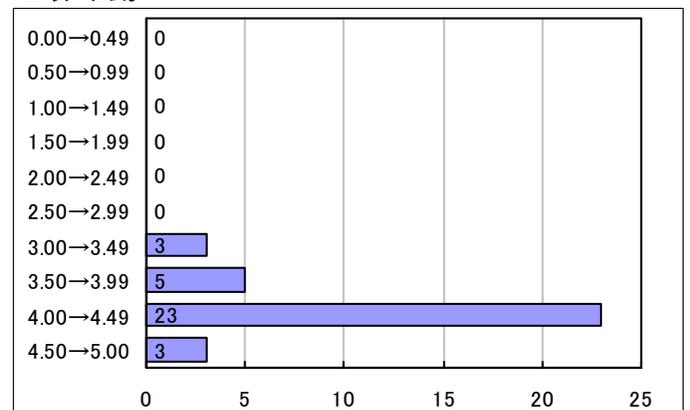
平均値 = 4.25

■経営学部



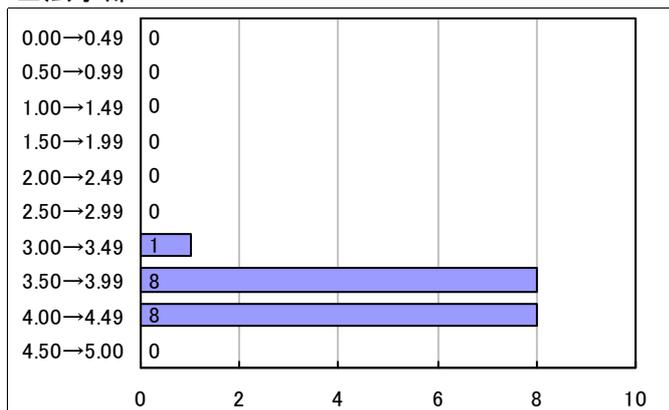
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.19

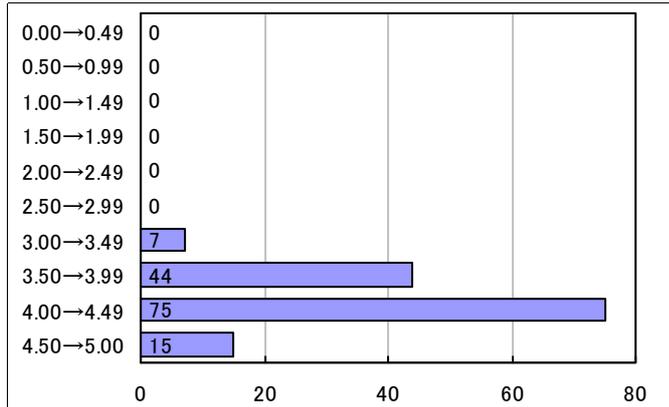
■法学部



平均値 = 4.05

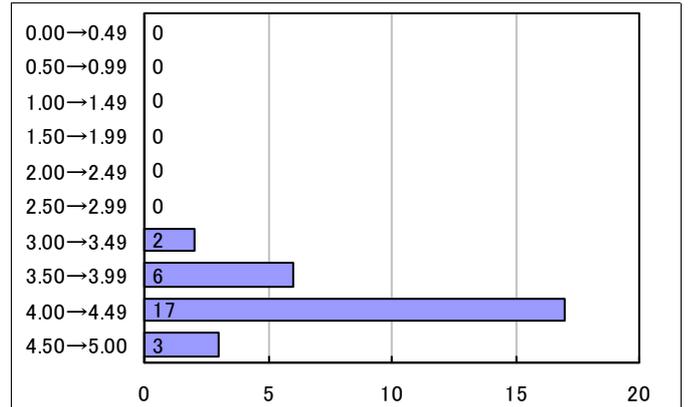
●2.あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



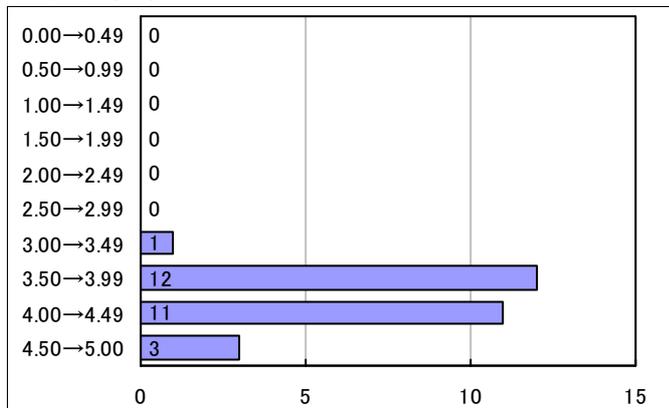
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



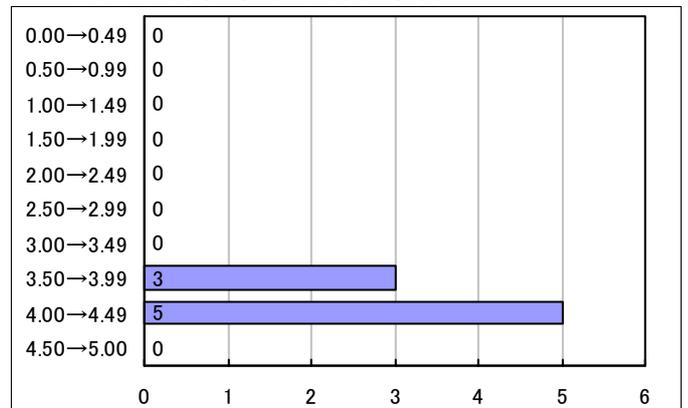
平均値 = 4.10

■経済学部



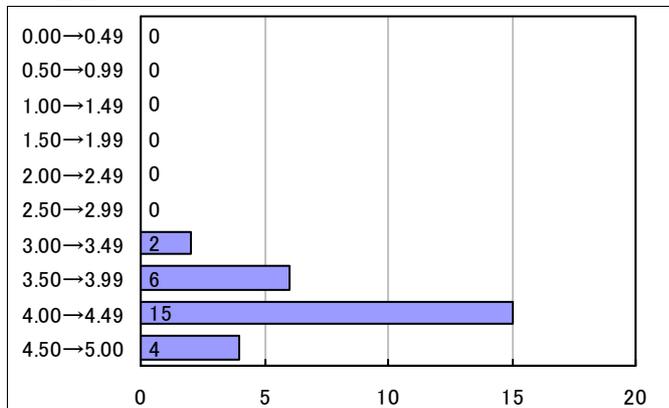
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・教育保育学科



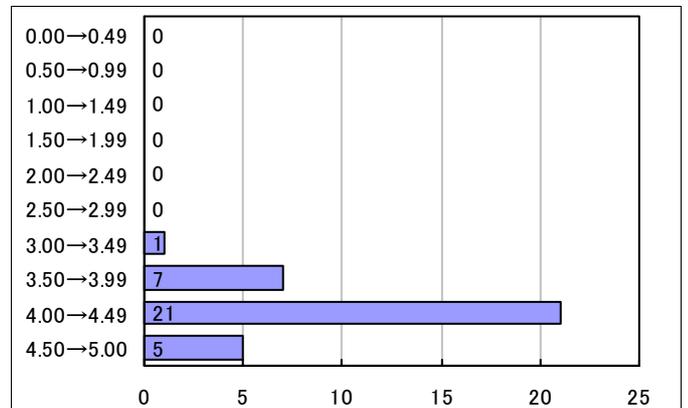
平均値 = 3.97

■経営学部



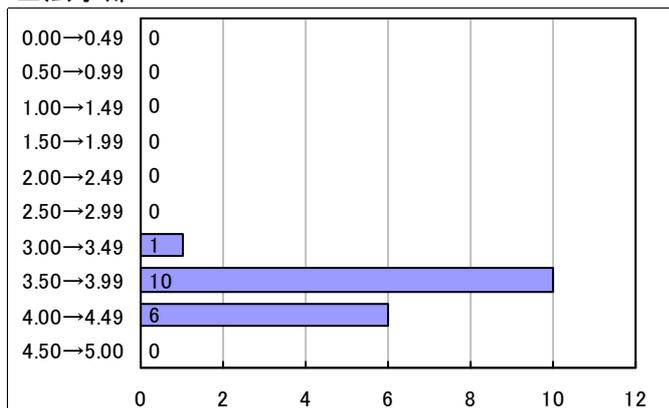
平均値 = 4.06

■非常勤



平均値 = 4.11

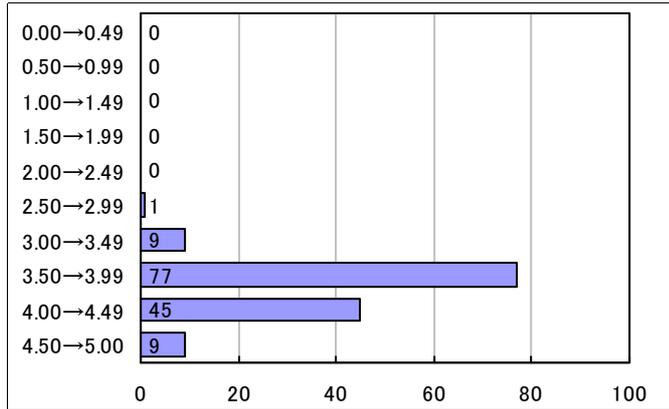
■法学部



平均値 = 3.91

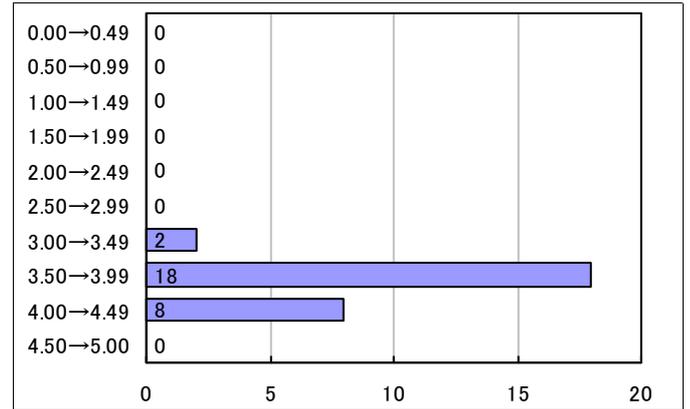
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか

■全体



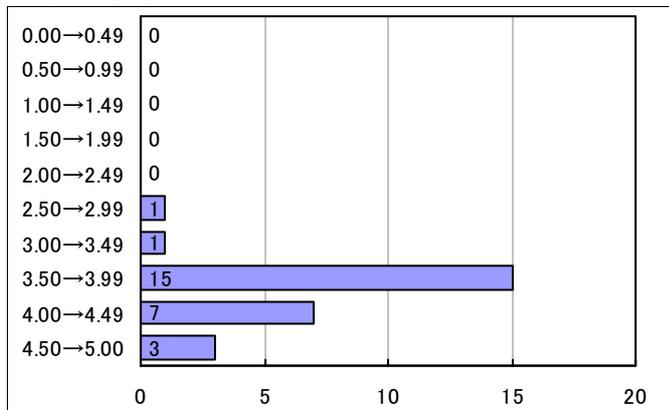
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・管理栄養学科



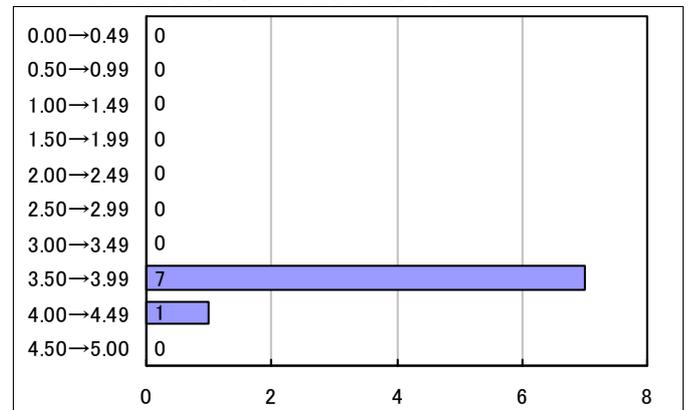
平均値 = 3.83

■経済学部



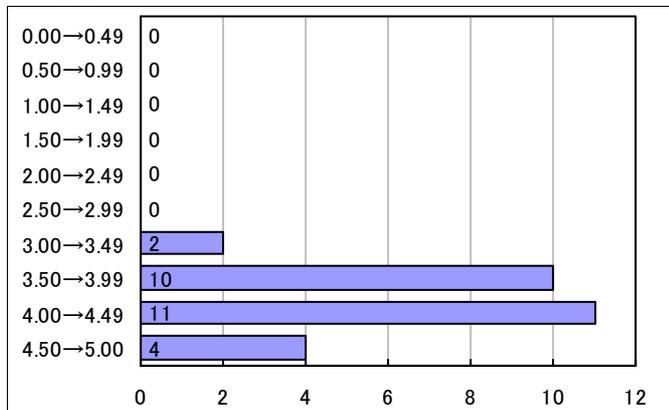
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・教育保育学科



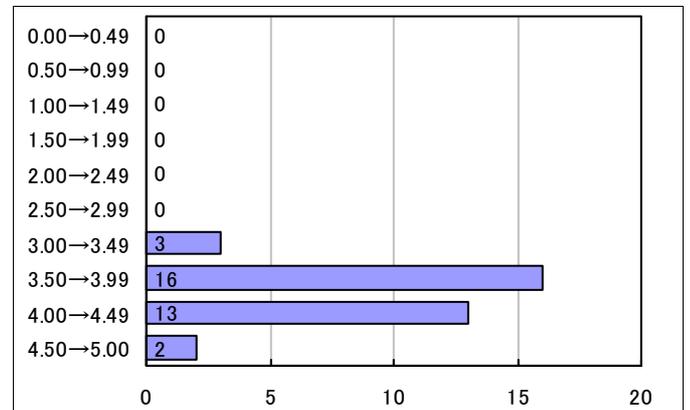
平均値 = 3.82

■経営学部



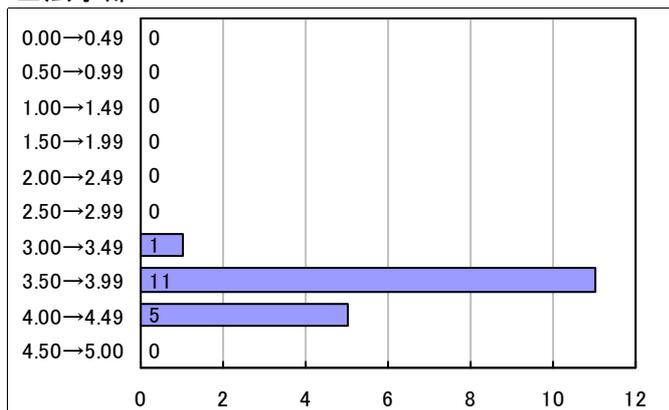
平均値 = 3.95

■非常勤



平均値 = 3.88

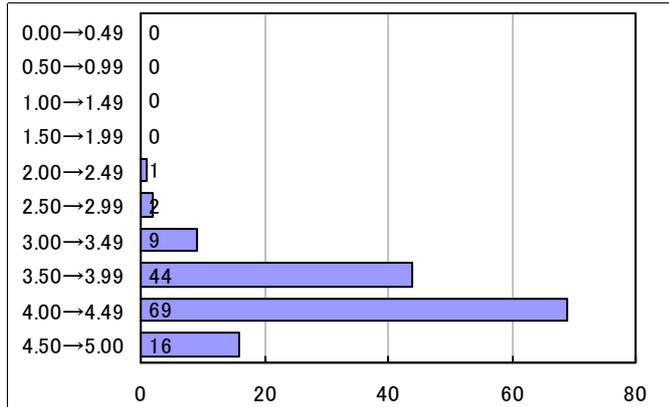
■法学部



平均値 = 3.81

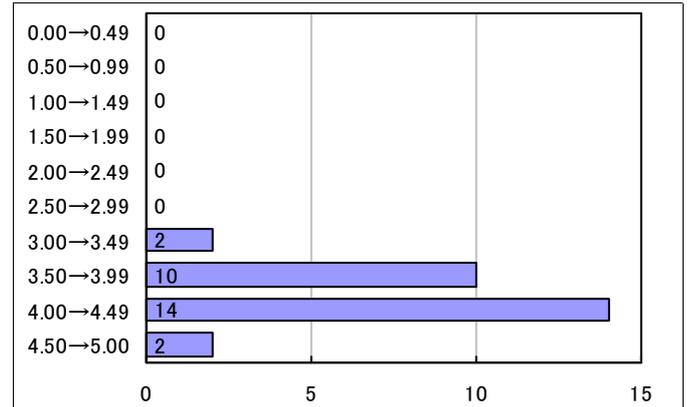
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



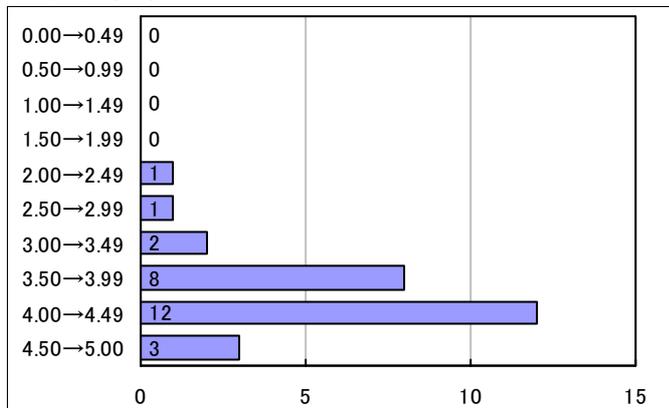
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



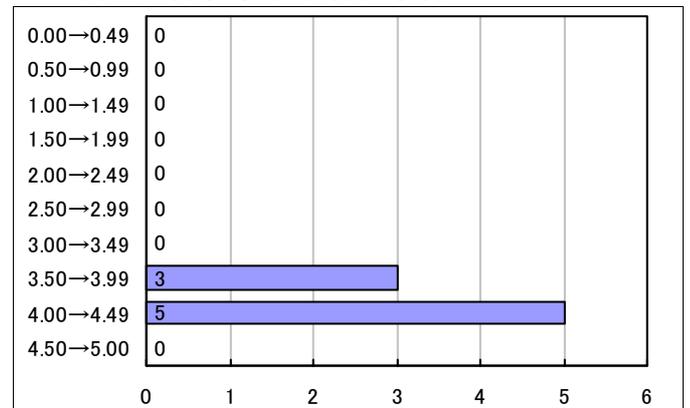
平均値 = 4.01

■経済学部



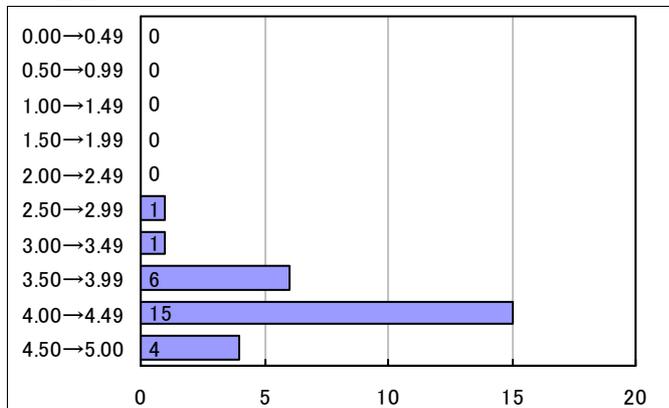
平均値 = 3.85

■人間生活科学部・教育保育学科



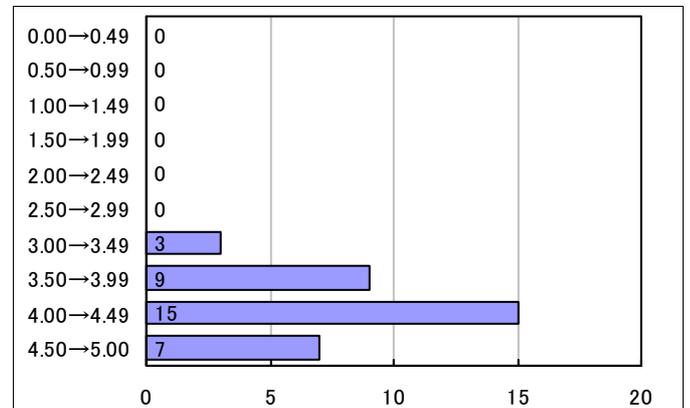
平均値 = 4.00

■経営学部



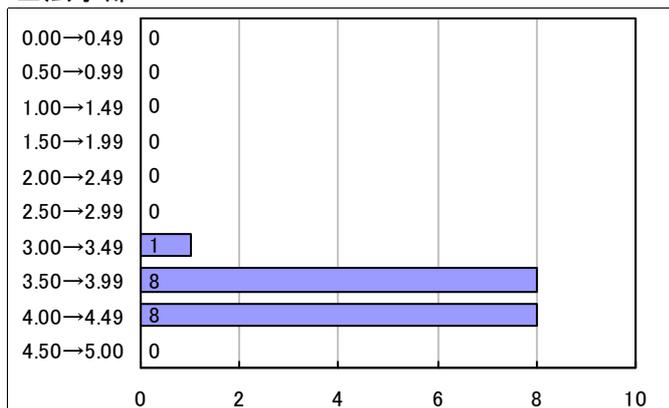
平均値 = 4.05

■非常勤



平均値 = 4.12

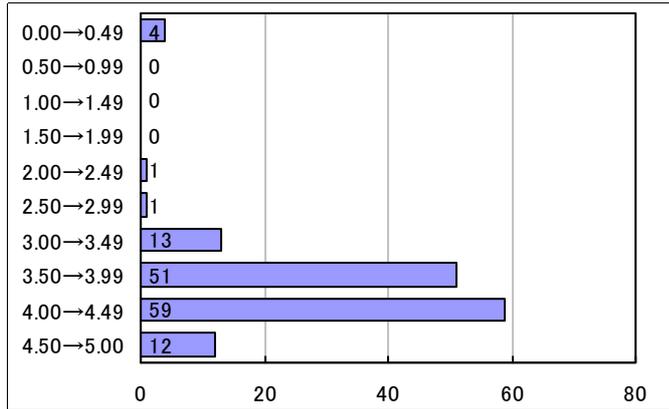
■法学部



平均値 = 3.88

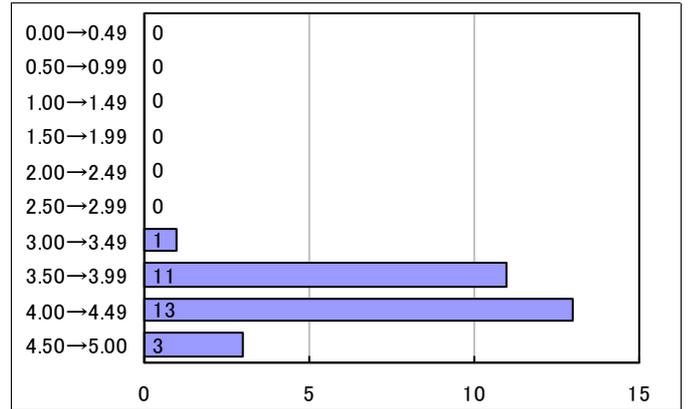
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



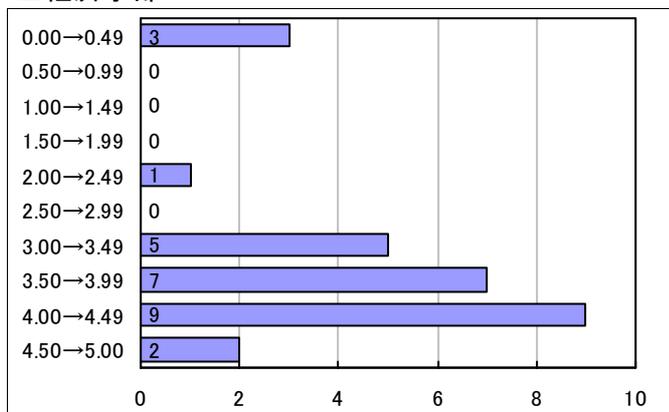
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・管理栄養学科



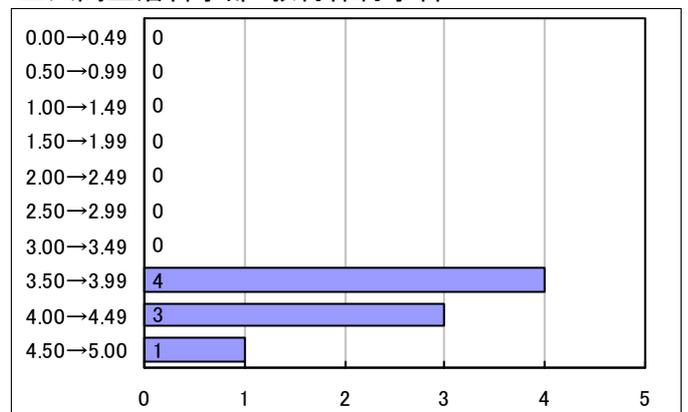
平均値 = 4.02

■経済学部



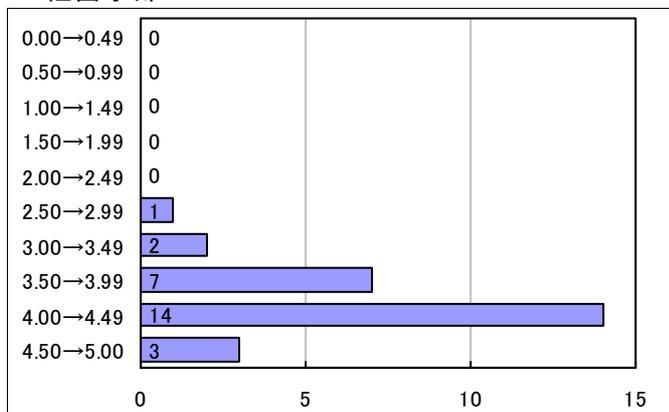
平均値 = 3.82

■人間生活科学部・教育保育学科



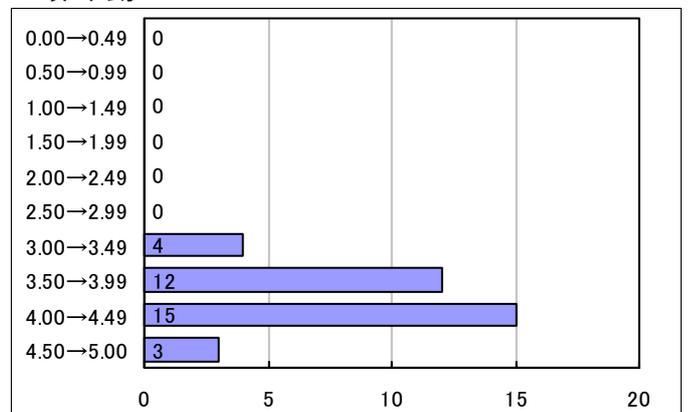
平均値 = 4.07

■経営学部



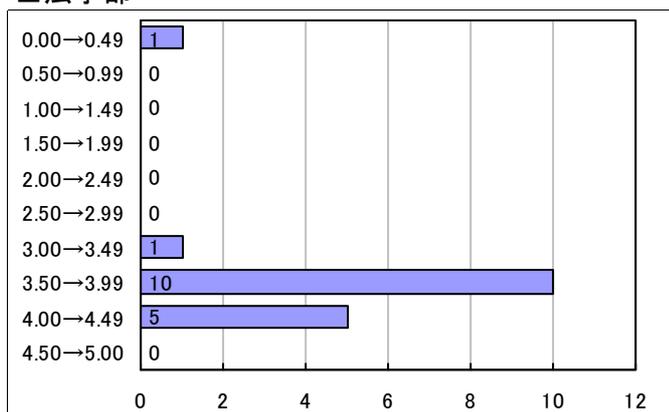
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 3.95

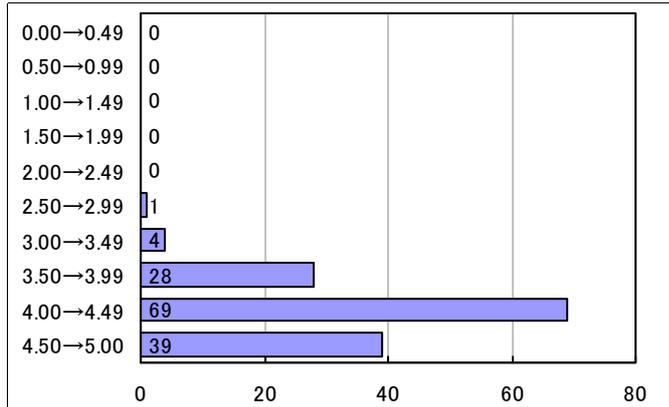
■法学部



平均値 = 3.83

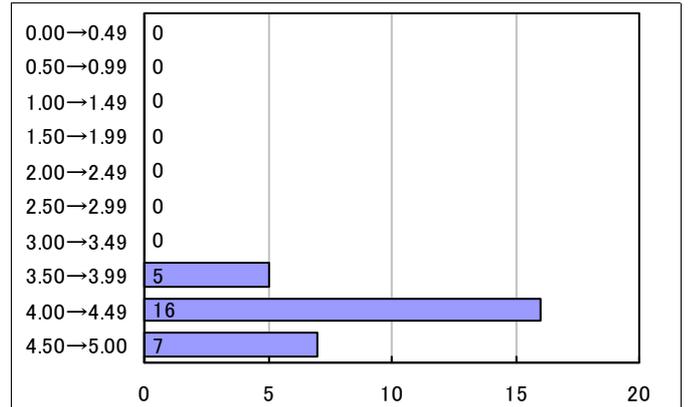
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



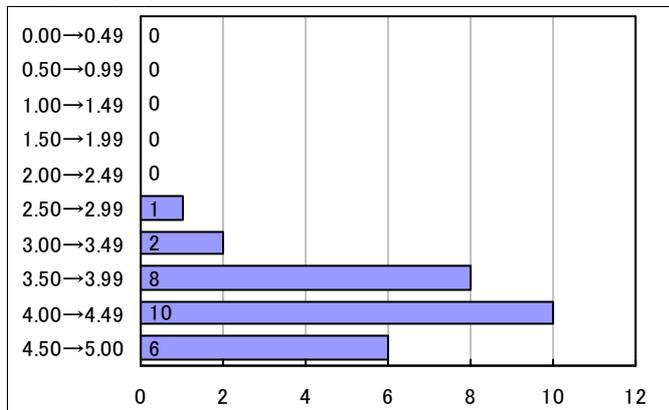
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・管理栄養学科



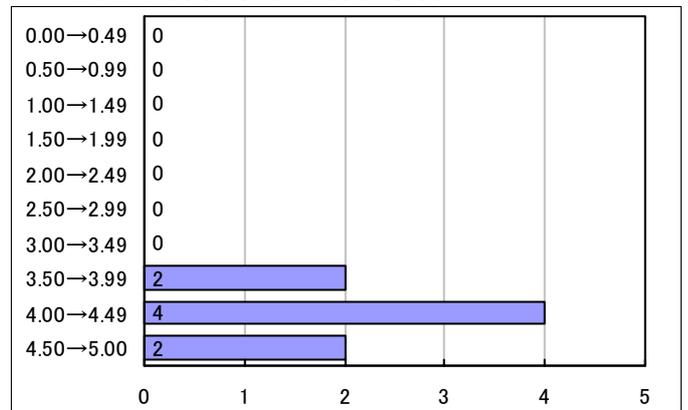
平均値 = 4.24

■経済学部



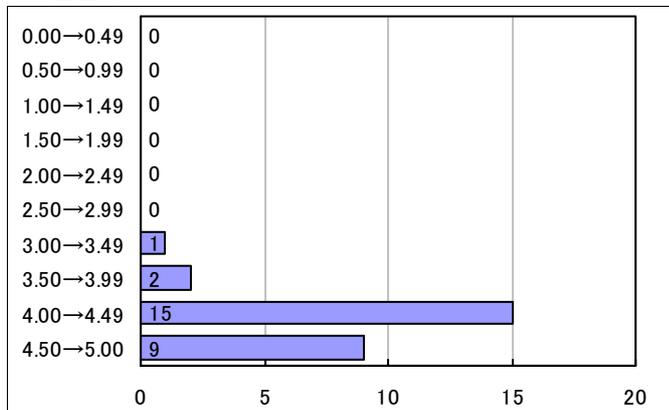
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・教育保育学科



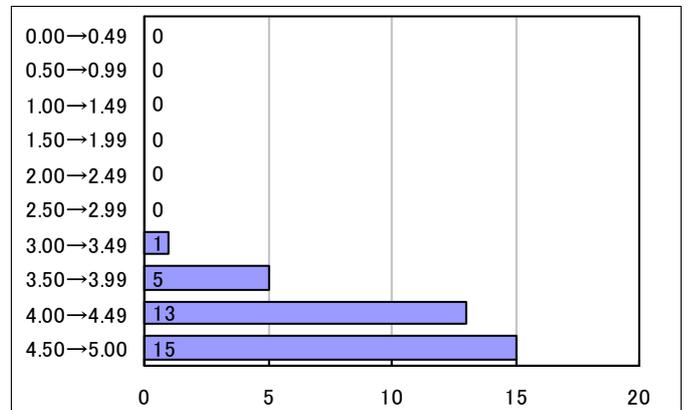
平均値 = 4.22

■経営学部



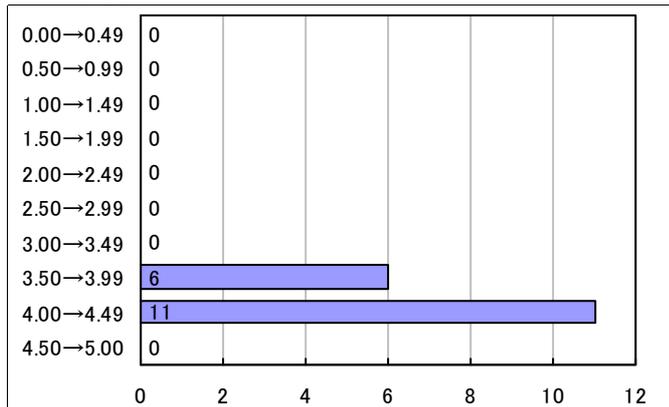
平均値 = 4.26

■非常勤



平均値 = 4.28

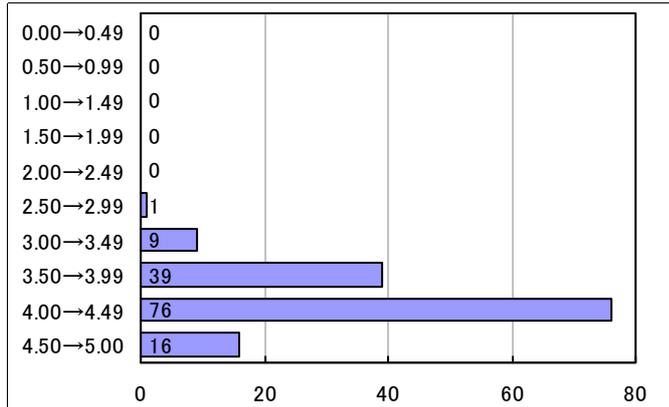
■法学部



平均値 = 4.01

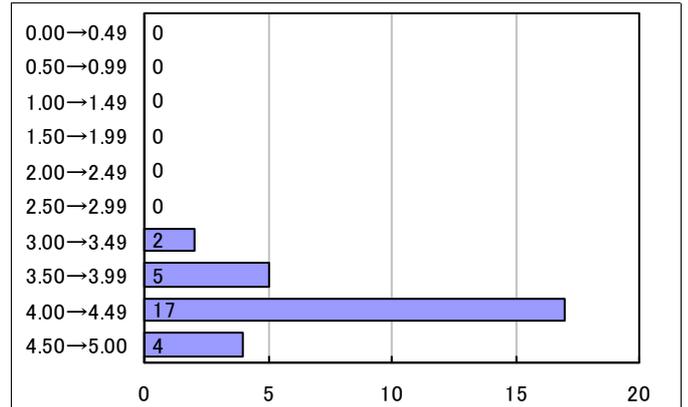
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



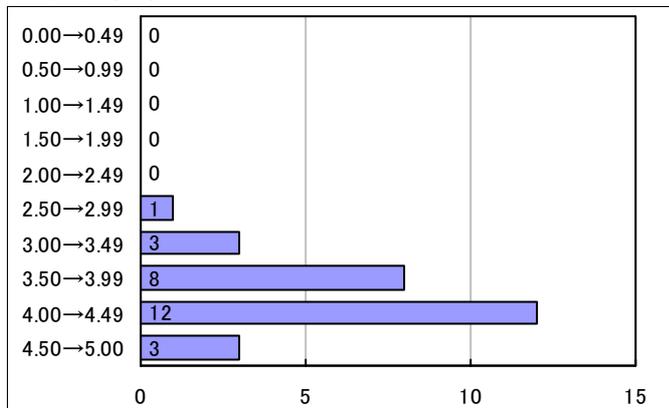
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



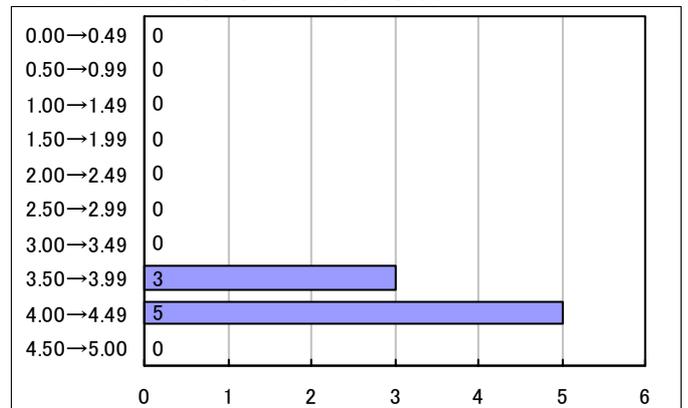
平均値 = 4.08

■経済学部



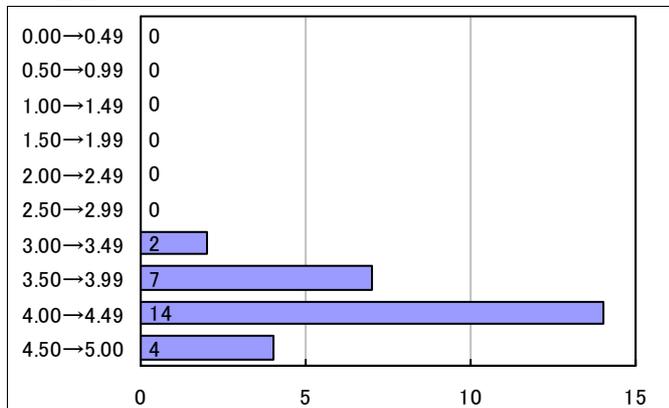
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



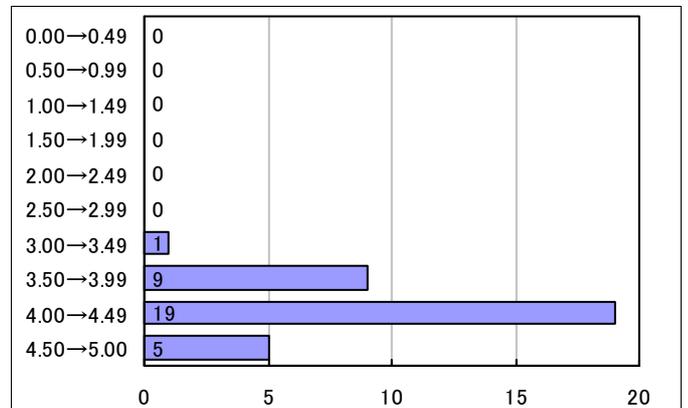
平均値 = 4.01

■経営学部



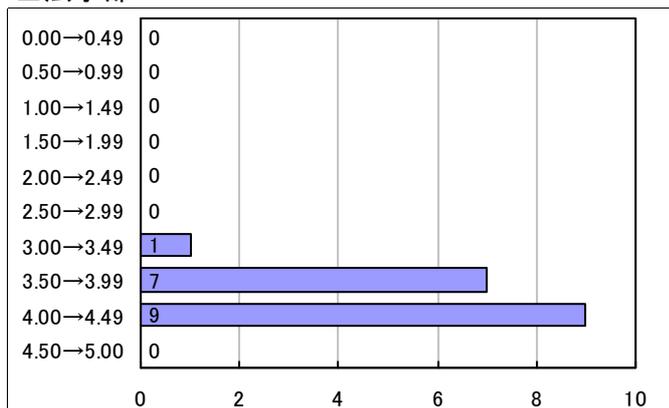
平均値 = 4.05

■非常勤



平均値 = 4.10

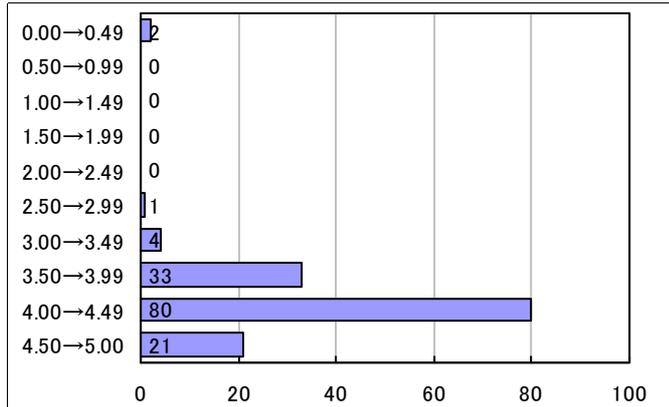
■法学部



平均値 = 3.88

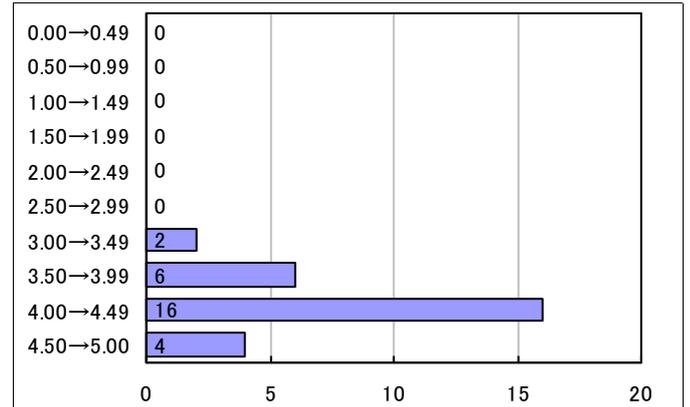
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



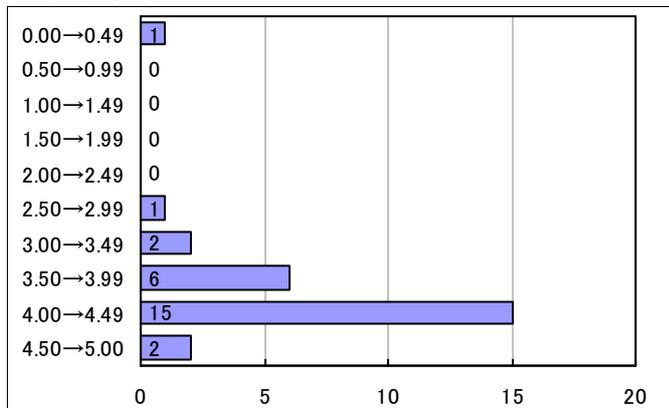
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・管理栄養学科



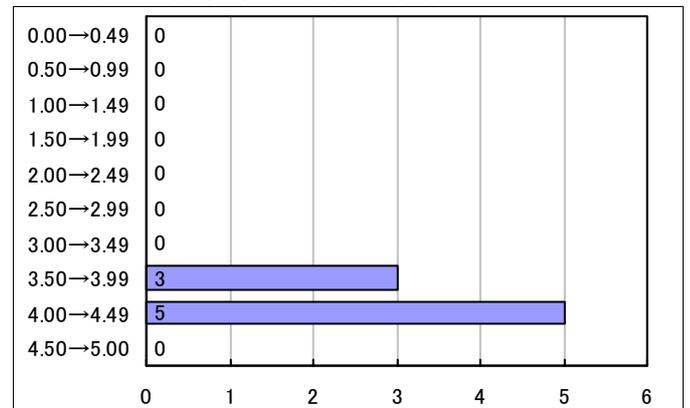
平均値 = 4.13

■経済学部



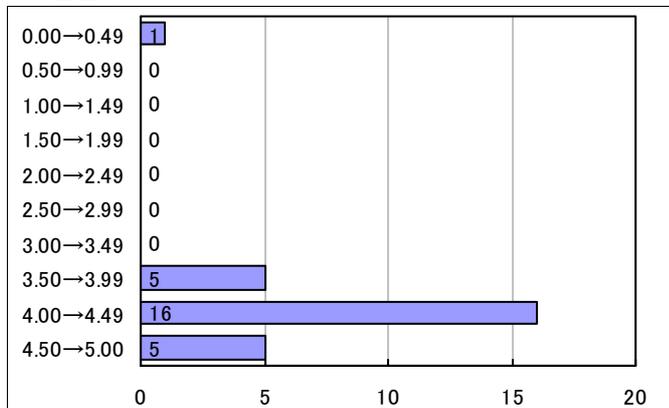
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・教育保育学科



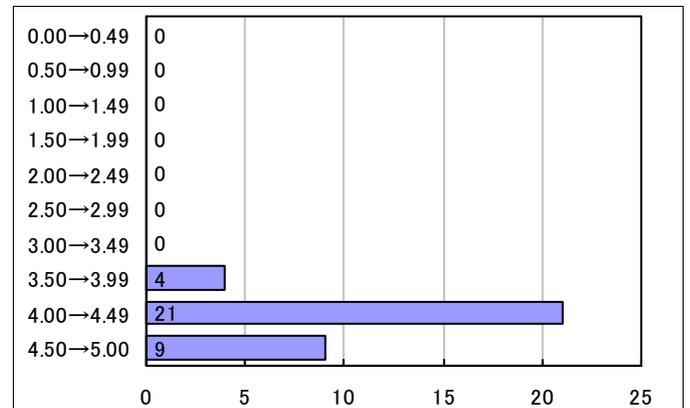
平均値 = 4.04

■経営学部



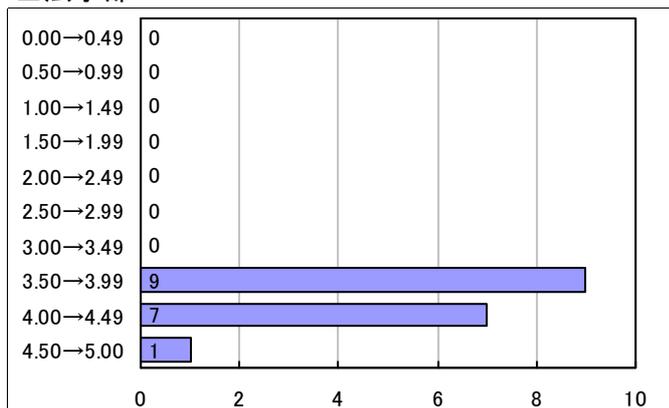
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.25

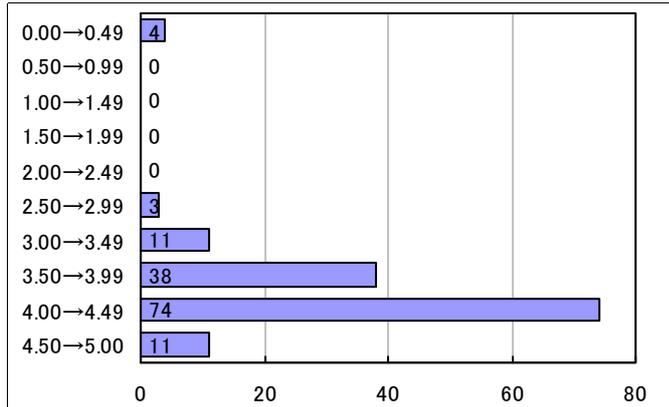
■法学部



平均値 = 3.98

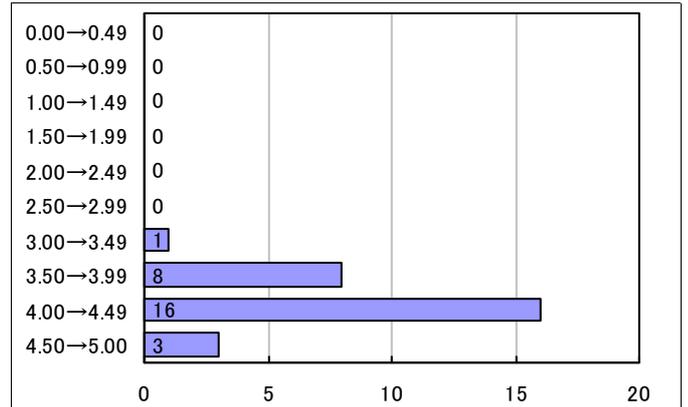
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



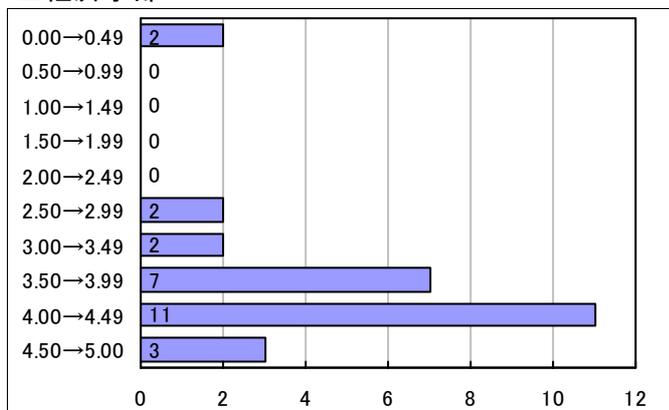
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



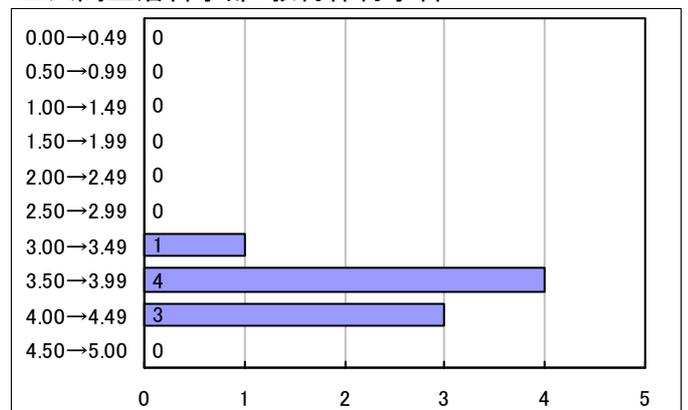
平均値 = 4.09

■経済学部



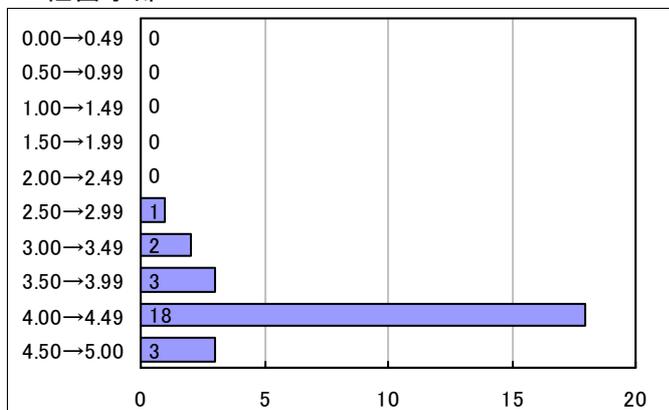
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・教育保育学科



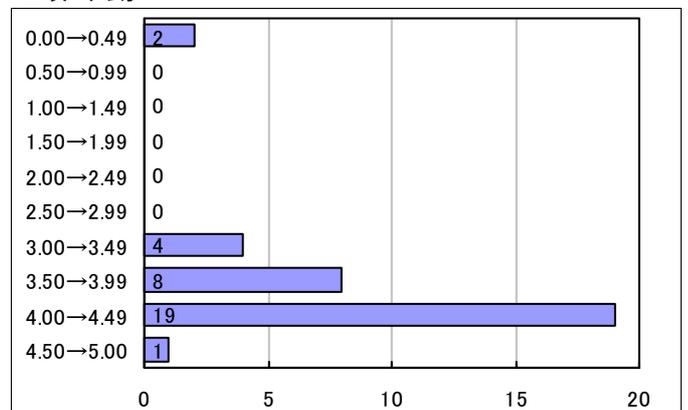
平均値 = 3.90

■経営学部



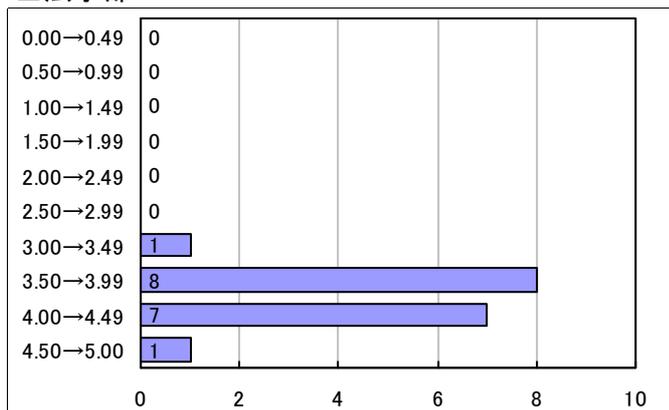
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.01

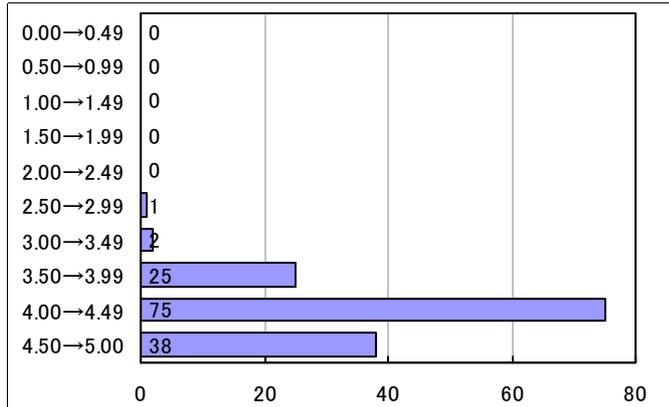
■法学部



平均値 = 3.92

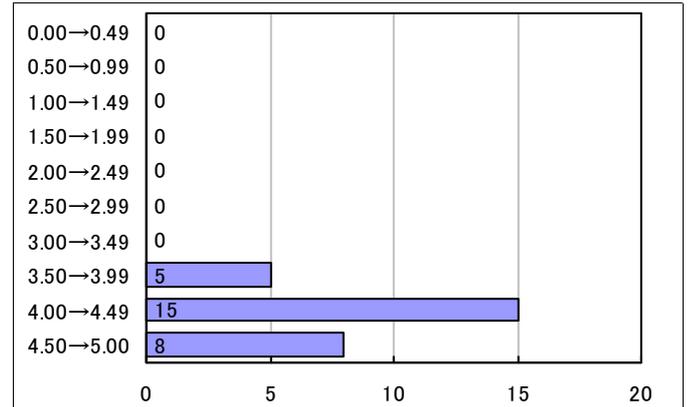
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



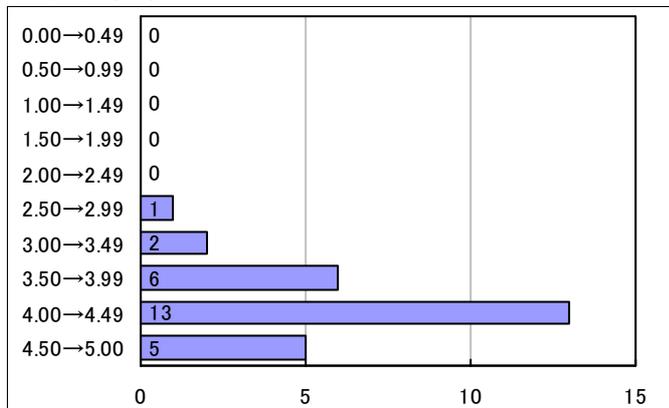
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・管理栄養学科



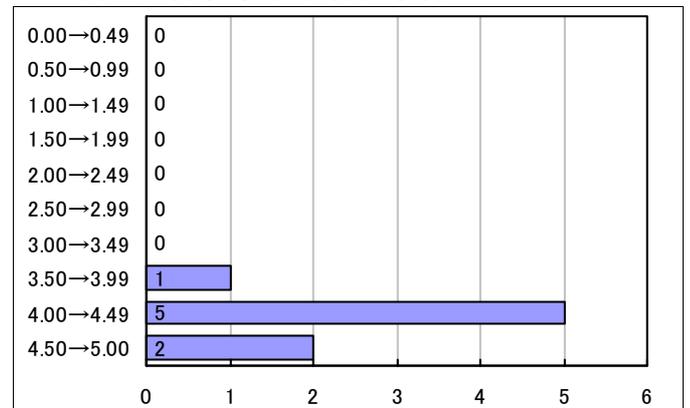
平均値 = 4.26

■経済学部



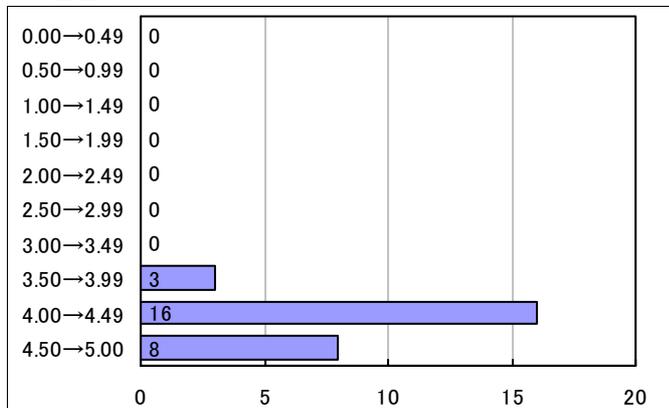
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・教育保育学科



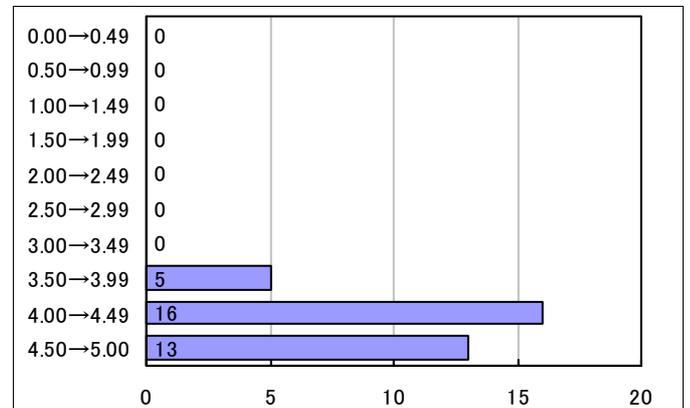
平均値 = 4.29

■経営学部



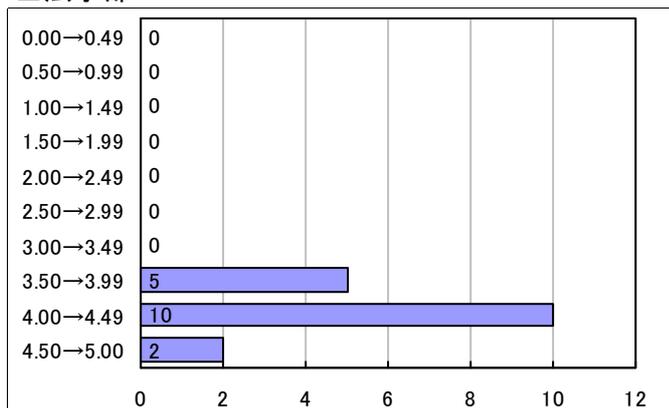
平均値 = 4.27

■非常勤



平均値 = 4.30

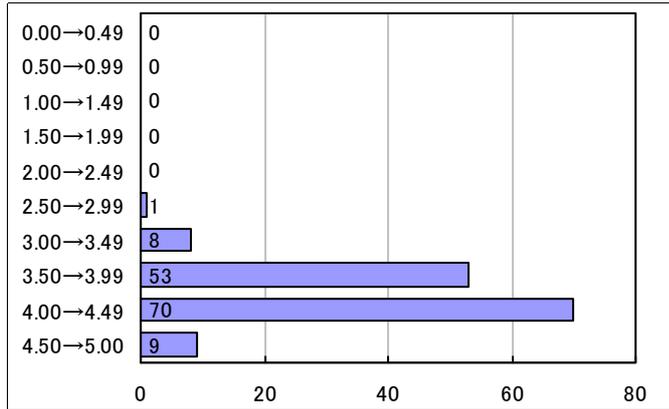
■法学部



平均値 = 4.09

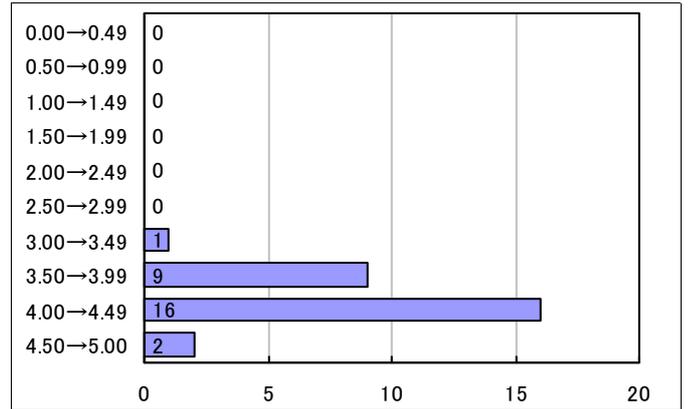
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



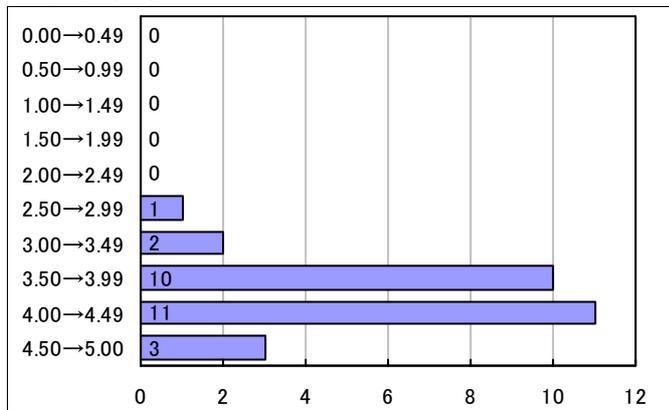
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



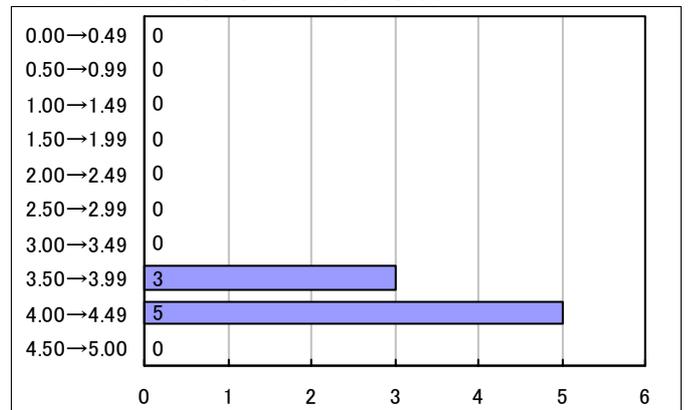
平均値 = 4.04

■経済学部



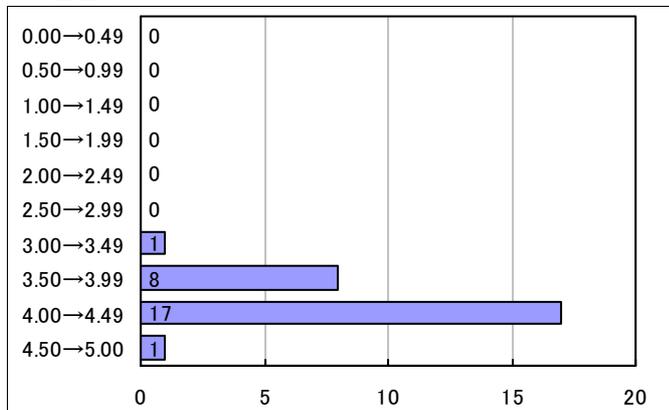
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



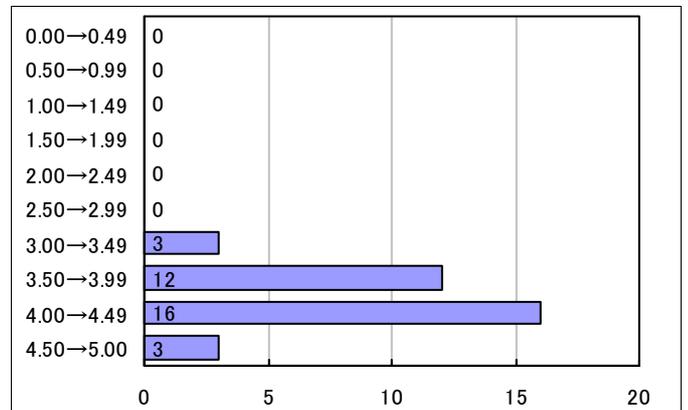
平均値 = 3.99

■経営学部



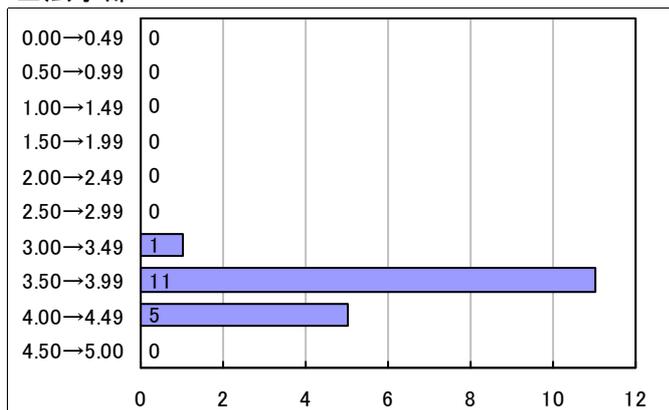
平均値 = 4.03

■非常勤



平均値 = 3.99

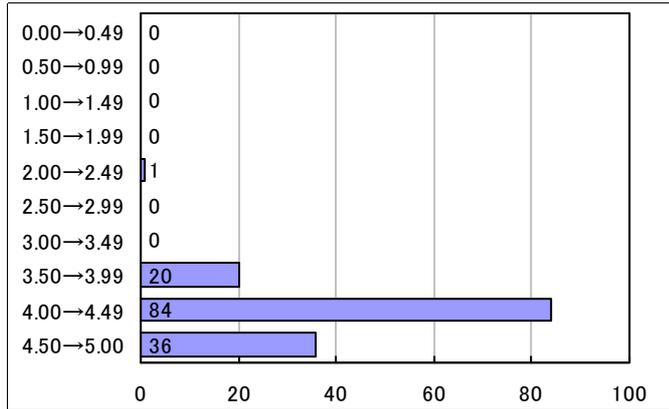
■法学部



平均値 = 3.83

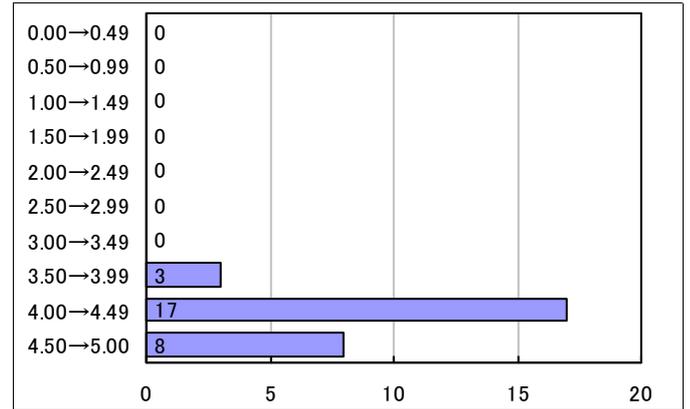
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



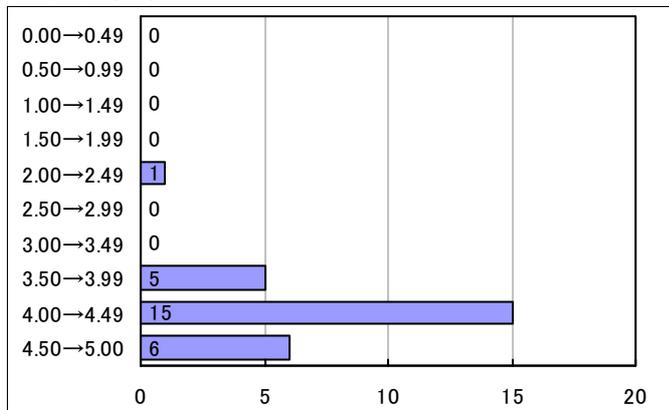
平均値 = 4.24

■人間生活科学部・管理栄養学科



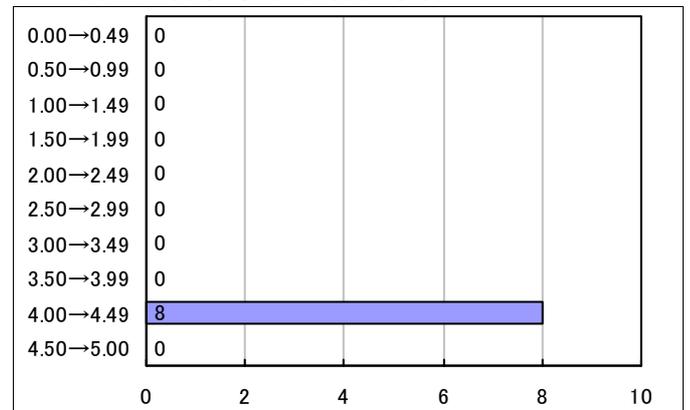
平均値 = 4.29

■経済学部



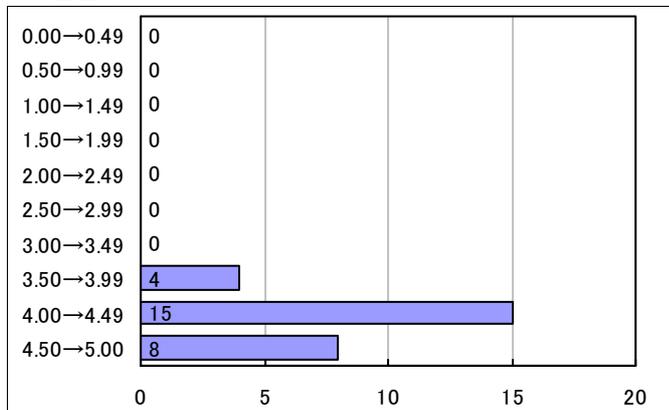
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・教育保育学科



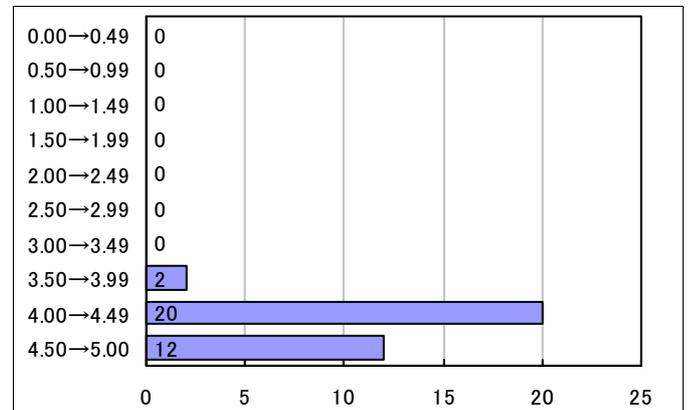
平均値 = 4.30

■経営学部



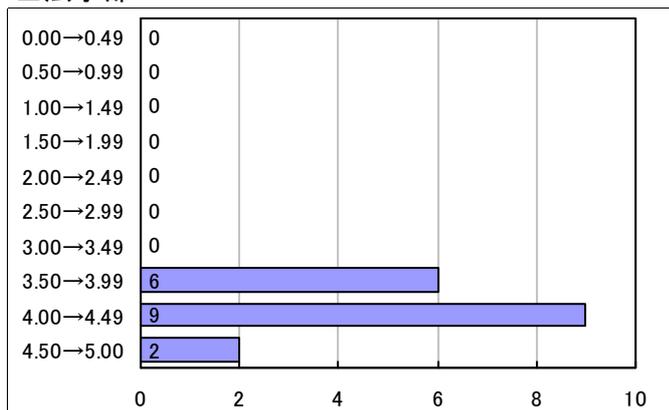
平均値 = 4.29

■非常勤



平均値 = 4.36

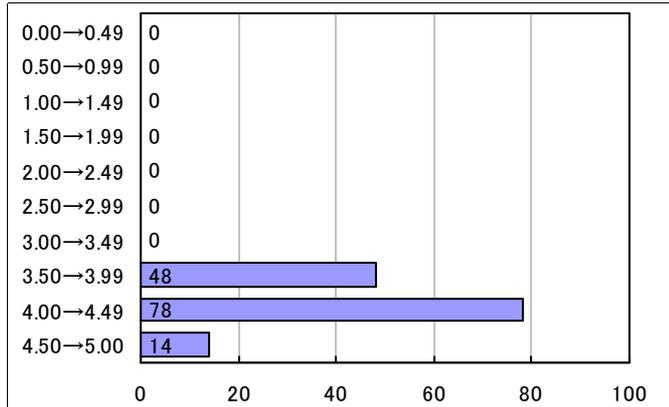
■法学部



平均値 = 4.13

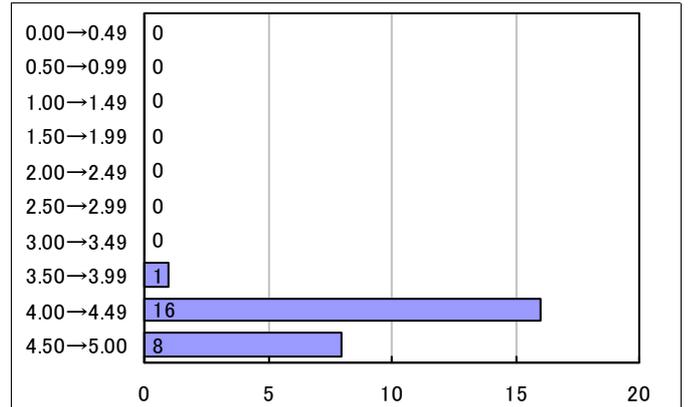
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



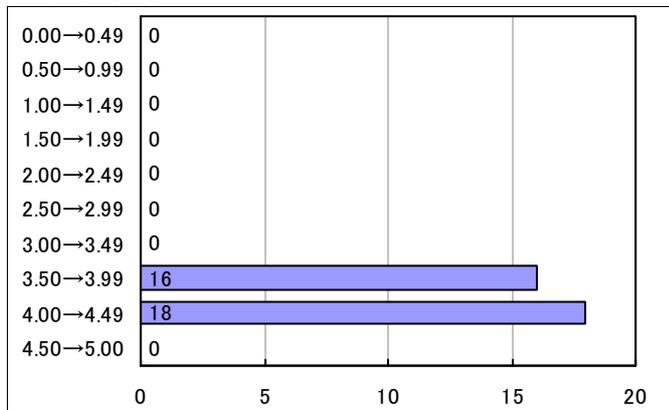
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



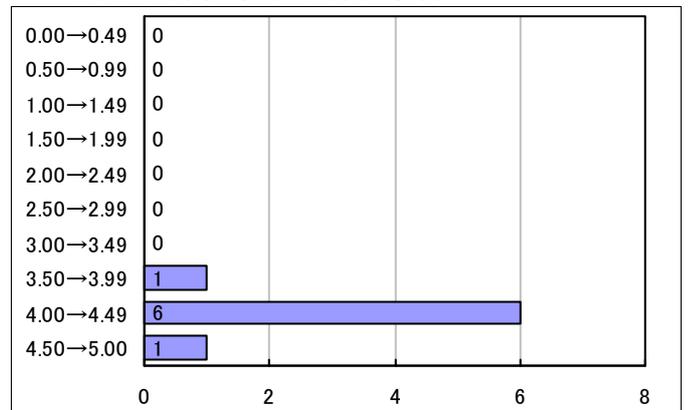
平均値 = 4.37

■経済学部



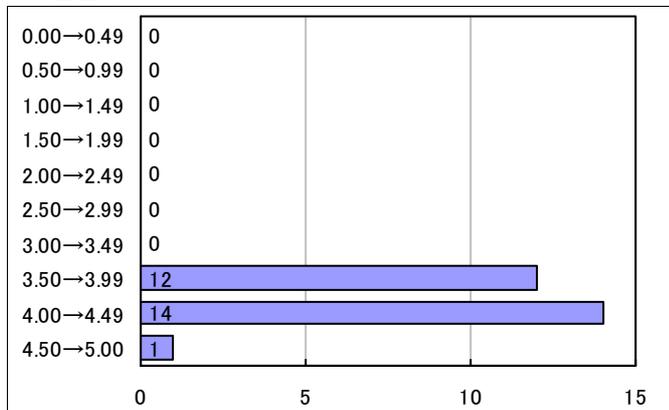
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・教育保育学科



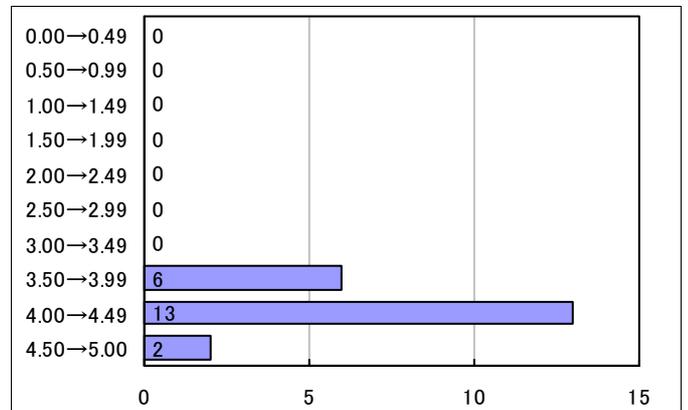
平均値 = 4.26

■経営学部



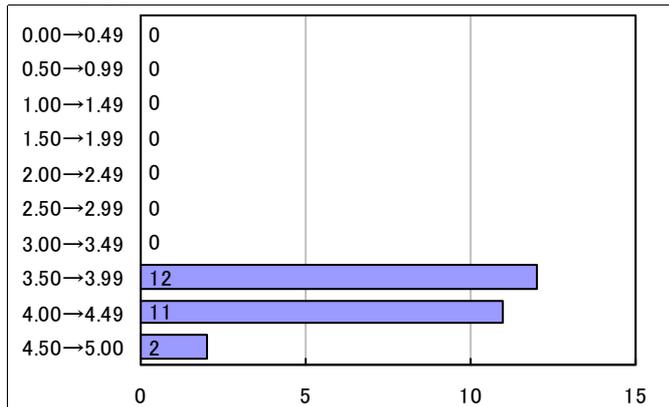
平均値 = 4.12

■非常勤



平均値 = 4.12

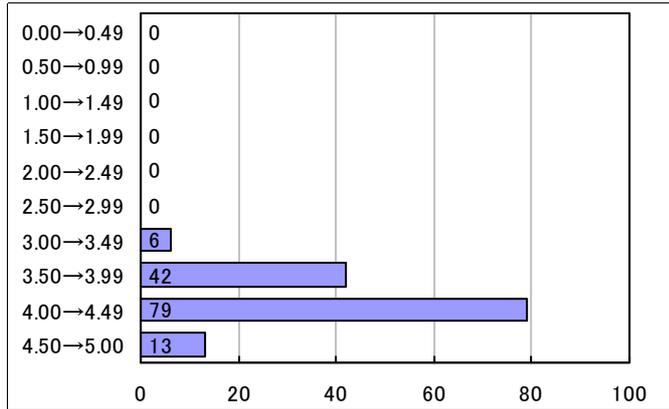
■法学部



平均値 = 3.95

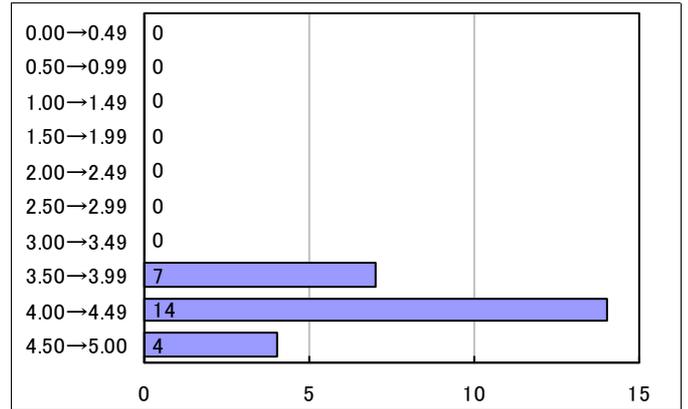
●2.あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



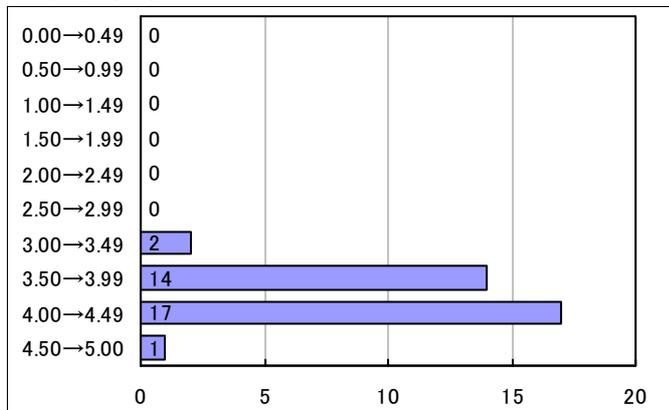
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



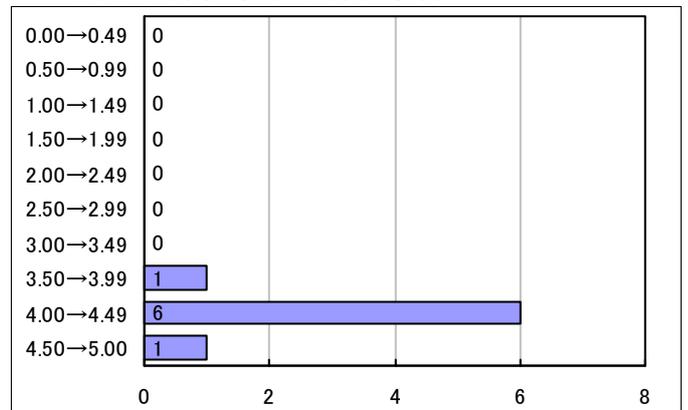
平均値 = 4.14

■経済学部



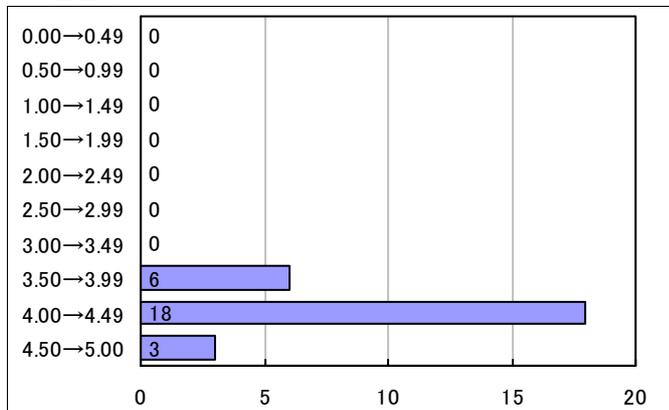
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・教育保育学科



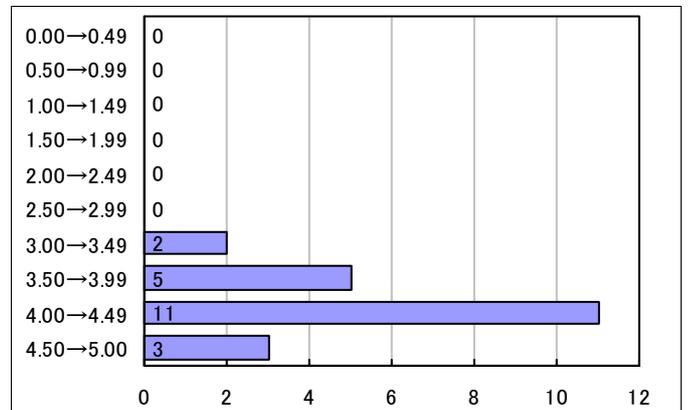
平均値 = 4.15

■経営学部



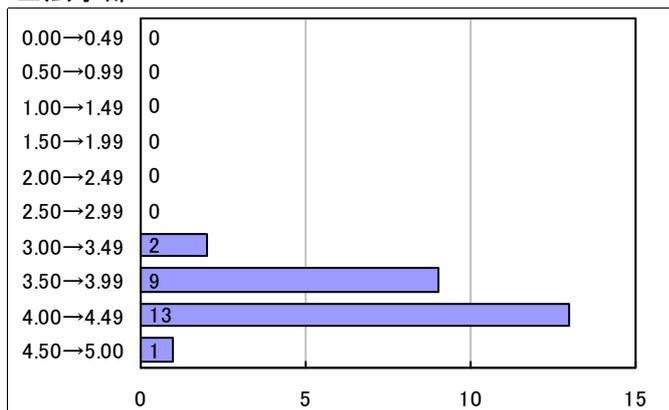
平均値 = 4.14

■非常勤



平均値 = 3.95

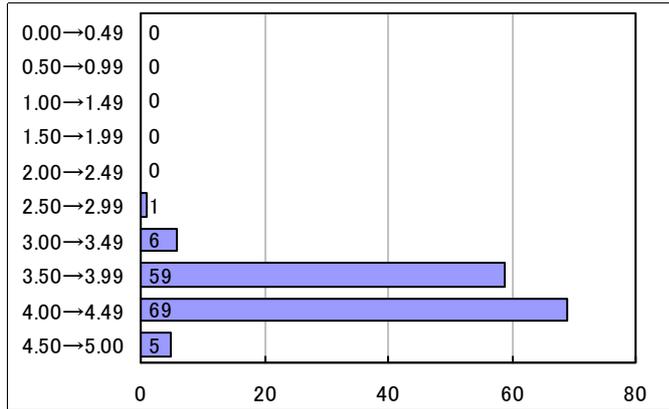
■法学部



平均値 = 3.96

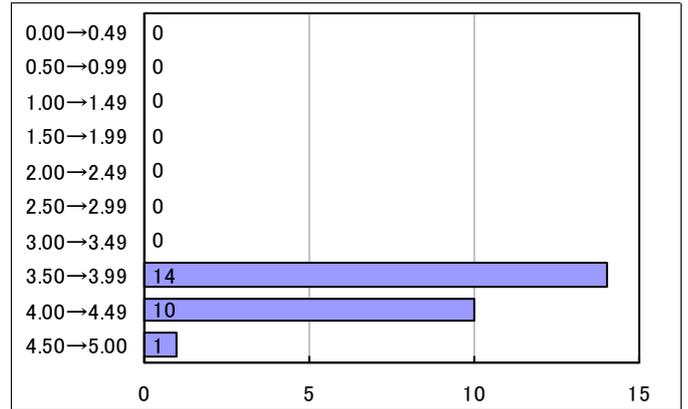
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか

■全体



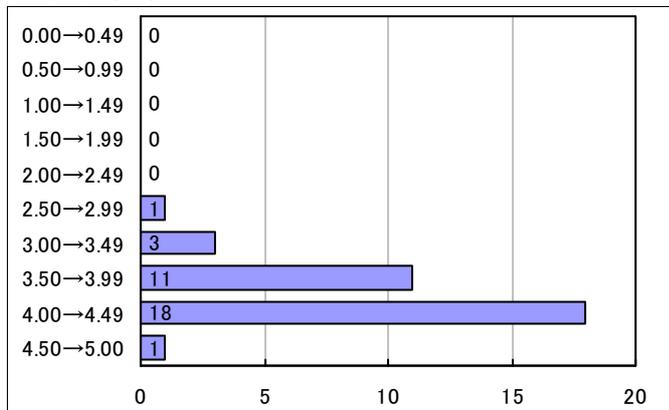
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



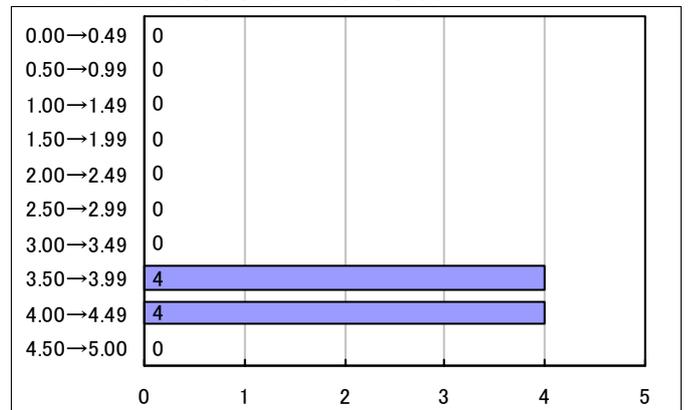
平均値 = 3.97

■経済学部



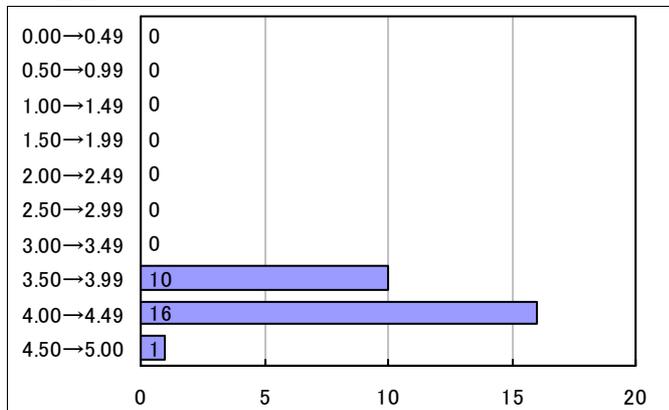
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



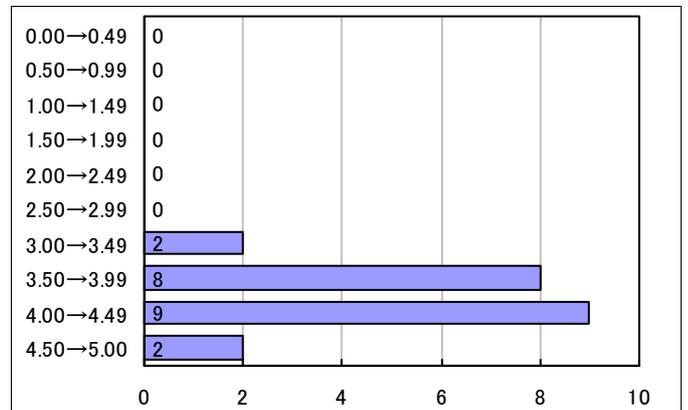
平均値 = 3.92

■経営学部



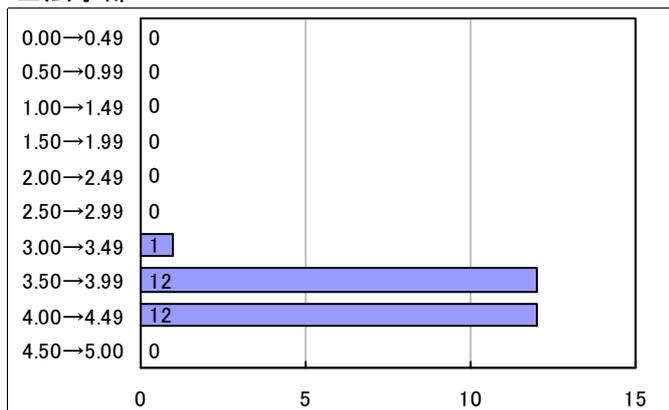
平均値 = 4.08

■非常勤



平均値 = 3.87

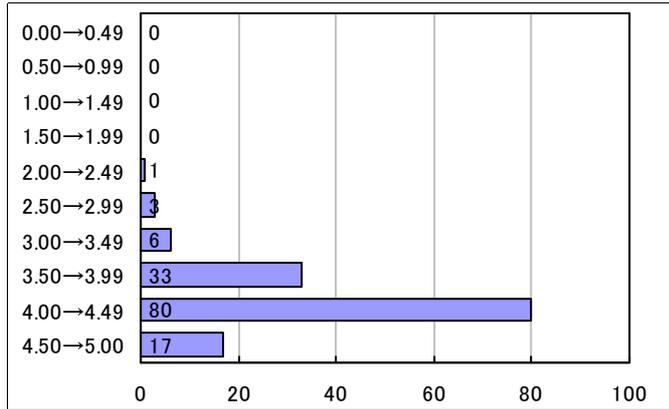
■法学部



平均値 = 3.90

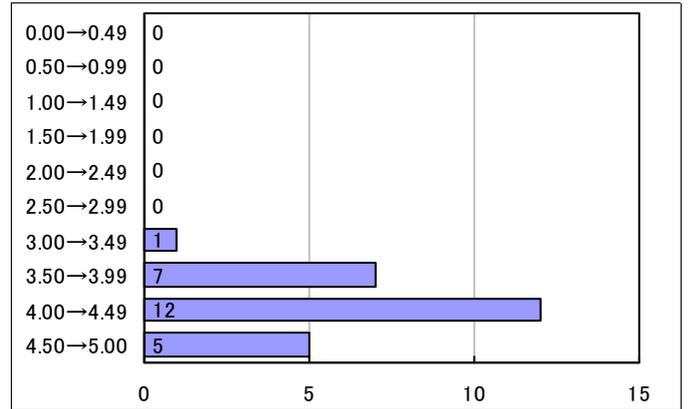
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



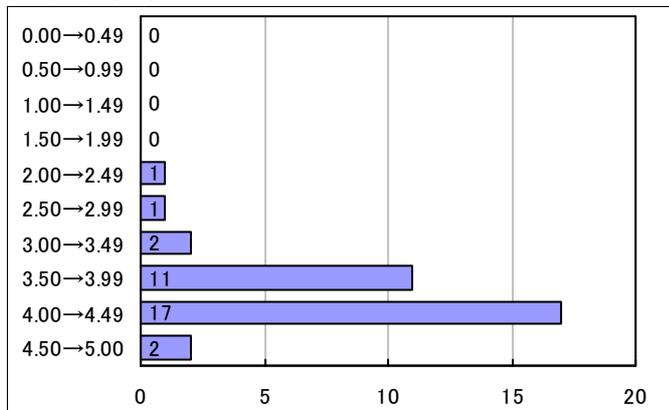
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



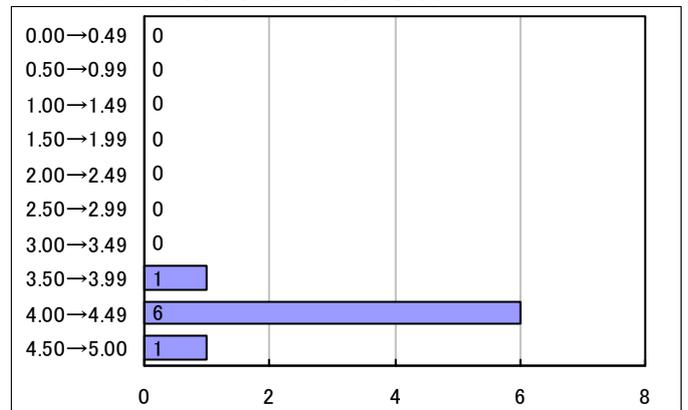
平均値 = 4.10

■経済学部



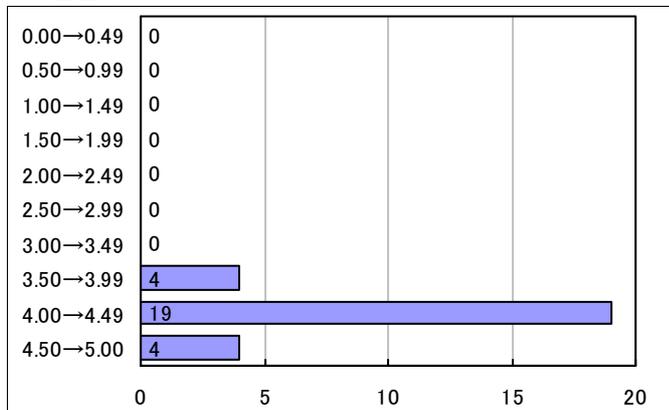
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・教育保育学科



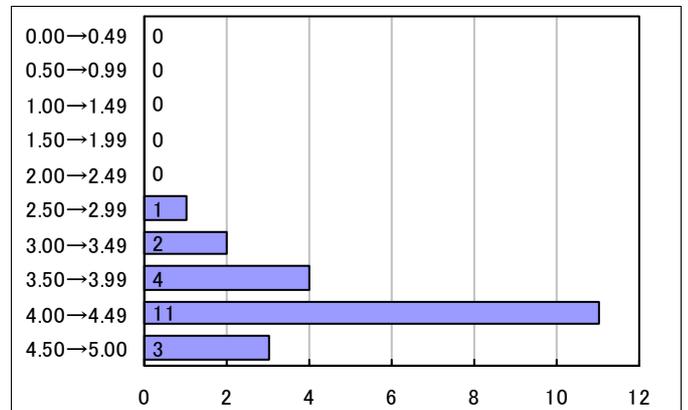
平均値 = 4.30

■経営学部



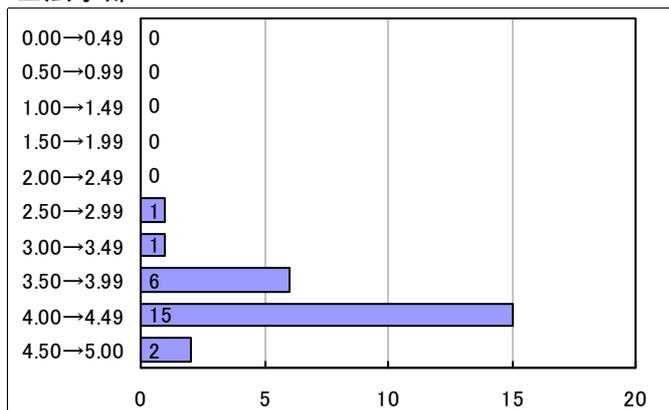
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 3.88

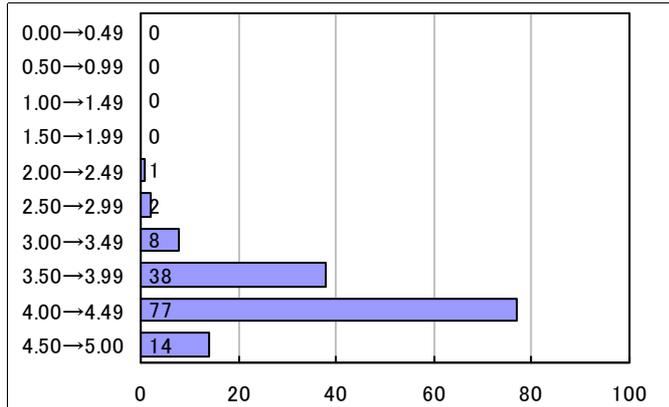
■法学部



平均値 = 3.93

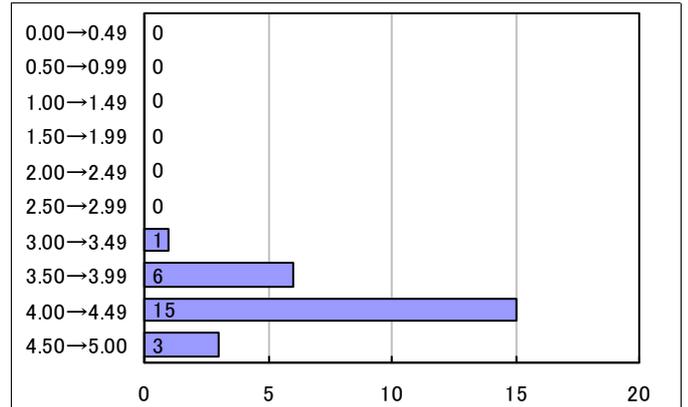
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



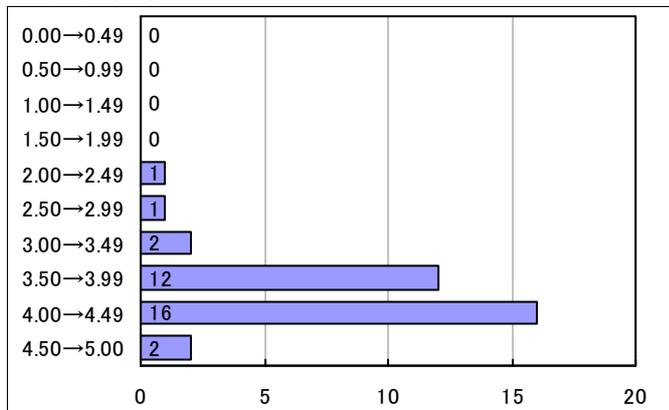
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



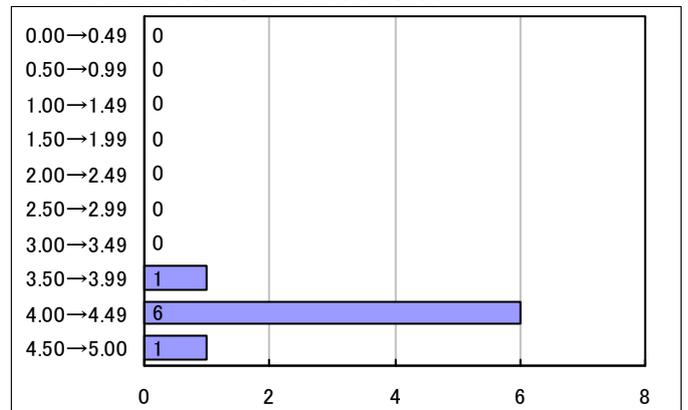
平均値 = 4.09

■経済学部



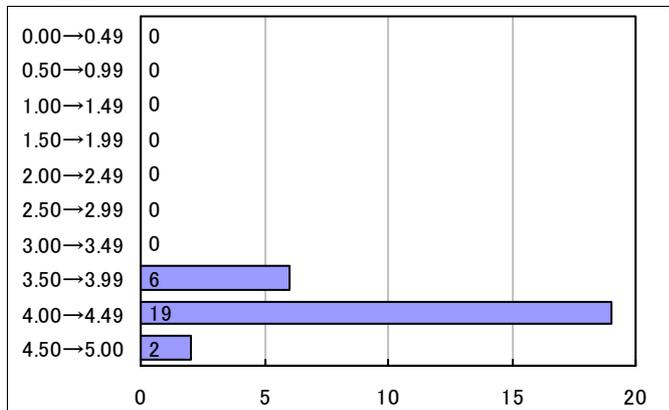
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



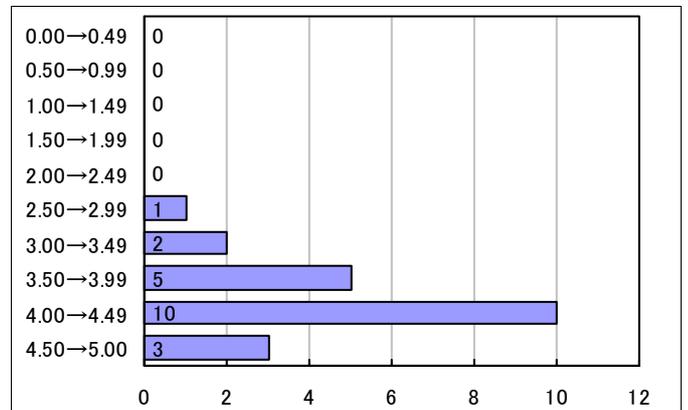
平均値 = 4.23

■経営学部



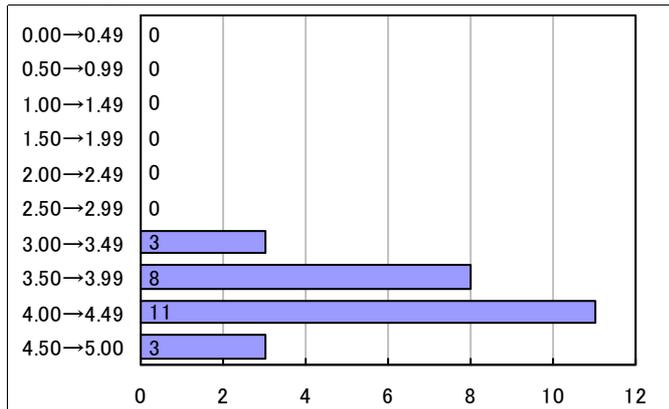
平均値 = 4.09

■非常勤



平均値 = 3.91

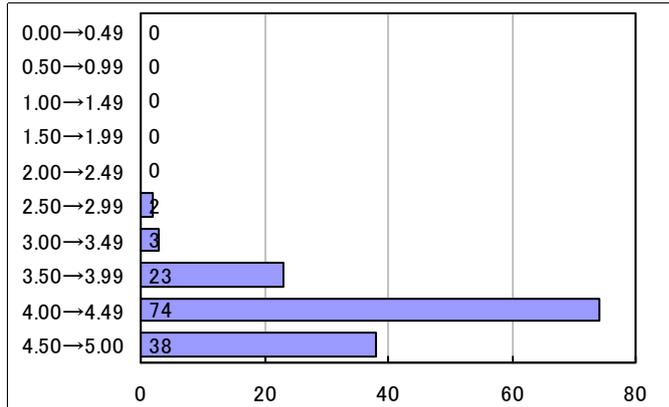
■法学部



平均値 = 3.92

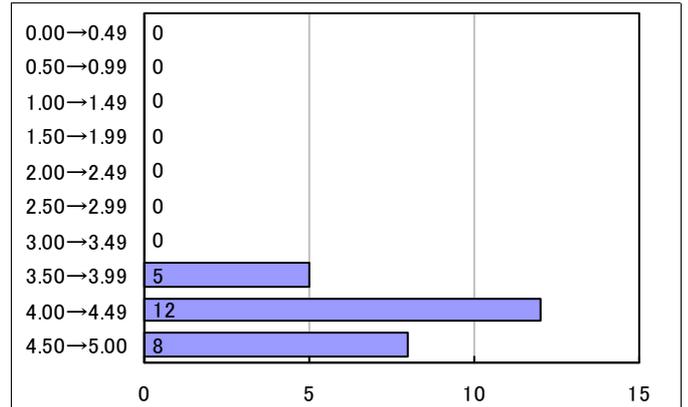
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



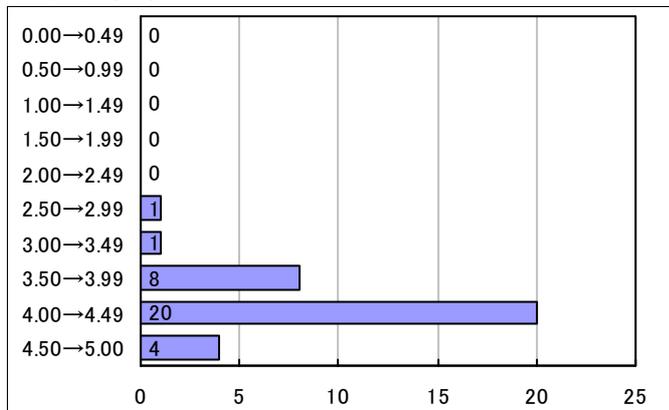
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・管理栄養学科



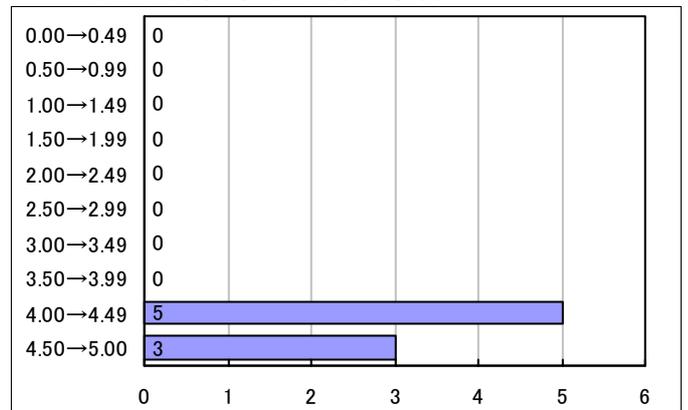
平均値 = 4.23

■経済学部



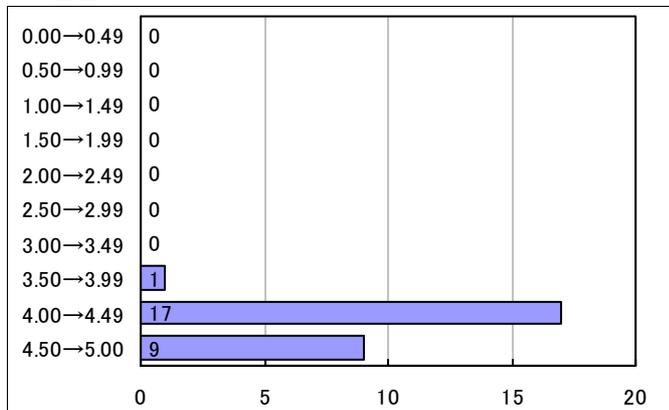
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



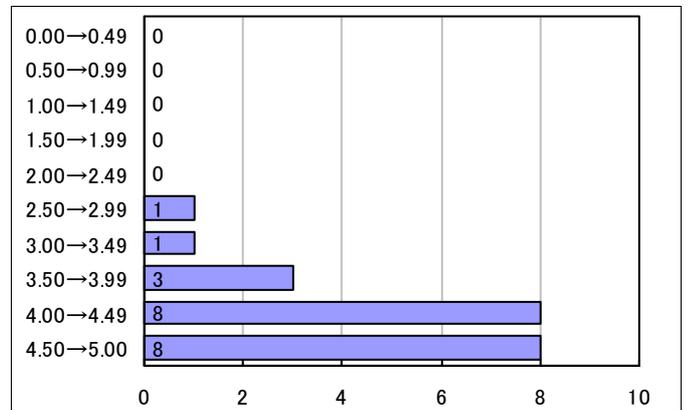
平均値 = 4.40

■経営学部



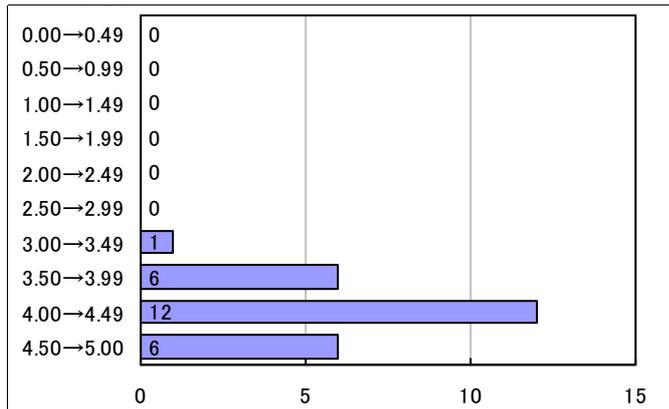
平均値 = 4.31

■非常勤



平均値 = 4.03

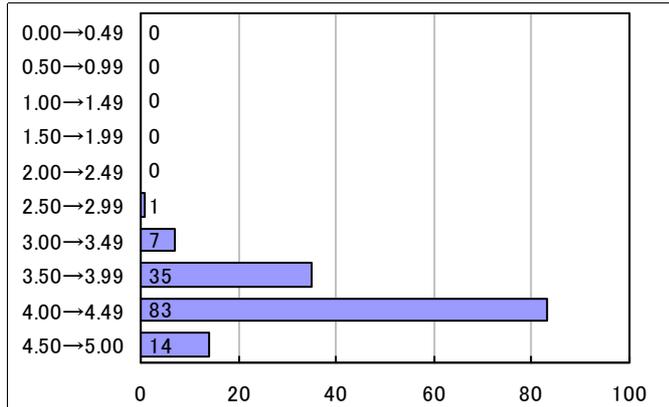
■法学部



平均値 = 4.09

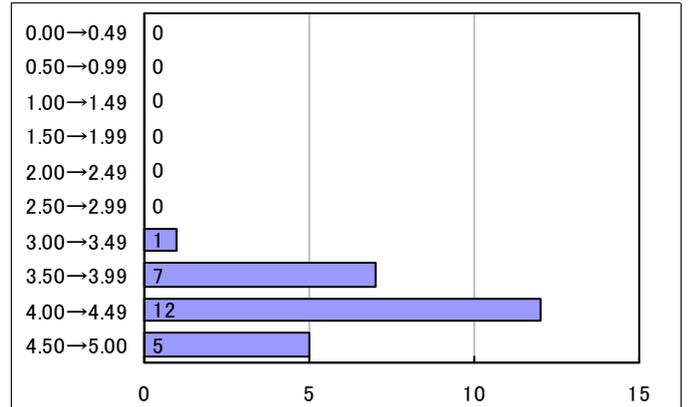
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



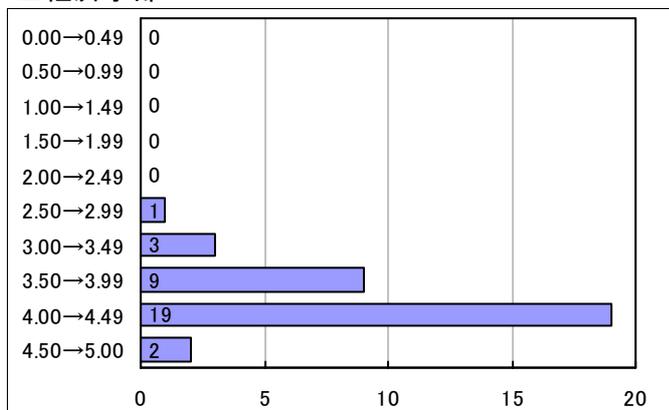
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



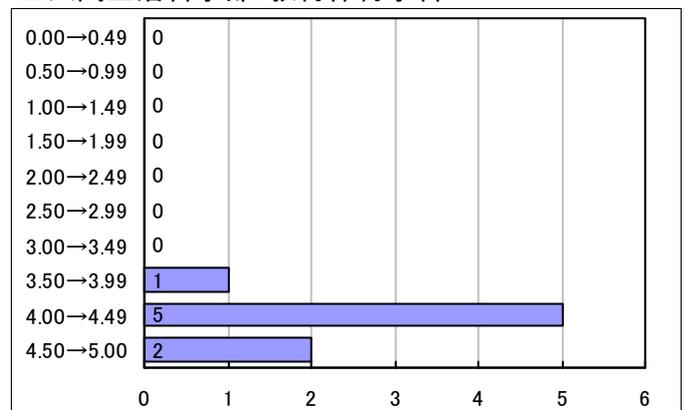
平均値 = 4.11

■経済学部



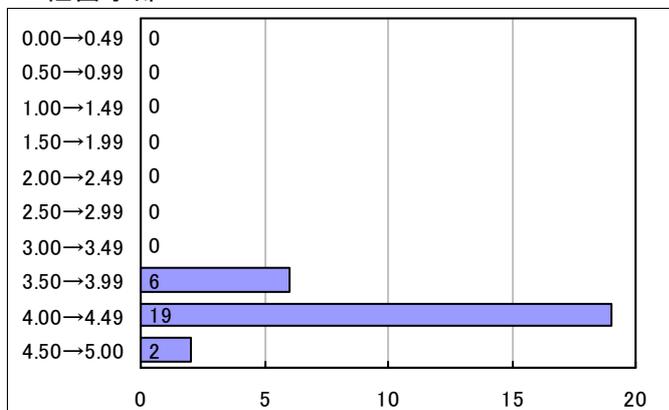
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



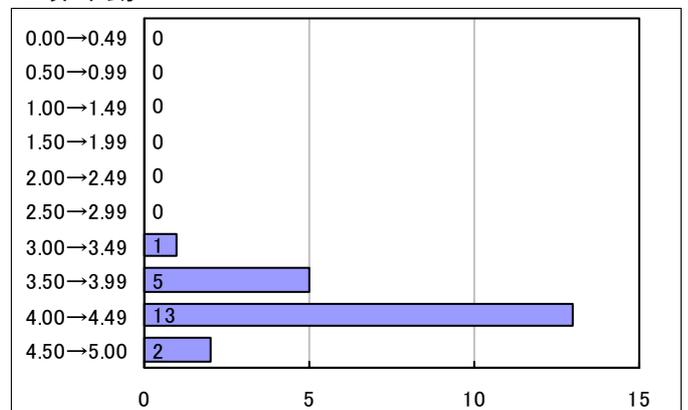
平均値 = 4.32

■経営学部



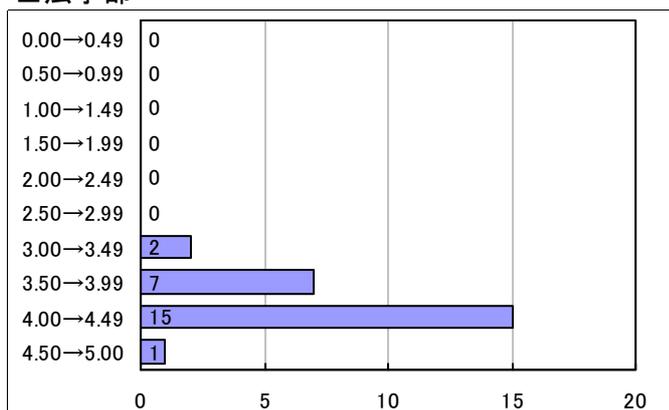
平均値 = 4.14

■非常勤



平均値 = 3.99

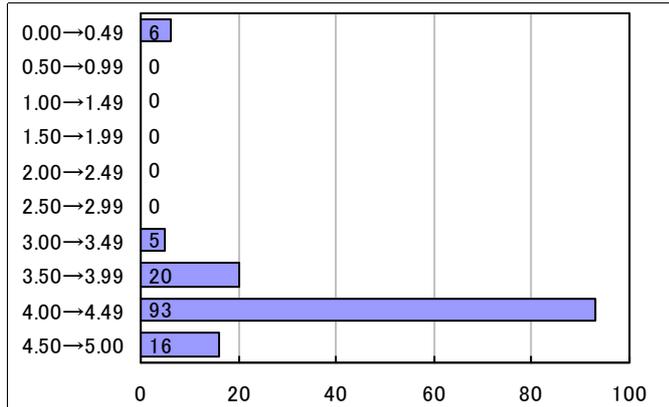
■法学部



平均値 = 3.93

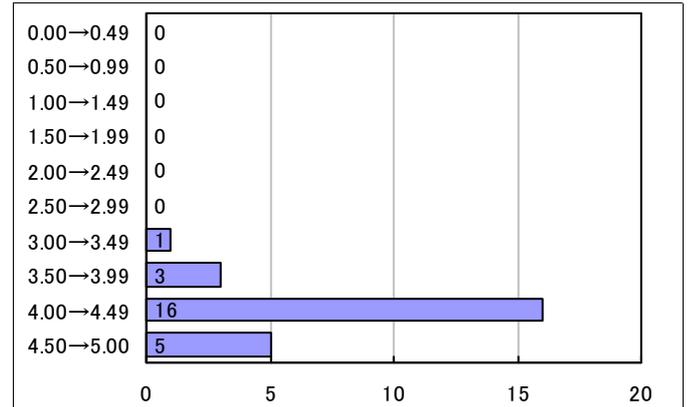
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



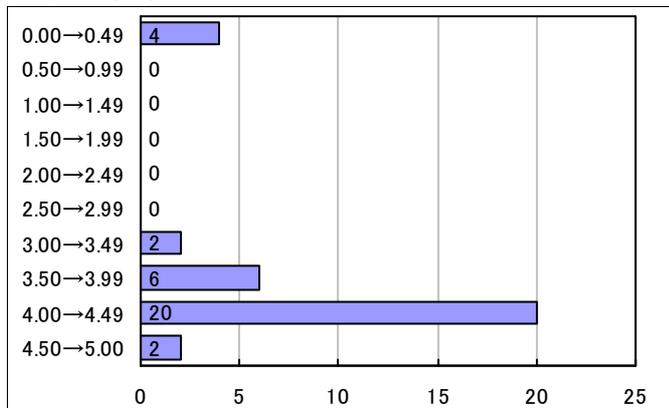
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



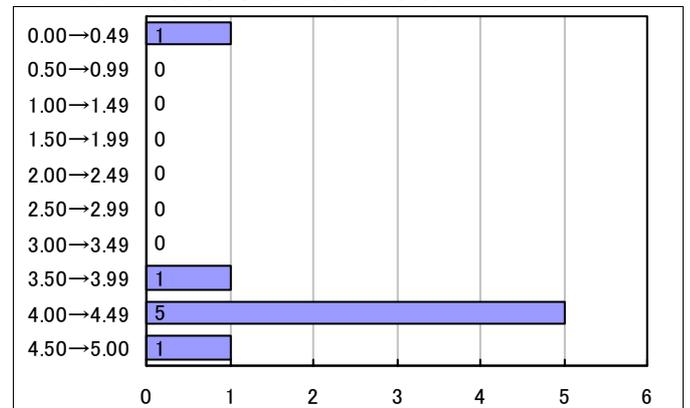
平均値 = 4.16

■経済学部



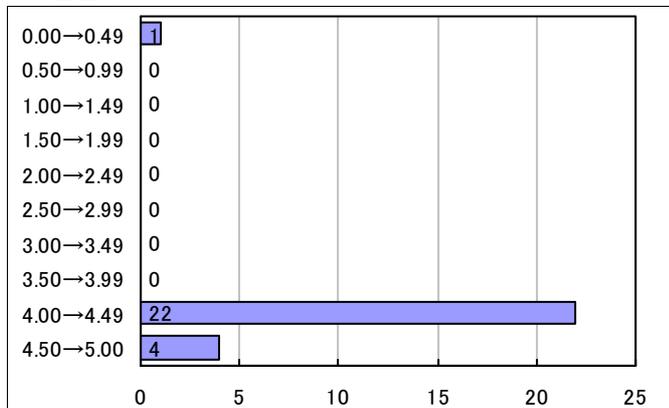
平均値 = 4.10

■人間生活科学部・教育保育学科



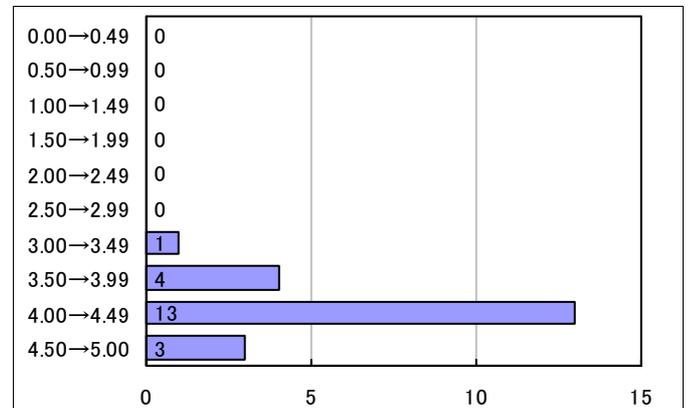
平均値 = 4.22

■経営学部



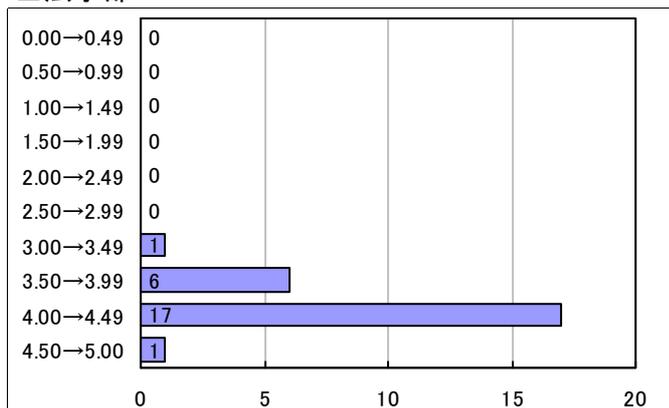
平均値 = 4.26

■非常勤



平均値 = 4.14

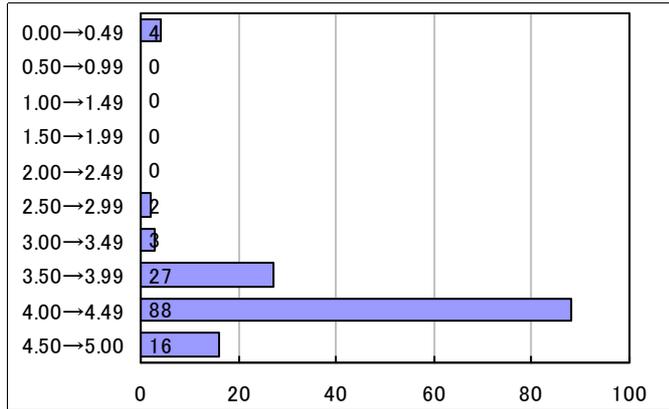
■法学部



平均値 = 4.05

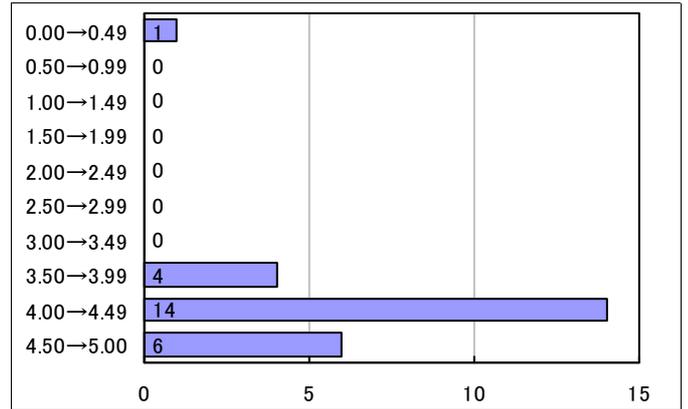
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



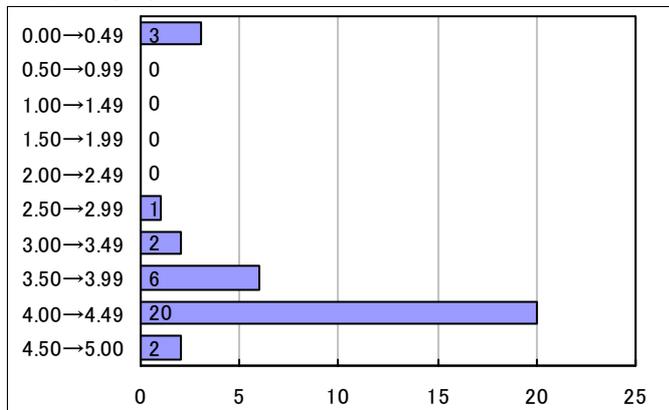
平均値 = 4.10

■人間生活科学部・管理栄養学科



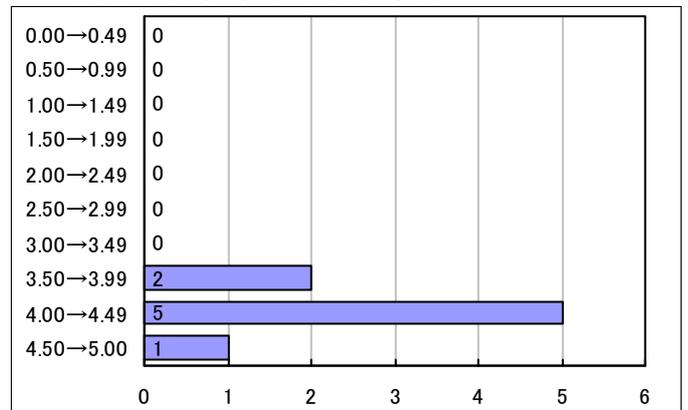
平均値 = 4.21

■経済学部



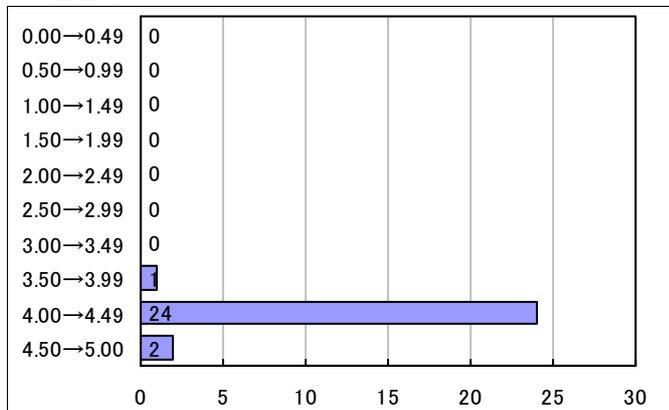
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・教育保育学科



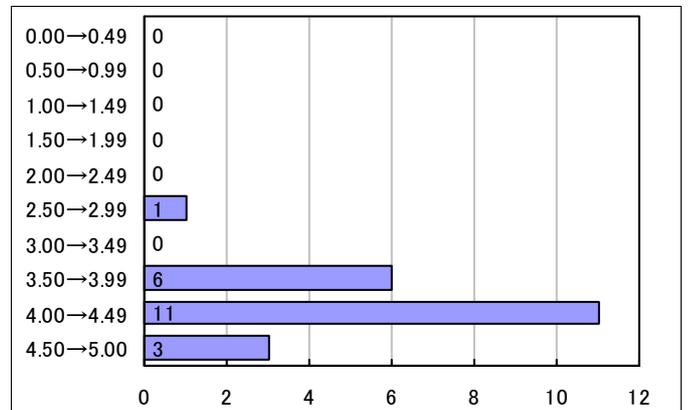
平均値 = 4.27

■経営学部



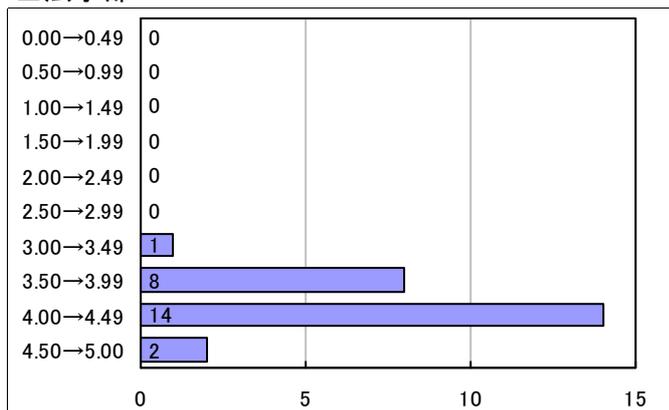
平均値 = 4.21

■非常勤



平均値 = 3.97

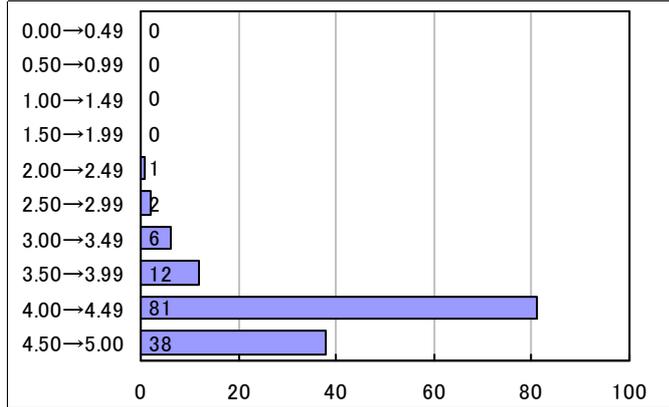
■法学部



平均値 = 3.99

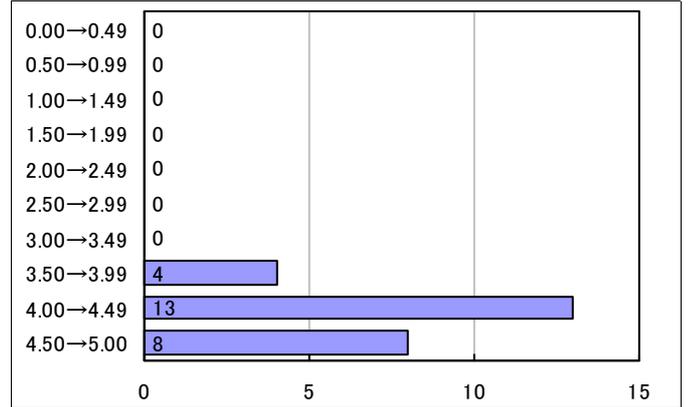
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



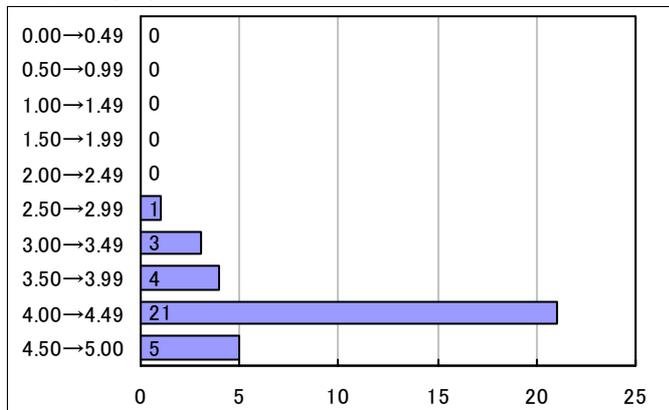
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・管理栄養学科



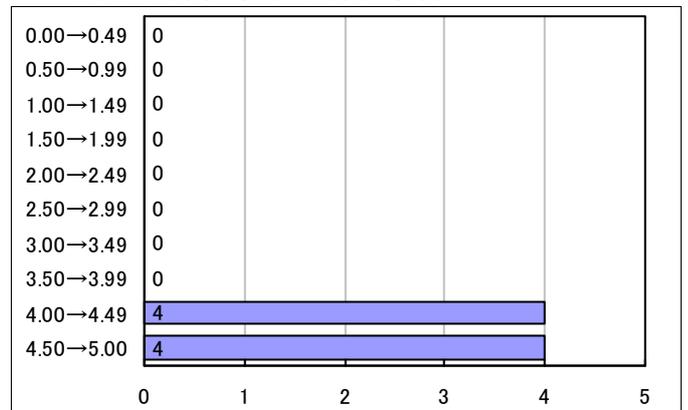
平均値 = 4.29

■経済学部



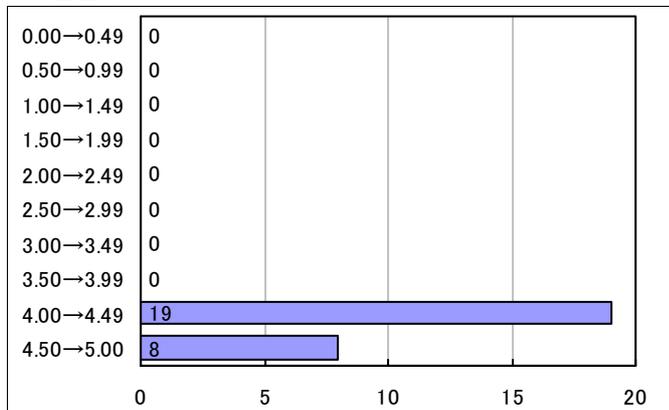
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・教育保育学科



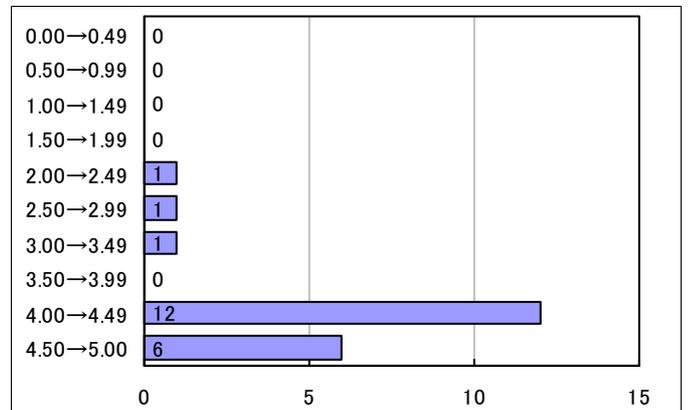
平均値 = 4.46

■経営学部



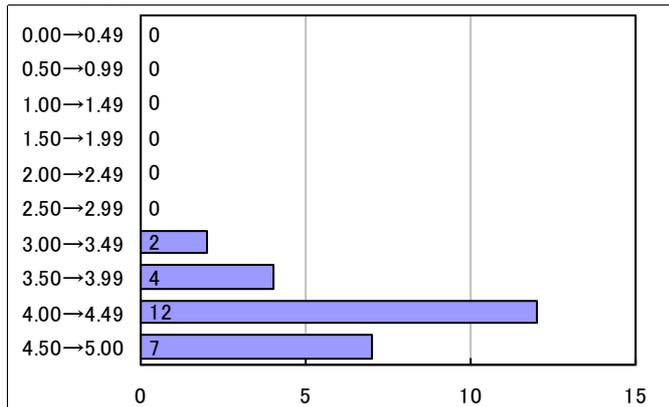
平均値 = 4.34

■非常勤



平均値 = 3.92

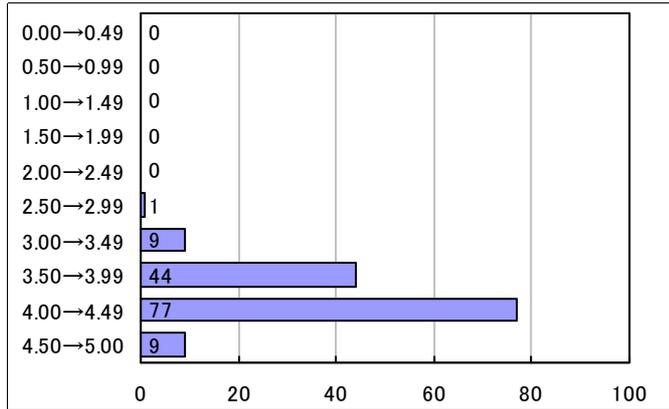
■法学部



平均値 = 4.12

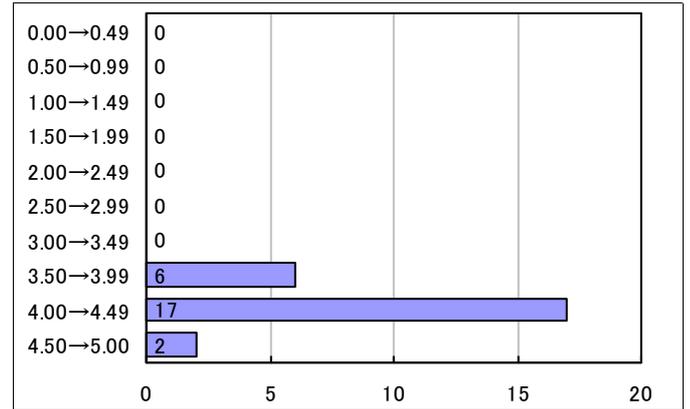
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



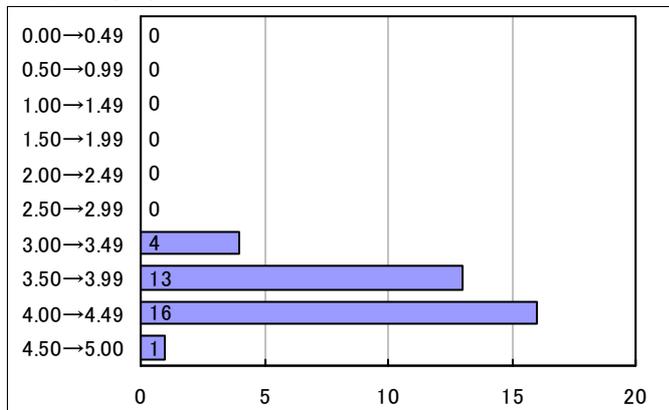
平均値 = 4.00

■人間生活科学部・管理栄養学科



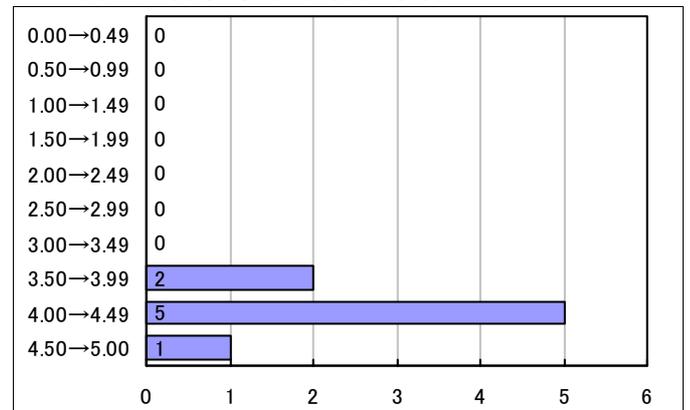
平均値 = 4.12

■経済学部



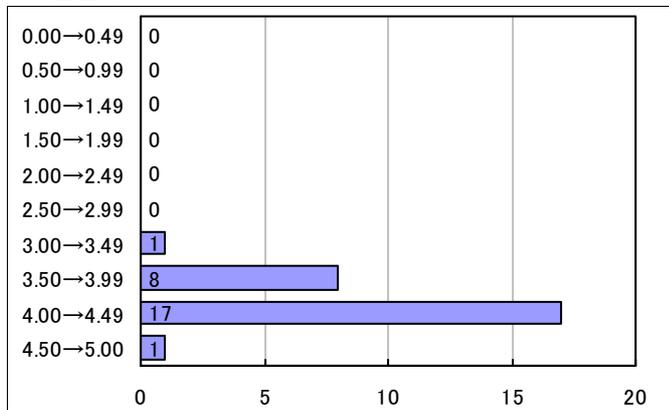
平均値 = 3.93

■人間生活科学部・教育保育学科



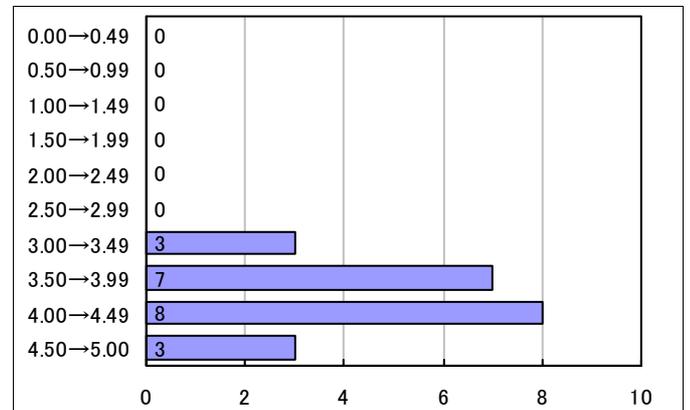
平均値 = 4.16

■経営学部



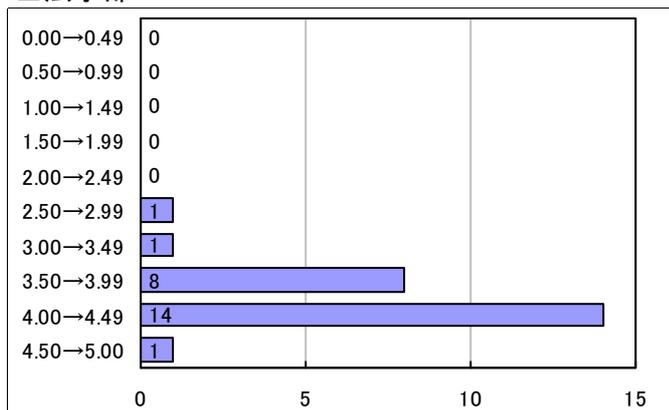
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 3.82

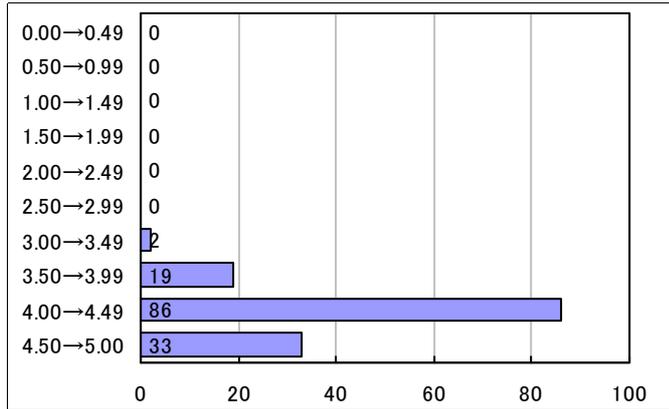
■法学部



平均値 = 3.91

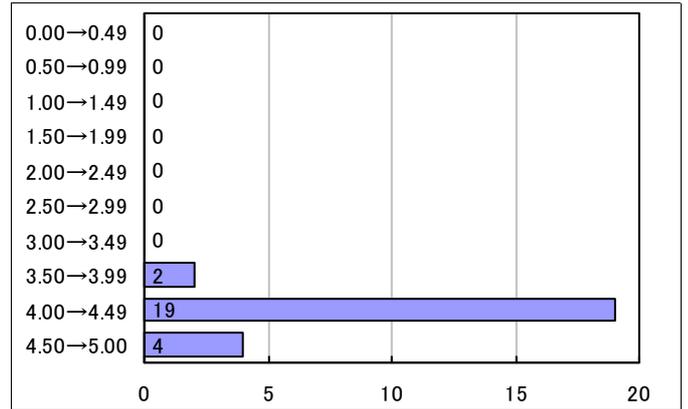
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



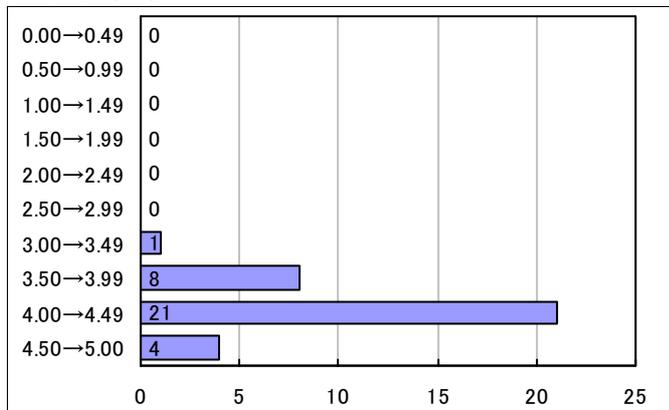
平均値 = 4.23

■人間生活科学部・管理栄養学科



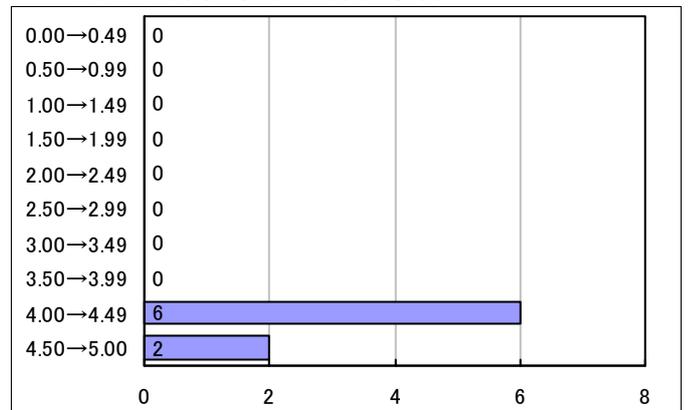
平均値 = 4.29

■経済学部



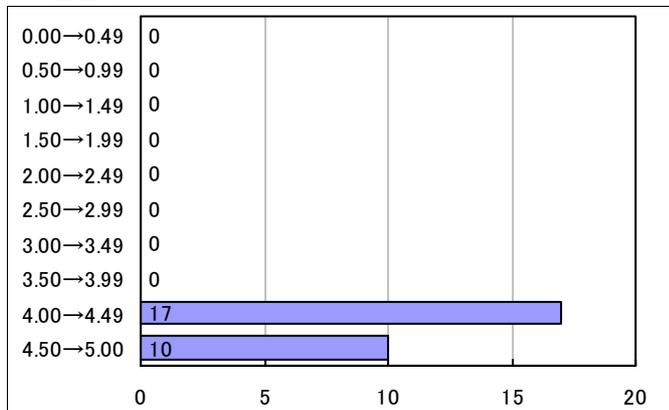
平均値 = 4.12

■人間生活科学部・教育保育学科



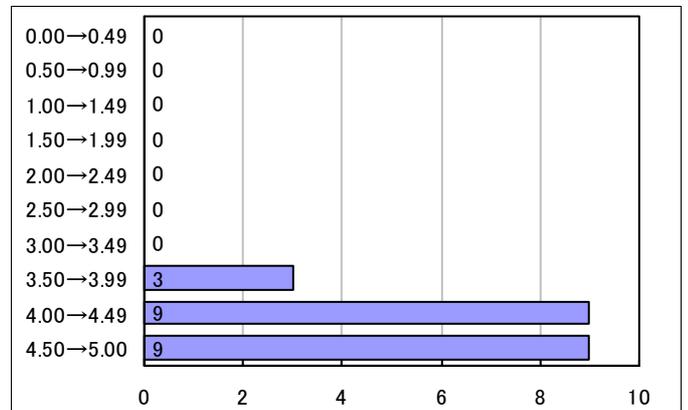
平均値 = 4.47

■経営学部



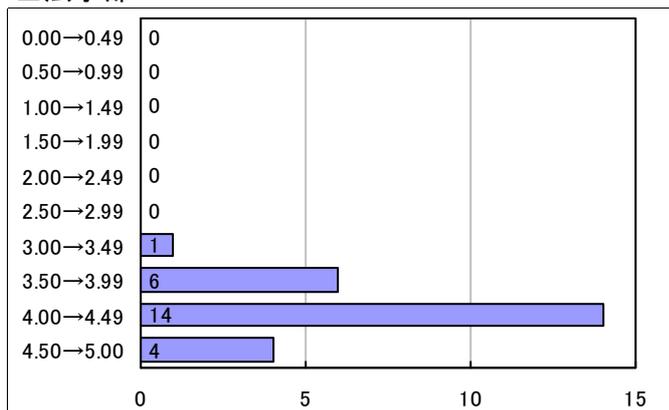
平均値 = 4.35

■非常勤



平均値 = 4.31

■法学部



平均値 = 4.14

2017(平成 29)年度前期授業評価アンケート結果分析

～学生視点データより：全体／留学生／スポーツ学生～

< 1～13 の設問 >

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 出席（学生自己評価） | 2. 意欲（学生自己評価） |
| 3. シラバス整合性 | 4. 授業のわかりやすさ |
| 5. 新しいものの見方 | 6. 教員の熱意 |
| 7. 授業の進度・進め方 | 8. テキスト・資料活用 |
| 9. 板書・スクリーン | 10. 教員の声の聞き取りやすさ |
| 11. 教室・授業管理 | 12. 授業時間 |
| 13. 複数教員による授業 | |

*学部学科別の全学生による回答結果について

< 学生全体 >

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 | 管理栄養 |
|----|-----|-----|-----|------|------|
| 1 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.3 | 4.6 |
| 2 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.1 |
| 3 | 4.0 | 4.0 | 3.8 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 |
| 5 | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 4.0 | 4.0 |
| 6 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.2 |
| 7 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.1 |
| 8 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 9 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 4.0 |
| 10 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.3 | 4.2 |
| 11 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 4.3 | 4.3 |
| 13 | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 3.0 | 3.7 |

- ・ 2「学生の自己評価 熱意」と 4「わかりやすさ」は法学部でスコアがやや低い。
- ・ 6「教員の熱意」と 10「教員の声の聞き取りやすさ」 12「授業時間」は全てにおいて 4.0 以上である。
- ・ 4「わかりやすさ」 5「新しいものの見方」 11「授業・教室管理」は更なる改善が必要である。
- ・ 13「複数教員による授業」は全てで 4.0 未満であり、教育保育では 3.0 でかなり低い。
- ・ 法学部で 4.0 未満のポイントが多いが、これは下記のスポーツ学生による評価結果が影響していると思われる。

*留学生による回答結果について

<回答に占める留学生の割合>

| | 回答総数 | 留学生回答数 | 留学生による回答割合 |
|----|------|--------|------------|
| 経済 | 1488 | 394 | 26.48% |
| 経営 | 1831 | 847 | 46.26% |

- ・経営学部では留学生による回答割合が高い（46%）。

<留学生>

| | 経済 | 経営 |
|----|-----|-----|
| 1 | 4.2 | 4.2 |
| 2 | 4.3 | 4.3 |
| 3 | 4.3 | 4.2 |
| 4 | 4.2 | 4.2 |
| 5 | 4.3 | 4.2 |
| 6 | 4.4 | 4.3 |
| 7 | 4.3 | 4.2 |
| 8 | 4.3 | 4.2 |
| 9 | 4.2 | 4.2 |
| 10 | 4.3 | 4.3 |
| 11 | 4.2 | 4.1 |
| 12 | 4.4 | 4.4 |
| 13 | 4.2 | 4.2 |

<日本人学生>

| | 経済 | 経営 |
|----|-----|-----|
| 1 | 4.1 | 4.0 |
| 2 | 4.0 | 3.9 |
| 3 | 3.8 | 3.7 |
| 4 | 3.9 | 3.9 |
| 5 | 3.8 | 3.8 |
| 6 | 4.1 | 4.0 |
| 7 | 3.9 | 3.9 |
| 8 | 4.1 | 4.0 |
| 9 | 3.9 | 3.9 |
| 10 | 4.2 | 4.1 |
| 11 | 3.9 | 3.9 |
| 12 | 4.2 | 4.2 |
| 13 | 3.7 | 3.6 |

- ・経済学部、経営学部ともに留学生による評価は全ての項目で高いポイントを示している。
 少人数制の留学生専用クラスを設置していることが関係していると思われる。
 一方、日本人学生による評価からは、「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業の進度・進め方」「板書・スクリーン」「授業・教室管理」に改善が必要であることがわかる。

*スポーツ学生による回答結果について

<回答に占めるスポーツ学生の割合>

| | 回答総数 | スポーツ学生回答数 | スポーツ学生による回答割合 |
|------|------|-----------|---------------|
| 経済 | 1464 | 239 | 16.33% |
| 経営 | 1811 | 255 | 14.08% |
| 法 | 1639 | 973 | 59.37% |
| 教育保育 | 588 | 52 | 8.84% |

- ・法学部では約6割がスポーツ学生による回答である。

＜スポーツ学生＞

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1 | 4.1 | 4.1 | 3.8 | 4.3 |
| 2 | 4.3 | 4.1 | 3.8 | 3.8 |
| 3 | 4.3 | 4.0 | 3.7 | 3.6 |
| 4 | 4.2 | 4.1 | 3.8 | 3.9 |
| 5 | 4.2 | 4.1 | 3.8 | 3.8 |
| 6 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.2 |
| 7 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 3.8 |
| 8 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 4.0 |
| 9 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 3.9 |
| 10 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.4 |
| 11 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 4.1 |
| 12 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.3 |
| 13 | 4.2 | 4.0 | 3.5 | 3.3 |

＜スポーツ学生除く＞

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1 | 4.1 | 4.1 | 4.3 | 4.3 |
| 2 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 |
| 3 | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.0 |
| 5 | 3.8 | 4.0 | 3.9 | 4.0 |
| 6 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.2 |
| 7 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.0 |
| 8 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 |
| 9 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.0 |
| 10 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.3 |
| 11 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 |
| 13 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.0 |

- ・経済学部では11項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。
- ・経営学部では4項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高く、1項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。
- ・法学部では12項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。
- ・教育保育学科では8項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低く、2項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。

2017(平成 29)年度後期授業評価アンケート結果分析

～学生視点データより：全体／留学生／スポーツ学生～

< 1～13 の設問 >

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 出席（学生自己評価） | 2. 意欲（学生自己評価） |
| 3. シラバス整合性 | 4. 授業のわかりやすさ |
| 5. 新しいものの見方 | 6. 教員の熱意 |
| 7. 授業の進度・進め方 | 8. テキスト・資料活用 |
| 9. 板書・スクリーン | 10. 教員の声の聞き取りやすさ |
| 11. 教室・授業管理 | 12. 授業時間 |
| 13. 複数教員による授業 | |

*学部学科別の全学生による回答結果について

< 学生全体 >

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 | 管理栄養 |
|----|-----|-----|-----|------|------|
| 1 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.3 | 4.4 |
| 2 | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 3.9 | 4.0 |
| 3 | 4.1 | 4.1 | 3.8 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 3.9 |
| 5 | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 3.9 | 3.9 |
| 6 | 4.2 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.1 |
| 7 | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 4.0 |
| 8 | 4.2 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.1 |
| 9 | 4.2 | 4.2 | 3.9 | 4.1 | 4.1 |
| 10 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 4.1 |
| 11 | 4.0 | 4.1 | 3.8 | 4.0 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 4.3 | 4.2 |
| 13 | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 3.2 | 3.7 |

- ・ 2「学生の自己評価 熱意」は法学部と教育保育でスコアがやや低い。
- ・ 6「教員の熱意」と 10「教員の声の聞き取りやすさ」 12「授業時間」は全てにおいて 4.0 以上である。
- ・ 4「わかりやすさ」 5「新しいものの見方」 11「授業・教室管理」は更なる改善が望ましい。
- ・ 13「複数教員による授業」は 4.0 未満が大半で、教育保育では 3.2 でかなり低い。
- ・ 法学部で 4.0 未満のポイントが多いが、これは下記のスポーツ学生による評価結果が影響していると思われる。

*留学生による回答結果について

<回答に占める留学生の割合>

| | 回答総数 | 留学生回答数 | 留学生による回答割合 |
|----|------|--------|------------|
| 経済 | 1445 | 458 | 31.69% |
| 経営 | 1630 | 821 | 50.36% |

- ・経営学部では留学生による回答割合が約半分である。

<留学生>

| | 経済 | 経営 |
|----|-----|-----|
| 1 | 4.1 | 4.2 |
| 2 | 4.3 | 4.3 |
| 3 | 4.3 | 4.3 |
| 4 | 4.3 | 4.3 |
| 5 | 4.3 | 4.3 |
| 6 | 4.4 | 4.4 |
| 7 | 4.3 | 4.2 |
| 8 | 4.3 | 4.3 |
| 9 | 4.3 | 4.2 |
| 10 | 4.4 | 4.4 |
| 11 | 4.3 | 4.2 |
| 12 | 4.4 | 4.4 |
| 13 | 4.4 | 4.2 |

<日本人学生>

| | 経済 | 経営 |
|----|-----|-----|
| 1 | 4.0 | 4.0 |
| 2 | 4.0 | 4.0 |
| 3 | 3.9 | 3.9 |
| 4 | 4.0 | 4.0 |
| 5 | 4.0 | 3.9 |
| 6 | 4.2 | 4.1 |
| 7 | 4.0 | 4.0 |
| 8 | 4.2 | 4.1 |
| 9 | 4.1 | 4.1 |
| 10 | 4.2 | 4.2 |
| 11 | 4.0 | 4.0 |
| 12 | 4.2 | 4.2 |
| 13 | 3.7 | 3.8 |

- ・経済学部、経営学部ともに留学生による評価は全項目で高いポイントを示している。少人数制の留学生専用クラスを設置していることが関係していると思われる。
- 一方、日本人学生による評価からは、「新しいものの見方」と「複数教員による授業」に改善が必要であることがわかる。

*スポーツ学生による回答結果について

<回答に占めるスポーツ学生の割合>

| | 回答総数 | スポーツ学生回答数 | スポーツ学生による回答割合 |
|------|------|-----------|---------------|
| 経済 | 1430 | 240 | 16.78% |
| 経営 | 1613 | 224 | 13.88% |
| 法 | 1575 | 885 | 56.19% |
| 教育保育 | 454 | 52 | 11.45% |

- ・法学部では5割以上がスポーツ学生による回答である。

<スポーツ学生>

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1 | 4.1 | 4.0 | 3.7 | 4.3 |
| 2 | 4.3 | 4.2 | 3.8 | 3.6 |
| 3 | 4.3 | 4.1 | 3.8 | 3.5 |
| 4 | 4.3 | 4.1 | 3.8 | 3.6 |
| 5 | 4.3 | 4.2 | 3.8 | 3.4 |
| 6 | 4.4 | 4.2 | 4.0 | 4.0 |
| 7 | 4.3 | 4.1 | 3.8 | 3.8 |
| 8 | 4.3 | 4.1 | 3.9 | 3.9 |
| 9 | 4.4 | 4.2 | 3.9 | 3.9 |
| 10 | 4.4 | 4.2 | 4.0 | 4.0 |
| 11 | 4.3 | 4.1 | 3.8 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 4.2 |
| 13 | 4.1 | 4.1 | 3.7 | 2.7 |

<スポーツ学生除く>

| | 経済 | 経営 | 法 | 教育保育 |
|----|-----|-----|-----|------|
| 1 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.3 |
| 2 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.0 |
| 3 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 3.9 |
| 4 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.0 |
| 5 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.0 |
| 6 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.2 |
| 7 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.1 |
| 8 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.2 |
| 9 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.1 |
| 10 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.2 |
| 11 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.4 |
| 13 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.2 |

- ・経済学部では12項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。
- ・経営学部では3項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高く、5項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。
- ・法学部では全項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。
- ・教育保育学科では10項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。

2017(平成 29)年度前期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数(D) | 回収科目 履修者数(E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|
| 法学部 | 2,239 | 2,239 | 1,553 | 69.36 |
| 【全体】 | 9,607 | 9,536 | 6,749 | 70.77 |

法学部の専任教員担当科目のうち17科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は69.36%と、前年度後期より1.41ポイント上昇した。人間生活科学部と比較すると低い値であるが、他の社会科学系の学部とほぼ同等の値である。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

| 設問 | 内容 | 平均 |
|----|---|-----|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.9 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか | 3.8 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いませんか | 4.0 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか | 3.9 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか | 4.0 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか | 3.9 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか | 3.8 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いませんか | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いませんか | 3.7 |

昨年度後期の結果と比較すると、ほぼすべての項目で上昇しており、全体の平均値において0.12ポイントの上昇があった。もっとも上昇の幅が大きかったのは、設問8「教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか」である（0.3ポイントの上昇）。

3 法学部生学年別結果（全学生）

| 設問 | 内容 | 全学年平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|---|-------|------|------|------|------|
| 1 | あなたは、この授業によく出席しましたか | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 3.8 | 3.3 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いませんか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 3.6 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いませんか | 3.8 | 3.9 | 3.6 | 3.7 | 3.7 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いませんか | 3.9 | 4.0 | 3.6 | 3.9 | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか | 3.8 | 4.0 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いませんか | 4.1 | 4.2 | 3.8 | 4.0 | 4.1 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.9 | 4.0 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか | 4.0 | 4.1 | 3.8 | 3.9 | 4.0 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 3.9 | 4.1 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか | 4.1 | 4.2 | 3.8 | 4.0 | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 3.8 | 4.0 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いませんか | 4.1 | 4.3 | 3.9 | 4.1 | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いませんか | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.8 | 4.0 |
| E | あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位) | 40.9 | 45.7 | 28.3 | 45.7 | 42.3 |

同（スポーツ学生）

| 設問 | 内容 | 全学年平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|--|-------|------|------|------|------|
| 1 | あなたは、この授業によく出席しましたか | 3.8 | 4.0 | 3.6 | 3.6 | 3.4 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.8 | 3.9 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いますか | 3.8 | 3.9 | 3.6 | 3.7 | 4.0 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.8 | 4.0 | 3.5 | 3.7 | 3.8 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いますか | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 3.9 | 4.2 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 4.0 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いますか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 4.1 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 4.1 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 3.9 | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 3.9 | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 4.0 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いますか | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 4.0 | 4.2 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.8 | 4.0 |
| E | あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位) | 35.2 | 38.3 | 23.3 | 43.9 | 40.4 |

まず、全学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前年度後期と比べて、0.09ポイントの上昇であった。特に、設問1「あなたは、この授業によく出席しましたか」は、0.4ポイントと、大幅な上昇が見られた。学部として、出席についての指導を強化したためと思われる。今回、各学年の平均値をみると、2年生が3.7、3,4年生が3.9であったのに対し、1年生は4.0と相対的に高かった。

次に、スポーツ学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前年度後期と比べて概ね横ばいであった。学年の平均値をみると、2年生が3.7、3年生が3.8であったのに対し、1,4年生は4.0であった。

スポーツ学生と全体とを比較すると、1~3年生では、全体がスポーツ学生の数値を上回る傾向が見られる。一方、4年生では、軒並み、スポーツ学生の方が数値が高い。特徴的な点としては、1年生のスポーツ学生の平均値が、前年度後期と比較して、0.42ポイントと大幅な上昇が見られ、これが、全体の平均値を引き上げている。

4 履修者数別結果

| 設問 | 内容 | 1-50 | 51-100 | 101-150 | 151-200 | 201-250 | 300- |
|----|--|------|--------|---------|---------|---------|------|
| 1 | あなたは、この授業に出席しましたか | 3.7 | 4.0 | 4.0 | 4.3 | 4.0 | 4.1 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.1 | 4.0 | 3.8 | 3.6 | 3.9 | 3.9 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いますか | 4.0 | 4.0 | 3.6 | 3.6 | 3.9 | 3.8 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いますか | 4.2 | 4.1 | 3.8 | 3.4 | 3.9 | 3.8 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 4.1 | 3.9 | 3.6 | 0.0 | 3.8 | 3.9 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いますか | 4.3 | 4.2 | 3.9 | 3.6 | 4.0 | 4.0 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか | 4.1 | 4.0 | 3.8 | 3.4 | 3.9 | 3.8 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いますか | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 3.7 | 4.0 | 3.9 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.1 | 4.1 | 3.8 | 3.4 | 3.9 | 3.9 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 3.7 | 4.1 | 4.0 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.0 | 3.9 | 3.7 | 3.4 | 3.9 | 3.8 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いますか | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 3.9 | 4.1 | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 4.1 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.8 | 3.8 |

※ 履修者数 251名~300名のクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが3、51~100名規模のものが6、101~150名規模のものが3、151~200名規模のものが1、201~250名規模のものが2、300名以上の規模のものが2である。なお、300名以上の規模の授業は、「市民生活と法」「市民生活とキャリア形成」であるが、ともに、実際は、110名規模の3クラスに分けて授業が行われているので、101~150名規模の授業と考える。

これらのうち、151名を超えるクラス規模の授業については、あらわれた数値がクラス規模に基づくものであるか、それに含まれる授業の個性によるものかが問題となるだろう。たとえば、151~200名規模の授業において、設問5「この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか」の平均値が0.0と特徴的な数値を示しているが、これは、当該授業の個性によるものである。

上記の事情を考慮した上で、結果としてあらわれた数値を見ると、151~200名規模の授業（平均値3.3）を除き、4.0前後に集中している。151~200名規模の授業の平均値が低いのは、当該授業の個性によるものと考えられるから、前年度後期の分析と異なり、履修者数の規模によって、大きな影響はないものと考えられる。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

| 科目名 | わかりやすさ | ものの見方 |
|-----------------------------|--------|--------|
| (日)市民生活と法(再)(月4) | 4.44 | 4.28 ② |
| インターンシップ入門II/社会とつながるII(金1) | 4.38 | 4.27 ③ |
| (留2)市民生活とキャリア形成(月3) | 4.35 | 4.35 ① |
| 行政法総論(木2) | 4.26 | 4.12 ⑤ |
| 基礎力養成I(A)(水2) | 4.14 | 3.52 |
| 公務員試験対策I(火3) | 4.13 | 3.79 ⑧ |
| (留2)市民生活と法/(留)市民生活と法(再)(火2) | 4.08 | 3.96 ⑥ |
| (日)市民生活とキャリア形成(月2) | 4.06 | 4.13 ④ |
| 企業と法②(水1) | 3.98 | 3.92 ⑦ |
| 公務員基礎力養成II(木4) | 3.86 | 3.59 |
| 公務員基礎力養成I(火4) | 3.80 | 3.57 |
| 裁判と法②(木2) | 3.73 | 3.77 ⑨ |
| 租税法(水3) | 3.69 | 3.74 |
| (ス)スポーツ法学(火1) | 3.67 | 3.75 ⑩ |
| (日)市民生活と法(水3) | 3.53 | 3.61 |
| 企業と法①(水1) | 3.51 | 3.41 |
| 裁判と法①(木2) | 3.51 | 3.42 |
| 基礎力養成I(C)(水2) | 3.44 | 0 |

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。従来の結果と同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

| 科目名 | 平均 |
|--------------------|------|
| (留2)市民生活とキャリア形成(月) | 4.21 |
| 公務員試験対策I(火3) | 4.18 |
| インターンシップ入門II/社会と | 4.14 |
| 行政法総論(木2) | 4.12 |
| (日)市民生活と法(再)(月4) | 4.06 |
| 企業と法②(水1) | 3.94 |
| (日)市民生活とキャリア形成(月2) | 3.91 |
| 租税法(水3) | 3.82 |
| 裁判と法②(木2) | 3.82 |
| (留2)市民生活と法/(留)市民生活 | 3.79 |

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。前年度後期と比較すると、平均値は概ね横ばい（0.1ポイントの減少）である。

7 複数教員による授業

| 科目 | 平均 |
|-----------------------------|------|
| インターンシップ入門II/社会とつながるII(金1) | 4.47 |
| (留2)市民生活とキャリア形成(月3) | 4.35 |
| (日)市民生活とキャリア形成(月2) | 4.05 |
| (留2)市民生活と法/(留)市民生活と法(再)(火2) | 4.04 |
| 企業と法②(水1) | 3.86 |

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。前期において、複数教員による授業の平均値は、最も数値が高かった科目「(留1)市民生活とキャリア形成E」で4.36であったが、今回「インターンシップ入門II/社会とつながるII」は4.47と、若干ではあるが、これを上回った。キャリア科目は評価が高い傾向にあり、この原因について、授業見学の機会を利用するなどして分析し、他の複数教員による授業でも参考にすることが求められる。

8 クロス集計

| | | | 設問 4 | | | | | |
|-----|-------|------|-------|-----|-----|-----|----|----|
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 1 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| | | 1 | 4 | 285 | 88 | 22 | 10 | 3 |
| | | 2 | 1 | 77 | 435 | 67 | 22 | 5 |
| | | 3 | 1 | 32 | 144 | 203 | 31 | 8 |
| | | 4 | 1 | 10 | 21 | 15 | 10 | 7 |
| | | 5 | 1 | 4 | 9 | 6 | 4 | 20 |
| | | | 設問 8 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 4 | 2 | | | | 1 |
| | | 1 | 3 | 330 | 50 | 21 | 3 | 5 |
| | | 2 | 4 | 87 | 431 | 72 | 11 | 2 |
| | | 3 | 2 | 54 | 116 | 224 | 22 | 1 |
| | | 4 | | 14 | 22 | 18 | 7 | 3 |
| | | 5 | | 9 | 7 | 5 | 3 | 20 |
| | | | 設問 9 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 3 | 1 | 1 | | | 2 |
| | | 1 | 3 | 332 | 43 | 17 | 10 | 7 |
| | | 2 | 2 | 88 | 427 | 73 | 13 | 4 |
| | | 3 | 1 | 39 | 120 | 228 | 22 | 9 |
| | | 4 | | 9 | 21 | 17 | 13 | 4 |
| | | 5 | | 7 | 9 | 2 | 3 | 23 |
| | | | 設問 10 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 3 | 2 | 1 | | | 1 |
| | | 1 | | 360 | 40 | 11 | 1 | |
| | | 2 | 5 | 119 | 432 | 41 | 9 | 1 |
| | | 3 | 2 | 45 | 158 | 194 | 16 | 4 |
| | | 4 | | 17 | 21 | 15 | 10 | 1 |
| | | 5 | 1 | 11 | 7 | 1 | 6 | 18 |

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

| 対象 | 有効数 | 科目名 | 設問04 (わかりやすさ) | 設問05 (新しいものの見方) | 設問11 (教室・授業管理) |
|-----------|-----|-----------------------------|------------------|--------------------|-------------------|
| 全学生 | 260 | (日)市民生活と法(水3) | 3.53 | 3.61 | 3.78 |
| スポーツ学生のみ | 91 | | 3.76 | 3.88 | 3.96 |
| スポーツ学生を除く | 169 | | 3.41 | 3.46 | 3.69 |
| 全学生 | 18 | (日)市民生活と法(再)(月4) | 4.44 | 4.28 | 4.06 |
| 全学生 | 72 | (留2)市民生活と法/(留)市民生活と法(再)(火2) | 4.08 | 3.96 | 3.79 |
| スポーツ学生のみ | 12 | | 4.08 | 3.75 | 3.58 |
| スポーツ学生を除く | 60 | | 4.08 | 4.00 | 3.83 |
| 全学生 | 278 | (日)市民生活とキャリア形成(月2) | 4.06 | 4.13 | 3.91 |
| スポーツ学生のみ | 99 | | 4.01 | 4.17 | 4.00 |
| スポーツ学生を除く | 179 | | 4.08 | 4.11 | 3.86 |
| 全学生 | 52 | (留2)市民生活とキャリア形成(月3) | 4.35 | 4.35 | 4.21 |
| スポーツ学生のみ | 10 | | 4.40 | 4.40 | 4.40 |
| スポーツ学生を除く | 42 | | 4.33 | 4.33 | 4.17 |

専門共通基礎 II

| | | | | | |
|-----------|-----|-----------|------|------|------|
| 全学生 | 71 | 企業と法①(水1) | 3.51 | 3.41 | 3.57 |
| スポーツ学生のみ | 36 | | 3.53 | 3.28 | 3.47 |
| スポーツ学生を除く | 35 | | 3.50 | 3.56 | 3.68 |
| 全学生 | 125 | 企業と法②(水1) | 3.98 | 3.92 | 3.94 |
| 留学生のみ | 62 | | 4.13 | 4.16 | 4.03 |
| 留学生を除く | 63 | | 3.84 | 3.68 | 3.84 |
| スポーツ学生のみ | 18 | | 4.28 | 4.17 | 4.11 |
| スポーツ学生を除く | 107 | | 3.93 | 3.88 | 3.91 |
| 全学生 | 86 | 裁判と法①(木2) | 3.51 | 3.42 | 3.60 |
| スポーツ学生のみ | 50 | | 3.45 | 3.33 | 3.57 |
| スポーツ学生を除く | 36 | | 3.58 | 3.56 | 3.64 |
| 全学生 | 140 | 裁判と法②(木2) | 3.73 | 3.77 | 3.82 |
| 留学生のみ | 66 | | 3.80 | 4.00 | 3.95 |
| 留学生を除く | 74 | | 3.66 | 3.56 | 3.70 |
| スポーツ学生のみ | 26 | | 4.12 | 4.08 | 4.23 |
| スポーツ学生を除く | 114 | | 3.64 | 3.70 | 3.73 |

専門共通基礎 I については、まず留学生科目についてみると、同種の日本人向け通常科目と比べて、全般的に平均値が高い傾向にある。前年度後期の分析では、留学生科目の平均値が顕著に高いということとはできないとの結果が示されており、この差異が何によって生じたのか、分析する必要がある。次にスポーツ学生と非スポーツ学生との比較をみると、設問にもよるが、概ね、スポーツ学生の平均値は、非スポーツ学生における平均値より高い。前年度前期の「市民生活と法」においては各設問においてスポーツ学生における平均値が有意に低いことが指摘されていたが、今回は、逆の結論となっており、スポーツ学生であるからといって、一概に、平均値が低いということとはできないようである。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の①が科目設置学部 of 学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。いずれも、多少ではあるものの、①より②の方が平均値が高い。より詳細に見ると、②科目では、留学生・スポーツ学生が平均値を引き上げていることが分かる。一方、①科目では、スポーツ学生の平均値は、概ね、非スポーツ学生より低い傾向にある。②科目のスポーツ学生は、18名、26名と比較的少数ではあるが、専門共通基礎 I 同様、スポーツ学生であるから、一概に、平均値が低いということとはできない。法学部のスポーツ学生の傾向について、分析を行い、対応を考える必要がある。

2017(平成 29)年度前期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|---------------------|---------------------|-------------|--------------|
| 全体 | 9607 | 9536 | 6749 | 70.64 |
| 経営学部 | 2697 | 2697 | 1864 | 69.11 |

授業評価アンケートについては、27 科目すべて実施された。経営学部教員担当科目の回答率は 69.11%であり、全体平均 70.64%に比べ、1.53%低かった。国家試験を目指す人間生活科学が全体の回答率を引き上げていると思われ、経営学部の学生に対しては、内発的・外発的動機づけによる出席率の向上が望まれる。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

| | 設問内容 | ポイント |
|----|---|------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.15 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.06 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.95 |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか | 4.05 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.97 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.26 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 4.05 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.16 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.11 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.27 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.03 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.29 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.79 |

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、昨年度に比べ、全設問における平均ポイントは若干上がった。設問 1 と設問 2 を除いては、全体平均と同等以上の評価であった。設問 1 と設問 2 に関しては、学生の自発的な参加や動機づけに関わっており、経営学部教員は学生の意欲向上に繋がる改善策が必要である。設問 5 と設問 8 に関しては、昨年度に比べ、全体平均値より高くなった。その要因としては、経営学部教員の講義へのさまざまな工夫の積み重ね(講義のユニークさ、わかりやすい配布資料の作成など)が考えられる。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

*属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

| | 全学生 | 留学生のみ | 留学生除く | スポーツ学生のみ | スポーツ学生除く |
|----|-----|-------|-------|----------|----------|
| 1 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 2 | 4.0 | 4.3 | 3.9 | 4.1 | 4.0 |
| 3 | 4.0 | 4.2 | 3.7 | 4.0 | 4.0 |
| 4 | 4.0 | 4.2 | 3.9 | 4.1 | 4.0 |
| 5 | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 4.1 | 4.0 |
| 6 | 4.2 | 4.3 | 4.0 | 4.2 | 4.2 |
| 7 | 4.0 | 4.2 | 3.9 | 4.1 | 4.0 |
| 8 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 9 | 4.1 | 4.2 | 3.9 | 4.1 | 4.1 |
| 10 | 4.2 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 4.2 |
| 11 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.1 | 4.0 |
| 12 | 4.3 | 4.4 | 4.2 | 4.2 | 4.3 |
| 13 | 3.8 | 4.2 | 3.6 | 4.0 | 3.8 |

昨年度に引き続き、留学生はすべての設問について、高い数値を示し、満足度が高いと考えられる。一方、日本人学生（留学生を除く）は設問1、6、8、10、12以外すべて4.0未満であり、自己評価である設問2（意欲）、設問5（新しいものの見方や考え方）、設問13（複数教員による授業）が留学生よりもかなり低い。昨年度に引き続き、日本人学生の意欲を引きあげる地道な取り組みが必要である。

スポーツ推薦入学生はほとんどが日本人学生であることから、日本人学生のなかではスポーツ推薦入学生の満足度が高いことが推測できる。

4. クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」

クラスサイズ別の各設問の得点をみると、大学全体では、毎年同様、受講者数が少ないほど、すべての設問で得点が高くなる大体の傾向が見られた。経営学部についてもほぼ同じであるが、設問1（出席率）に関しては例外だった。人数が少ないほうが良い授業と評価される傾向がある。100人以下の場合、人数問わず高い評価を得ている。これについては、過去4年同じ傾向であることがデータから確認できた。

5. クロス集計について

昨年と同じく「設問11：教室管理」と、「設問4：わかりやすさ」、「設問8：教科書、配布資料の活用」、「設問9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問10：教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計を行なった。いずれのクロス集計においても、昨年と同様、大学全体および他学部と同じく、「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

* 「設問 4：わかりやすさ」と「設問 11：教室管理」結果

「設問 4：わかりやすさ」について評価平均 4.0 以上の科目は、27 科目中 19 科目 (70.4%) であり、昨年前期(72.0%)より 1.6%下がった。その原因としては、昨年度に比べ、今年度は、さらに留学生が増加したためである。今後、留学生向けのわかりやすい講義への工夫が必要とされる。

「設問 11：教室管理」は、27 科目中 18 科目(66.7%)が 4.0 以上を得ており、昨年前期(60%)より 6.7%上がった。この結果は、状況に応じた柔軟かつ適切な教室管理が行われたものである。

* 「設問 5：新しいものの見方」結果

「設問 5：新しいものの見方」では、経営学部(3.97)は全体平均(3.92)に比べやや高く、昨年(3.94)に比べ 0.03 高い結果となった。4.0 以上は 27 科目中 17 科目の 63%(昨年は 25 科目中 13 科目の 52%)であり、昨年より大幅に向上した。しかしながら、昨年以下位にあった経営学部必修の専門科目 [(日)基本簿記 C、(日)基本簿記 B] のポイントは依然として低く、今後さらなる改善が望まれる。

7. 経営学部担当の専門共通基礎 I,II について

* 「(留 1) 市民生活とビジネス」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」「オムニバス」すべてが、4.29～4.64 である。留学生クラスの人数が 20 人ほどであり、日本語レベルや留学生の反応に合わせた講義が行われたことが良好な結果に結びついたものと思われる。

* 「(日) 市民生活とビジネス」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」「オムニバス」すべてが、3.57～3.82 である。すべての項目において 4 ポイントを超えておらず、留学生のクラスに比べて低い結果となった。今後、教員によるわかりやすい講義への工夫および勉学への意欲を高められるような改善策が必要である。

* 「会計と資金の経営学① (経営学部必修)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、全体は 4.0 以上である。留学生は 4.15～4.32 となっており、日本人学生の 3.72～3.94 を上回っている。全体的に留学生の評価が高く、日本人学生の講義への意欲を向上させるような工夫が必要である。

* 「会計と資金の経営学② (経済、法学部選択)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、全体は 3.86～3.94 である。留学生の方が高く、日本人学生の講義への意欲を向上させるような工夫が必要である。

*** 「商品と流通の経営学①（経営学部必修）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、全体は3.91～4.04である。留学生は4.01～4.20となっており、日本人学生の3.73～3.78を上回っている。全体的に留学生の評価が高く、日本人学生の講義への意欲を向上させるような工夫が必要である。

*** 「商品と流通の経営学②（経済、法学部選択）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、全体は4.04～4.21である。一般の日本人学生に比べ、スポーツ学生の評価が低い結果となった。今後、スポーツ学生の講義へのさらなる改善が望まれる。

2017(平成 29)年度前期 経済学部授業評価アンケート結果報告

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数(D) | 回収科目 履修者数(E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|
| 経済学部 | 2,131 | 2,060 | 1,315 | 63.83 |
| 【全体】 | 9,607 | 9,536 | 6,749 | 70.77 |

2科目で回収がなかったため回収率は93.1%である(対象科目数29、回収科目数27)。回答率は63.83%であり、平成28年度前期の65.18%、平成28年度後期の65.91%より下回っている。直近のものに比べて回答率は1~2%近く下がっている。経済学部の回答率は低めであるが、回収科目履修者数はアンケート実施日の出席者数ではない点に留意する必要があるだろう。例えば、就職活動でアンケートを欠席した学生、履修したがもう失格となっている学生がいることなどが考えられるためである。

2. 経済学部教員の所属別集計結果

| | 内容 | 平 28 前期 | 平 28 後期 | 平 29 前期 |
|----|---|------------|------------|------------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 3.9 | 3.9 | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.9 | 3.9 | 3.9 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 | 3.9 | 3.8 |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったですか | 3.8 | 3.9 | 3.8 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.9 | 3.9 | 3.8 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.0 | 4.1 | 4.0 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 3.9 | 4.0 | 3.9 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.0 | 4.0 | 4.0 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 3.9 | 3.9 | 4.0 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったですか | 3.9 | 4.1 | 4.0 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 3.9 | 3.9 | 3.9 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.1 | 4.2 | 4.2 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.0 | 3.8 | X |

平成29年度前期、経済学部の所属教員の複数教員による授業はない。

平成28年度前期と比べ、平成29年度前期は、7個の設問の値が同じであり、4個の設問がわずかに28年度前期を上回っている。1個の設問でわずかに28年度前期を下回っている。

る。平成 28 年度後期と比べ、平成 29 年度前期は、4 個の設問の値が同じであり、2 個の設問がわずかに 28 年度後期を上回っている。5 個の設問でわずかに 28 年度後期を下回っている。平成 28 年度前期、平成 28 年度後期と比べ、上回るあるいは下回るといっても 0.1 ポイント程度のものであり誤差の範囲ともいえるかもしれない。

なお、設問 13 については注意を要する。経済学部は平成 28 年度以降、専門共通基礎 I の複数教員によるオムニバス形式を解除し、各科目を個人担当で担当することにした。平成 29 年度前期に複数教員による授業はない。平成 28 年度前期、経済学部の専門共通基礎 I は複数教員による授業に該当しない。設問 13 に該当し得るのは経済学部教員を含む複数教員による授業（共通科目）のみである。

3. 学生視点集計結果

〔全体〕

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.2 | 3.9 | 4.3 | 3.8 |
| 留学生のみ | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.4 | 4.2 |
| 留学生を除く | 4.1 | 4.0 | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 3.9 | 4.1 | 3.9 | 4.2 | 3.9 | 4.2 | 3.7 |
| スポーツ学生のみ | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.3 | 4.2 |
| スポーツ学生を除く | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.2 | 3.9 | 4.3 | 3.7 |

経済学部の学生は他学部所属の教員の複数教員による授業を受けている。

学生視点での集計のうち、「留学生のみ」の値は「全学生」の値に比べ、すべての設問で高い。「スポーツ学生のみ」の値は、この「留学生のみ」の値とほぼ同じ（わずかに低い）値である。「留学生を除く」すなわち日本人学生（スポーツ学生を含む）の値は、すべての設問で「留学生のみ」の値および「スポーツ学生のみ」の値よりも低い。

過去と同様、「留学生」の値が相対的に高い傾向、「スポーツ学生」の値も高くなる傾向がある。その一方で、「スポーツ学生を除く」日本人学生の値が低くなる傾向がある。

平成 29 年度前期も「スポーツ学生を除く」日本人学生の値と「留学生」および「スポーツ学生」の値との間には開きがあるが、その差はやや縮んだ。

ほぼすべての設問で「留学生」の値が昨年度よりもわずかに下がる一方、ほぼすべての設問で「スポーツ学生」の値は、昨年度よりも上がっている。スポーツ学生を含む日本人学生すなわち「留学生を除く」の値は昨年度よりも上がっている。「スポーツ学生を除く」日本人学生の値については「留学生を除く」と同程度である。

スポーツ学生の値の上昇傾向が作用しているとはいえ、日本人学生の値が上がったことは、例えば、日本人学生に配慮して授業が工夫された可能性、留学生に合わせた授業簡便化などに対して日本人学生が抱く不満が少し解消された可能性を示している。

〔学年別〕

全学生

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1年 | 4.3 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.0 | 4.3 | 4.0 | 4.3 | 3.8 |
| 2年 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.2 | 3.7 |
| 3年 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 3.9 | 4.2 | 4.1 |
| 4年 | 3.7 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 4.2 | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 4.4 | 3.8 |

5年以上は有効数が1すなわちアンケート回答者は1名だった。過去と同様に学年が上がるほど出席率が下がる傾向があるが、2～4年生の値は昨年度をわずかに上回っており、改善がみられる。学生視点の値を学年別にみると、多くの設問で4年生の値と1年生の値が高い傾向にある。2年生の値と3年生の値は低い傾向にある。しかしながら、複数の学年で同じないしは同程度の値である設問が多いことも事実である。概して、2、3学年に対する授業の配慮や工夫の取組みが求められているといえそうである。

各学年について学生の属性別にみると、1年生では、留学生、スポーツ学生が高い値となる傾向をみてとることができる。初年次学生への支援や配慮が反映された結果と考えることもできる。2年生では、留学生の値はすべての設問で全学生の値より高いがスポーツ学生の値は全学生の値とほぼ同じ程度である。留学生を除く日本人学生の値は全学生の値を0.2ポイントほど下回る設問が多い。留学生が支援と配慮に満足する一方で、日本人学生が不満を抱いている可能性がある。3年生では、スポーツ学生を除く日本人学生の値と留学生の値の開きは縮んでいる。スポーツ学生を除く日本人学生の値と比べ、留学生の値は多くの設問でわずかに0.1ポイントほど上回るだけである。スポーツ学生の値は最も高いため、他との開きをみてとることができる。4年生の全学生の得点は、スポーツ学生を除く日本人学生の値をほぼ表わしているといえる。留学生、スポーツ学生、どちらも有効数は7で少ない。

4. 履修者数別集計結果

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1-50 | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.2 |
| 51-100 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.8 | 3.8 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 3.8 | 4.0 |
| 101-150 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.2 |
| 151-200 | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 3.7 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.8 | 4.1 |

教室規模で見た場合、150人以上の科目において多くの設問で低い値が示されている。その他の教室規模を見ると、値にはばらつきがみられるものの、およそ4ポイント前後である。150人以上の多人数授業で学生が苦戦している様子がうかがえる。

5. 設問 4「わかりやすさ」、設問 5 「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」

| 科目名 | わかりやすさ | ものの見方 | 教室・授業管理 |
|----------------------------------|--------|--------|---------|
| (留)日本語コミュニケーションレベル 3(月 2) | 4.68 | 4.68 ① | 4.63 ② |
| (留)日本語コミュニケーションレベル 3(月 4) | 4.67 | 4.56 ② | 4.67 ① |
| (留 1)市民生活と経済F(月 2) | 4.50 | 4.44 ④ | 4.31 ⑦ |
| 経済学史(火 2) | 4.47 | 4.26 ⑥ | 4.37 ⑤ |
| (日)市民生活と経済B(金 2) | 4.40 | 4.26 ⑥ | 4.14 ⑩ |
| 環境共生の探究 I(金 3) | 4.30 | 4.19 ⑧ | 4.21 ⑨ |
| (日)市民生活と経済A(金 2) | 4.25 | 4.45 ③ | 4.40 ④ |
| (留)日本語コミュニケーションレベル 3(火 2) | 4.23 | 4.38 ⑤ | 4.58 ③ |
| (留 1)市民生活と経済E/(留)市民生活と経済(再)(月 2) | 4.21 | 4.16 ⑩ | 4.31 ⑦ |
| (留 1)市民生活と経済D/(留)市民生活と経済(再)(月 2) | 4.04 ⑬ | 4.17 ⑨ | 4.35 ⑥ |

上表では、設問 4「わかりやすさ」の値が高い順に科目を並べ、真ん中の列に設問 5「新しいものの見方」、右側に設問 11「授業・教室管理」の値上位 10 までの科目の結果を示している。設問 5、11 については上位 10 科目について丸囲みの数字でその順位を示した。設問 4 の上位 10 番目は「経済史 I (火 1)」である。

小規模授業で同じ教員が担当している「日本語コミュニケーション レベル 3」が三つの設問について上位 5 科目に入っている。「(留 1) 市民生活と経済 F」「(日) 市民生活と経済 A」、「経済学史」が二つの設問について上位 5 科目に入っている。

留学生在が高い値をつける傾向をさしひく必要があるかもしれないが、次の特徴がある。
①上位 5 科目はほぼ同じ科目名と担当者で構成されている。同じ傾向を上位 10 科目でもみとることができる。②専門共通基礎 I「市民生活と経済」シリーズが値上位の科目となっている。

また、「日本語コミュニケーション レベル 3」、「市民生活と経済」シリーズを除いた科目をみると、平成 29 年度前期において経済学部 of 学生は、経済学史や環境への興味関心や理解を特に深めた可能性がある。

6. 前期専門共通基礎

学生の属性別でみて上述の設問 4、設問 5、設問 11 について各々以下の点をあげることができる。

専門共通基礎 I「市民生活と経済」シリーズについて、前述のとおり経済学部では 2016 年度から専門共通基礎 I「市民生活と経済」シリーズの複数教員によるオムニバス形式を解除し、各科目を個人で担当することになっている。

平成 29 年度前期の結果は、項目 5 をみればわかるように総じて高い値であり、経済学部の授業評価アンケート回収科目のなかで上位に位置している。個々の教員が特に優れてい

る面もあるのかもしれない。

各「(日) 市民生活と経済」の値は総じて高いが、学生の属性ごとにみるとスポーツ学生の値は、それ以外の日本人学生の値に比べてやや高い傾向にある。ただし、「(日) 市民生活と経済 (再)」つまり再履修の場合のスポーツ学生の値は、それ以外の再履修日本人学生の値に比べて低い。各「(留) 市民生活と経済」の値が総じて高いことには、クラス規模が小さいことも作用している可能性がある。

専門共通基礎 II の科目については、次のとおりである。

- ・ 国民経済と政府

「国民経済と政府①」、「国民経済と政府②」とも、全学生の値に比べて留学生のみの値は低い。スポーツ学生のみの値は全学生の値に比べ「国民経済と政府①」で低く、「国民経済と政府②」で高い。総じて、留学生の値が日本人学生の値より低い。

- ・ 市場の経済学

「市場の経済学①」、「市場の経済学②」とも、留学生のみの値は全学生の値に比べて高い。日本人学生の値が全学生の値を上回っている設問もあるが、総じて留学生を除く日本人学生の値は全学生の値に比べて低い。日本人学生の値は留学生の値より低い。

7. クロス集計について

経済学部の設定問 11 と設定問 4、8、9、10 のクロス集計は、ほぼ大学全体のクロス集計と同様の形になっている。ただし、設定問 10「教員の声の聞き取りやすさ」と設定問 11「私語・遅刻など授業の妨げへの教員の対応」のクロス集計には少し注意がいる。大学全体ではクロス集計の左上方上位の項目が 1 番学生数が多い項目であるのに対して、経済学部では 2 番目に学生数が多い項目となっている。平成 28 年度後期に指摘された経済学部の長所（教員の声が聞き取りやすく、それが教室管理に影響を及ぼしている点）がやや後退している可能性がある。

2017(平成 29)年度前期 人間生活科学部教育保育学科
授業評価アンケート結果分析

1 実施概要・教員所属別集計結果より

教育保育学科教員の授業評価アンケートは8科目について行われ、回収率は100%であった。また、対象履修科目は331名中300名で、回答率は90.63%であった。回答率は昨年度と比べ増加している。

次に教員所属別集計結果から、「シラバスを読んでいない学生」は62.1%から53.9%へと改善されている。しかしながら、昨年度と同様、シラバスを見て講義を選択しているというより、免許・資格を取得することを優先し授業を選択していると言えるのではないだろうか。この点、昨年度と同様シラバスの内容を周知させる必要性が強く感じられる。一方、「シラバス通りに授業を行っている」という問いに対する平均点は逆に3.9から3.8へと低下している。授業者側への指摘も依然として明確である。出席率と意欲的に取り組んだかどうかの平均点に4.2%の開きが出ている。免許・資格取得が優先し意欲も無いのに講義にだけは出ておこうといった学生の存在が気になるところである。

2 学生視点集計結果より

昨年度4「内容が分かりやすかった」・5「新しい物の見方や考え方・・・」との比較において、現4年生において昨年度同内容が「3.8」・「3.6」と低い傾向が見られたが、今年度前期において全体が「4.0」・「4.0」、現4年生「4.0」・「3.9」と持ち直す結果となっている。新しい傾向として新1年生において「3.8」・「3.8」と二項目とも低い傾向が見られる。昨年度3年生に指摘された内容が、1年生に当てはまるのではと心配される。すなわち、授業内容に知的関心に合致しないものがあり、教員サイドから考えると、学生の興味関心を引きつけるような手立てや内容を考えていく必要がある気になるところである。

教員の熱意と授業の進め方について。教員の6「教員の熱意」・7「授業の進め方の適性」との比較において、「4.2」・「4.0」という結果であった。昨年度「4.2」・「4.1」と比較し0.2ポイントと差が大きくなっている。最も顕著となっている学年が2年生の「4.3」・「4.0」の0.3ポイント差であった。教員の熱意は学生に伝わっているが授業の進め方においては、教員側のカリキュラム全体の洗い出しと、全体を見通した内容の精選と工夫が求められているのではないだろうか。

次に「教科書・配付資料の活用」である。平均点「4.1」であった。3年生「4.2」・4年生「4.3」は昨年同様と高い結果が出ている。学生に教科書を買わせたらきちんと活用する。より分かりやすい資料を作り心掛け授業を進めていくことは今後も続けていくことが大切である。

項目9「板書やスクリーン・モニターなど・・・」の提示については、平均「4.0」

と概ね工夫がされているようである。ただ1年生においてのみ平均が平均「3.8」と低さが目立っている。1年次においては全体での講義・多人数での講義が多いためこのような結果が出ていると考えられる。学生の人数が多いからやむを得ないという問題ではないと考える。一層の授業改善・カリキュラムの見直しなどが必要であると考えられる。

項目10「教員の声は聞きやすさ」については、平均「4.3」と高い数値が得られている。今後も部屋の大きさ、学生の数、授業の内容などによって、マイクを使ったり、立ち位置を考えたりなど工夫していく必要がある。

項目11「授業の妨げに対する教員の対応」については、昨年度と同様に平均「4.1」と概ねきちんと対応しているように思われる。スマートホンや私語などに対しては、多くの学生の授業の妨げになるので注意を厳しくしていくとともに、学生に自覚させていく必要がある。また遅刻に関してはどこまで認めるかを今後とも議論していく必要がある。また、スポーツ特待の学生を受け入れていくと、特別欠席についても何らかのペナルティーを与えるなど工夫する場面が今後考えられる。

項目12「教員は授業時間を守っていたか」については、平均「4.3」という高い結果が得られた。授業の内容や形態によっても始めと終わりが90分とは行かないにしても、やはり時間通り始まり終わるとするのが原則であり、徹底するようにしていきたい。

3 履修者数別集計結果

通常、どの項目も履修者が多くなれば数値が低くなることが予想される。ところが、「授業に良く出席したか」の項目だけは平均「4.0」→平均「4.6」と0.6ポイントも逆に高い数値となっている。履修者が多い方が気楽に出席出来るのだろうか。もしそうなら残念な結果である。

「授業内容は分かりやすかった」平均「4.2」→平均「3.7」、「板書やスクリーン・モニターなどは見やすかった」平均「4.1」→平均「3.6」と結果が出ているが、差が0.5ポイントあるのは指導者である教員側の講義に臨む姿勢、講義をさらに分かりやすく板書やスクリーン・モニターを見やすくしていく工夫が今後なお一層要求されていくことになる。

「授業に意欲的に取り組む」平均「4.1」→「3.8」、「教員の教える熱意」平均「4.3」→「4.0」、「授業の速さ進め方」平均「4.1」→「3.8」の3項目については予想された結果と言え、平均0.3ポイントの低下は見過ごせない項目である。

※ スポーツ学生とスポーツを除く学生との結果比較

1学年では、ポイントが大きく低下している項目は次の通りで会った。「0.3」ポイント低下の項目3「シラバスにそって行われている」7「授業の速さや進め方は適切か」、「0.2」ポイント低下の項目4「授業内容は分かりやすかったか」5「新しいものの見方や考え方を得られたか」。

一方ポイントが高くなった項目は、「0.4」ポイント高かった項目 10「教員の声は聞き取りやすかったか」 11「授業の妨げに対する教員の対応は適切だったか」の 2 項目であった。一方、2 学年でもほぼ同じ傾向が見られた。

この結果より、教員側の配慮事項・対策として、授業の速さ進め方の検討、さらに分かりやすい授業への教材研究などを今後進めていかなければならないと考える。しかしながら、限られた時間内で指導しなければならないため、内容を精選しさらに分かりやすく工夫するには限界があることも事実である。また今後、教育実習や保育実習など時間に制約されることが多い中で、スポーツとの両立が可能だろうか、いや両立させていかなければならない状況である。学生自身の頑張りも必要だが、取得単位・教育実習との兼ね合い方・特別休暇などなど・・・学科側のシステム変更も必要になってくると考える。

**2017(平成 29)年度前期 人間生活科学部管理栄養学科
授業評価アンケート結果報告**

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率(F÷E) |
|--------|------------------|------------------|----------|----------|
| 管理栄養学科 | 1,169 | 1,169 | 995 | 85.12 |
| 【全体】 | 9,607 | 9,536 | 6,749 | 70.77 |

人間生活科学部管理栄養学科の平成 29 年前期授業アンケート対象は、管理栄養学科の専任担当科目のうち 28 科目であった。対象科目の履修者数は 1,169 人、回答者数は 995 人であり、回答率は 85.12%である。大学全体の回収率より高い傾向である。

2. 管理栄養学科所属教員の平均および学年結果

| 設問 | 内容 | 平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.7 | 4.7 | 4.7 | 4.7 | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.1 | 3.9 | 4.4 | 4.1 | 3.9 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 | 3.7 | 4.0 | 3.8 | 3.9 |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか | 4.0 | 3.8 | 4.3 | 4.1 | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 4.0 | 3.7 | 4.4 | 4.0 | 4.1 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.2 | 4.0 | 4.5 | 4.2 | 4.2 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 4.1 | 3.8 | 4.3 | 4.2 | 4.1 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.1 | 3.9 | 4.3 | 4.2 | 4.2 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.1 | 3.9 | 4.3 | 4.1 | 4.2 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.3 | 4.1 | 4.4 | 4.3 | 4.3 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.0 | 3.7 | 4.3 | 4.1 | 4.2 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.3 | 4.2 | 4.5 | 4.2 | 4.5 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.9 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 5.0 |

管理栄養学科に所属する専任教員担当科目の平均は、すべての設問で 3.8 以上であった。

設問 1 の出席に関する項目では平均 4.7 であり、特に 4 年次の授業参加率は低かった。

設問 2 の授業への意欲的に取り組んでいるかの項目では 2 年次の評価が高い値を示した。

設問 3 のシラバスにそって授業を行ったかの項目で平均は 3.8 で 13 項目中最低であった。反省を促される。

設問 4(授業内容のわかりやすさ)と 5 (新たなものの見方や考え方) では、1 年次の学生の評価が 2~4 年次と比べ低い値を示した。

設問 6 の教員の意欲、設問 7 の授業の進行、設問 8 教科書の活用、設問 9 の板書などの見やすさ、設問 10 の教員の声、設問 11 の教室管理、設問 12 の授業時間の項目で 1 年次以外の学年では良い結果を得ている。特に 2 年次の結果は全体的に他の学年と比べ、良い結果を示している。学年毎に学生の特徴を把握し、対応する必要があると考える。

設問 13 の複数教員による授業は 1 年次 3.7、4 年次 5.0（1 名）例数が少数なので参考データである。

3. 授業のわかりやすさ

| | |
|------------------------------|------|
| 給食経営管理論 I(2 組)(木 1) | 4.65 |
| 基礎栄養学 I(2 組)(月 4) | 4.60 |
| 食品学 I(1 組)(金 1) | 4.48 |
| 応用栄養学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.47 |
| 調理科学実験(1 組)(火 1.火 2.火 3) | 4.43 |
| 応用栄養学 I(1 組)(月 4) | 4.36 |
| 食品学実験 I(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 4.33 |
| 栄養調理学実習(1 組)(火 1.火 2.火 3) | 4.30 |
| 公衆栄養学 II(2 組)(月 4) | 4.29 |
| 臨床栄養学実習 I(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.26 |
| バイオテクノロジー概論(火 4) | 4.21 |
| 臨床栄養学 II(1 組)(月 4) | 4.20 |
| 栄養教育論実習 II(2 組)(火 1.火 2.火 3) | 4.18 |
| 公衆衛生学 I(1 組)(木 3) | 4.08 |
| 病態学 I(1 組)(木 5) | 4.07 |
| 公衆栄養学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.00 |
| 応用栄養学演習(2 組)(火 1.火 2) | 3.97 |
| 栄養演習(金 4) | 3.91 |
| 運動生理学(1 組)(木 2) | 3.85 |
| 臨床栄養学演習(2 組)(火 3.火 4) | 3.85 |
| フードスペシャリスト論(火 4) | 3.81 |
| 栄養管理学入門(オムニバス)(月 1) | 3.77 |
| 栄養教育論 II(1 組)(木 1) | 3.59 |
| 調理学(1 組)(金 2) | 3.56 |
| 生化学 I(1 組)(金 3) | 3.53 |
| 生化学実験 I(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 3.52 |
| 解剖生理学 I(1 組)(火 4) | 3.48 |
| 化学(火 2) | 3.41 |

この項目は 28 科目であり学科平均 4.0 であった。3.4 から 4.7 の範囲であった。

4. 新しいものの見方や考え方

| | |
|---------------------------|------|
| 応用栄養学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.58 |
| 給食経営管理論 I(2 組)(木 1) | 4.58 |
| 基礎栄養学 I(2 組)(月 4) | 4.57 |
| 栄養調理学実習(1 組)(火 1.火 2.火 3) | 4.45 |

| | |
|-------------------------|------|
| 調理科学実験(1組)(火1.火2.火3) | 4.40 |
| 食品学I(1組)(金1) | 4.36 |
| 応用栄養学I(1組)(月4) | 4.33 |
| 病態学I(1組)(木5) | 4.33 |
| バイオテクノロジー概論(火4) | 4.25 |
| 臨床栄養学II(1組)(月4) | 4.23 |
| 公衆栄養学II(2組)(月4) | 4.21 |
| 臨床栄養学実習I(1組)(金1.金2.金3) | 4.20 |
| 栄養教育論実習II(2組)(火1.火2.火3) | 4.18 |
| 食品学実験I(2組)(木1.木2.木3) | 4.13 |
| 臨床栄養学演習(2組)(火3.火4) | 4.06 |
| 公衆栄養学実習(1組)(金1.金2.金3) | 4.04 |
| フードスペシャリスト論(火4) | 3.96 |
| 公衆衛生学I(1組)(木3) | 3.96 |
| 応用栄養学演習(2組)(火1.火2) | 3.95 |
| 解剖生理学I(1組)(火4) | 3.86 |
| 栄養演習(金4) | 3.80 |
| 生化学実験I(2組)(木1.木2.木3) | 3.76 |
| 運動生理学(1組)(木2) | 3.76 |
| 栄養管理学入門(オムニバス)(月1) | 3.73 |
| 調理学(1組)(金2) | 3.65 |
| 生化学I(1組)(金3) | 3.59 |
| 栄養教育論II(1組)(木1) | 3.56 |
| 化学(火2) | 3.33 |

この項目は28科目であり学科平均4.0であった。3.3から4.6の範囲であった。

5. 授業・教室管理について

| | |
|-------------------------|------|
| 応用栄養学実習(1組)(金1.金2.金3) | 4.61 |
| 基礎栄養学I(2組)(月4) | 4.57 |
| 給食経営管理論I(2組)(木1) | 4.48 |
| 調理科学実験(1組)(火1.火2.火3) | 4.46 |
| 公衆栄養学II(2組)(月4) | 4.42 |
| 栄養調理学実習(1組)(火1.火2.火3) | 4.30 |
| 臨床栄養学II(1組)(月4) | 4.29 |
| 応用栄養学I(1組)(月4) | 4.28 |
| 栄養教育論実習II(2組)(火1.火2.火3) | 4.22 |

| | |
|-----------------------------|------|
| 臨床栄養学実習 I(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.20 |
| 臨床栄養学演習(2 組)(火 3.火 4) | 4.19 |
| 食品学 I(1 組)(金 1) | 4.16 |
| 食品学実験 I(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 4.07 |
| 応用栄養学演習(2 組)(火 1.火 2) | 4.05 |
| 栄養教育論 II(1 組)(木 1) | 4.03 |
| バイオテクノロジー概論(火 4) | 4.00 |
| 生化学実験 I(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 4.00 |
| 公衆栄養学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.00 |
| フードスペシャリスト論(火 4) | 3.96 |
| 病態学 I(1 組)(木 5) | 3.93 |
| 公衆衛生学 I(1 組)(木 3) | 3.92 |
| 栄養演習(金 4) | 3.85 |
| 解剖生理学 I(1 組)(火 4) | 3.83 |
| 調理学(1 組)(金 2) | 3.76 |
| 生化学 I(1 組)(金 3) | 3.75 |
| 運動生理学(1 組)(木 2) | 3.73 |
| 栄養管理学入門(オムニバス)(月 1) | 3.57 |
| 化学(火 2) | 3.38 |

この項目は 28 科目であり学科平均 4.0 であった。3.4 から 4.6 の範囲であった。

6. クロス集計

| | | わかりやすさ(設問4) | | | | | |
|------------|------|--------------------|-----|-----|-----|----|---|
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室管理(設問11) | 回答なし | | 2 | 1 | 2 | | |
| | 1 | | 256 | 76 | 25 | 3 | 2 |
| | 2 | | 30 | 241 | 67 | 12 | |
| | 3 | 1 | 27 | 100 | 97 | 17 | 5 |
| | 4 | | 2 | 5 | 2 | 3 | 1 |
| | 5 | | 3 | 3 | 2 | 6 | 4 |
| | | 教科書・配布資料の活用(設問8) | | | | | |
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室管理(設問11) | 回答なし | | 2 | 1 | 2 | | |
| | 1 | 2 | 300 | 45 | 9 | 5 | 1 |
| | 2 | | 52 | 245 | 44 | 6 | 3 |
| | 3 | 2 | 31 | 97 | 96 | 12 | 9 |
| | 4 | | 5 | 5 | 2 | 1 | |
| | 5 | | 4 | 3 | 1 | 3 | 7 |
| | | 板書やスクリーンの見やすさ(設問9) | | | | | |
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室管理(設問11) | 回答なし | | 2 | 1 | 2 | | |
| | 1 | 3 | 294 | 43 | 14 | 5 | 3 |
| | 2 | | 38 | 256 | 48 | 6 | 2 |
| | 3 | 2 | 36 | 79 | 110 | 15 | 5 |
| | 4 | | 4 | 5 | 1 | 3 | |
| | 5 | | 3 | 4 | 2 | 2 | 7 |
| | | 声の聞き取りやすさ(設問10) | | | | | |
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室管理(設問11) | 回答なし | | 2 | 1 | 2 | | |
| | 1 | 1 | 317 | 30 | 10 | 3 | 1 |
| | 2 | | 62 | 263 | 24 | 1 | |
| | 3 | | 60 | 89 | 86 | 10 | 2 |
| | 4 | | 2 | 6 | 3 | | 2 |
| | 5 | | 7 | 3 | 2 | | 6 |

クロス集計では、教室管理（設問11）とわかりやすさ（設問4）、教科書・配布資料の活用（設問8）、板書やスクリーンの見やすさ（設問9）、声の聞き取りやすさ（設問10）の4つの設問について行った。

共通する結果として、教室・授業管理について低い評価を得ている場合、クロス項目の評価も低い値を示す傾向が見られた。

2017(平成 29)年度前期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

前期授業評価アンケート対象科目のうち、非常勤講師担当は 34 科目についてアンケートが実施された。

実施科目の内訳は情報科目 16、英語科目 6、留学生用日本語科目 5、共通科目 1、学部学科専門科目 5、強化指定クラブ所属学生対象科目 1、教職科目 1 であった。

| 所属名 | 対象科目数 (A) | 回収科目数 (B) | 回収率 (B÷A) | コメント 提出科目数 (C) | コメント提出率 (C÷B) |
|------|--------------|--------------|--------------|----------------------|------------------|
| 【全体】 | 143 | 141 | 98.60 | 141 | 100.00 |
| 非常勤 | 34 | 34 | 100.00 | 34 | 100.00 |

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|---------------------|---------------------|-------------|--------------|
| 【全体】 | 9,607 | 9,536 | 6,749 | 70.77 |
| 非常勤 | 1,040 | 1,040 | 722 | 69.42 |

回答率（アンケート時の出席率）が全体と比較してやや低い。30 人前後の小クラスがほとんど（34 クラス中 32 クラス）であり、従来小クラスの回答率が高い傾向にあるため、情報科目（16 クラス）と語学（11 クラス）について別資料を調べた結果、情報科目の 8 クラスで回答率が低いことがわかった。さらにそのうちの 2 クラスについては分析対象として不適切な回答数であった。

II. 集計結果について

設問項目

| | |
|---|---------------------------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか |

| | |
|----|---|
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか |
| E | あなたはこの授業のシラバスを読みましたか |

1. 34科目の平均ポイント

| 設問 1 | 設問 2 | 設問 3 | 設問 4 | 設問 5 | 設問 6 | 設問 7 | 設問 8 | 設問 9 | 設問 10 | 設問 11 | 設問 12 | 設問 E(Yes 率) |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------------|
| 4.2 | 4.1 | 3.9 | 4.1 | 3.9 | 4.3 | 4.1 | 4.3 | 4.0 | 4.3 | 4.0 | 4.3 | 47.0% |

設問 5「新しいものの見方」が 3.9 であるが、それ以外はすべて 4.0 以上であり、適切な授業が行われたことがわかる。

2. クラスサイズ別の平均ポイント

| 履修者数 | クラス数 | 設問 1 | 設問 2 | 設問 3 | 設問 4 | 設問 5 | 設問 6 | 設問 7 | 設問 8 | 設問 9 | 設問 10 | 設問 11 | 設問 12 | 設問 E(Yes 率) |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------------|
| 1-50 | 32 | 4.2 | 4.2 | 3.9 | 4.2 | 4.0 | 4.3 | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.4 | 4.0 | 4.4 | 50.2% |
| 51-100 | 1 | 4.3 | 4.2 | 3.9 | 4.3 | 4.3 | 4.5 | 4.3 | 4.4 | 0.0 | 4.5 | 4.2 | 4.5 | 37.5% |
| 101-150 | 1 | 3.8 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 31.8% |

1～50人のクラスが 32 クラスであるが、31 クラスは 30 人以下のクラスであり、学習環境として適切であったことがわかる。50 人以上と 100 人以上のクラスはそれぞれ

1 クラスであり、それぞれの結果とクラスサイズとの相関は不明である。

3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

(1) 情報科目 (16 クラス)

| 科目名 | 担当者 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 授業・教室管理 |
|-----------------|-----|--------|----------|---------|
| Q2(済 A)情報(Word) | A | 4.67 | 4.23 | 4.45 |
| Q2(済 B)情報(Word) | D | 3.69 | 3.58 | 3.96 |
| Q2(営 A)情報(Word) | E | 3.62 | 3.86 | 3.81 |
| Q2(営 B)情報(Word) | C | 3.46 | 3.36 | 3.14 |
| Q2(法 A)情報(Word) | A | 4.45 | 4.18 | 4.14 |
| Q2(法 B)情報(Word) | D | 4.15 | 4.00 | 4.54 |
| Q2(法 C)情報(Word) | E | 3.67 | 3.75 | 3.75 |
| Q2(法 D)情報(Word) | C | 3.73 | 3.60 | 3.93 |
| 情報(Word)(1) | C | 4.13 | 3.88 | 4.13 |
| 情報(Word)(2) | B | 3.50 | 4.00 | 3.50 |
| 情報(Excel)(1) | B | 4.44 | 4.56 | 4.22 |
| 情報入門(1) | E | 3.95 | 3.77 | 3.64 |
| 情報入門(2) | C | 3.95 | 3.89 | 3.84 |
| 情報入門(2) | B | 3.43 | 3.36 | 3.00 |
| ビジネス情報処理 I | B | 3.00 | 3.00 | 3.00 |
| 情報検定総合(週 2 回) | A | 4.19 | 4.04 | 4.00 |

「Q」はクォーター制のクラスを表し、週 2 回同じ講師による授業がおこなわれた。「Q2」は 6 月上旬から開始したことを示している。MOS 合格を目的として今年度は「Word」を経済・経営用にそれぞれ 2 クラス、法学部用に 4 クラスを開講した。全体として担当者 A のクラスのポイントが高い。少人数クラスにもかかわらず「授業・教室管理」のポイントが低いクラスがあり、改善が求められる。

(2) 英語科目 (6 科目)

| 科目名 | 担当者 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 授業・教室管理 |
|-----------|-----|--------|----------|---------|
| 基礎英語 I(A) | G | 4.27 | 3.67 | 3.91 |
| 基礎英語 I(D) | F | 4.50 | 3.96 | 4.11 |
| 基礎英語 I(E) | G | 3.96 | 3.50 | 3.87 |

| | | | | |
|----------------|---|------|------|------|
| 基礎英語 I(H) | F | 4.71 | 4.43 | 4.50 |
| 英語コミュニケーション(A) | G | 4.41 | 3.93 | 4.33 |
| 英語コミュニケーション(D) | F | 4.16 | 3.72 | 3.76 |

今年度新任の非常勤講師（英語母語者）2名担当6科目について授業評価アンケートを実施した。「基礎英語 I」は経済・経営・法学部日本人1年次生対象の必修科目、「英語コミュニケーション」は人間生活科学部1年次生対象の必修科目である。アルファベットは習熟度別クラスを示し、Aが最上位クラスである。「わかりやすさ」のポイントから、すべてのクラスで適切な授業が行われたことがわかる。

(3) 留学生対象日本語科目（5科目）

| 科目名 | 担当者 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 授業・教室管理 |
|---------------------|-----|--------|----------|---------|
| (留1)日本語特別支援A | H | 4.67 | 4.75 | 4.50 |
| (留2)日本語特別支援A | H | 4.38 | 4.31 | 4.31 |
| (留)日本語コミュニケーションレベル1 | I | 4.69 | 4.46 | 4.15 |
| (留)アカデミック日本語レベル1 | J | 4.27 | 4.07 | 4.00 |
| (留)アカデミック日本語レベル3 | J | 4.85 | 4.38 | 4.31 |

今年度新任の非常勤講師3名担当5科目について授業評価アンケートを実施した。全てのクラスについて3項目とも高いポイントであり、適切な授業が行われたことがわかる。

(4) 共通科目、学部学科専門科目、スポーツ専用科目、教職科目（7科目）

| 区分 | 科目名 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 授業・教室管理 |
|--------|------------|--------|----------|---------|
| 共通科目 | (留)日本事情 IV | 4.67 | 4.23 | 4.45 |
| 法専門 | 裁判と法①(木2) | 3.51 | 3.42 | 3.60 |
| スポーツ専用 | (ス)スポーツの歴史 | 4.14 | 4.14 | 4.21 |
| 管理栄養専門 | 子どもの食と栄養 | 4.12 | 4.09 | 3.88 |
| 教育保育専門 | 教育の方法・技術 | 4.26 | 4.30 | 4.25 |
| | 道徳教育の研究 | 4.57 | 4.67 | 4.10 |

| | | | | |
|----|------------|------|------|------|
| 教職 | (教)道徳教育の研究 | 4.30 | 4.40 | 4.20 |
|----|------------|------|------|------|

7クラス中、5クラスは50名以下のクラスサイズで授業が行われた。中には30名以下の履修者のクラスもあった。「授業・教室管理」のポイントが高い。

なお、「裁判と法」は専任教員とのオムニバス授業のため、総合評価として担当学部（法学部）に分析を委ねたい。

4. 「授業・教室管理」との4項目クロス集計について

設問 11「授業・教室管理」と、設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書、配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計結果（詳細データは省略）では、いずれのクロス集計においても、「授業・教室管理」のポイントが高ければ、クロス項目のポイントも高くなるという強い相関関係が見られた。

以上

2017(平成 29)年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数(D) | 回収科目 履修者数(E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|-----------------|-----------------|-------------|--------------|
| 法学部 | 2,284 | 2,284 | 1,505 | 65.89 |
| 【全体】 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |

法学部の専任教員担当科目のうち 25 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 65.89%と、今年度前期より 3.47 ポイント減少した。人間生活科学部と比較すると低い値であるが、他の社会科学系の学部とはほぼ同等の値である。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

| 設問 | 内容 | 平均 |
|----|---|-----|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.0 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.9 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか | 3.9 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いませんか | 4.1 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか | 3.9 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか | 4.1 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか | 4.0 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか | 3.9 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いませんか | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いませんか | 3.8 |

今年度前期の結果と比較すると、大半の項目で、0.1 ポイントずつ上昇しており、全体の平均値において 0.06 ポイントの上昇があった。上昇した項目は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 13 である。

3 法学部生学年別結果（全学生）

| 設問 | 内容 | 全学年平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|---|-------|------|------|------|------|
| 1 | あなたは、この授業によく出席しましたか | 3.9 | 4.0 | 3.8 | 3.9 | 3.3 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いませんか | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 3.7 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いませんか | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 3.9 | 3.7 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いませんか | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 3.8 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 4.1 | 3.8 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いませんか | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 3.8 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 3.7 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 3.9 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.1 | 3.8 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 4.3 | 3.9 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.8 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いませんか | 4.1 | 4.1 | 3.9 | 4.2 | 3.9 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いませんか | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 4.1 | 3.9 |
| E | あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位) | 44.6 | 43.2 | 39.6 | 50.6 | 50.0 |

同(スポーツ学生)

| 設問 | 内容 | 全学年平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|--|-------|------|------|------|------|
| 1 | あなたは、この授業によく出席しましたか | 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.7 | 3.1 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 4.1 | 3.7 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 4.0 | 3.7 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いますか | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 4.1 | 3.8 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 4.1 | 3.7 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いますか | 4.0 | 4.0 | 3.8 | 4.2 | 3.7 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 4.1 | 3.6 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いますか | 3.9 | 3.9 | 3.7 | 4.1 | 3.9 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 4.1 | 3.7 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.0 | 3.9 | 3.8 | 4.2 | 3.8 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 4.0 | 3.7 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いますか | 4.0 | 3.9 | 3.8 | 4.2 | 3.8 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 4.2 | 3.7 |
| E | あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位) | 37.9 | 32.9 | 38.8 | 44.8 | 46.8 |

まず、全学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は今年度前期と変わらない(3.9)。設問別にみると、設問E「あなたは、この授業のシラバスを読みましたか」が、3.7%と大幅に上昇した。これは、2年生の同設問のポイントが11.3%も上昇したためである。また、設問13「複数教員による授業は良かったと思いますか」は、0.2ポイントの上昇であった。今回、各学年の平均値をみると、2,4年生が3.8と相対的に低く、1年生が3.9、3年生が4.1と相対的に高かった。

次に、スポーツ学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は今年度前期と変わらない(3.8)。学年の平均値をみると、2,4年生が3.7と相対的に低く、1年生が3.8、3年生が4.1と相対的に高かった。

スポーツ学生と全体とを比較すると、全体的に、全体がスポーツ学生の数値を上回る傾向が見られる。特に、2年生で全体がスポーツ学生を上回る傾向が強い。逆に、3年生では、その差は僅かであった。特徴的な点として、今年度前期と比較して、1年生のスポーツ学生においてのみ、設問Eのポイントが低下している(5.4ポイントの低下)。

4 履修者数別結果

| 設問 | 内容 | 1-50 | 51-100 | 101-150 | 151-200 |
|----|--|------|--------|---------|---------|
| 1 | あなたは、この授業に出席しましたか | 4.1 | 4.0 | 3.8 | 4.0 |
| 2 | あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.2 | 4.2 | 3.9 | 3.9 |
| 3 | この授業は、シラバスにそっておこなわれたかだと思いますか | 4.1 | 4.2 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 授業内容は、わかりやすかったと思いますか | 4.3 | 4.3 | 3.9 | 3.7 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 4.4 | 4.3 | 3.8 | 3.7 |
| 6 | 教員の教え方には、熱意があったと思いますか | 4.4 | 4.4 | 4.0 | 3.9 |
| 7 | 授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか | 4.2 | 4.2 | 3.9 | 3.7 |
| 8 | 教科書、配布資料が活用されていたと思いますか | 4.3 | 4.2 | 4.0 | 3.9 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.3 | 4.3 | 3.9 | 3.8 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.4 | 4.4 | 4.1 | 3.9 |
| 11 | 一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 3.8 |
| 12 | 教員は、授業時間を守っていたと思いますか | 4.4 | 4.4 | 4.1 | 4.0 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 4.4 | 4.3 | 3.6 | 3.7 |

※ 履修者数200名を超えるクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが8、51~100名規模のものが5、101~150名規模のものが7、151~200名規模のものが5である。

履修者数別に平均値を見ると、1~50名規模と51名~100名規模は、4.3と高い数値を示し、101名~150名規模は、3.9、151名~200名は、3.8と比較的低い数値を示している。今年度前期の分析と異なり、履修者数の規模が小さい方が満足度が高いと言える(なお、この結果は、前年度後期と同じである。)

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

| 科目名 | わかりやすさ | ものの見方 |
|-------------------------------|--------|--------|
| 物権法(火1) | 4.67 | 4.67 ② |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ(木4) | 4.56 | 4.72 ① |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ(金2) | 4.49 | 4.49 ⑤ |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ(水4) | 4.45 | 4.60 ③ |
| 労働法(木2) | 4.40 | 4.36 ⑦ |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ(金4) | 4.35 | 4.49 ④ |
| (留1)市民生活とキャリア形成(月1) | 4.34 | 4.41 ⑥ |
| (留1)市民生活と法(水2) | 4.30 | 4.30 ⑧ |
| 情報と法(火4) | 4.28 | 4.23 ⑩ |
| (ス)スポーツと社会(木1) | 4.21 | 4.14 |
| 行政救済法(水1) | 4.21 | 4.15 |
| 国際社会と法②(木3) | 4.12 | 4.10 |
| 知的財産法(水3) | 4.08 | 4.12 |
| 基礎力養成 II(B)(水2) | 4.07 | 3.60 |
| 国家と法(日本国憲法)①(金4) | 4.05 | 3.97 |
| 家族法(金2) | 4.04 | 4.23 ⑨ |
| 公務員基礎力養成 IV(木4) | 4.00 | 3.91 |
| 債権総論(月2) | 3.91 | 3.96 |
| 国際社会と法①(木2) | 3.77 | 3.78 |
| 犯罪と法②(木2) | 3.73 | 3.80 |
| 基礎力養成 II(C)(水2) | 3.61 | 3.33 |
| 債権各論(水2) | 3.61 | 3.73 |
| 会社法(水3) | 3.58 | 3.63 |
| 国家と法(日本国憲法)①／国家と法(日本国憲法)②(金4) | 3.23 | 3.47 |
| 犯罪と法①(水1) | 2.90 | 3.10 |

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。従来の結果と同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

| 科目名 | 平均 |
|------------------|------|
| 物権法(火1) | 4.83 |
| 家族法(金2) | 4.31 |
| キャリア支援講座／社会とつながる | 4.30 |
| (留1)市民生活と法(水2) | 4.28 |
| キャリア支援講座／社会とつながる | 4.28 |
| キャリア支援講座／社会とつながる | 4.27 |
| 労働法(木2) | 4.20 |
| 基礎力養成 II(B)(水2) | 4.15 |
| キャリア支援講座／社会とつながる | 4.15 |
| 国際社会と法②(木3) | 4.15 |

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。今年度前期と比較すると、平均値は横ばい（ポイント同じ）である。

7 複数教員による授業

| 科目 | 平均 |
|---------------------|------|
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ | 4.60 |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ | 4.47 |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ | 4.39 |
| (留1)市民生活とキャリア形成(月1) | 4.38 |
| キャリア支援講座／社会とつながるⅢ | 4.34 |

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。前期において、複数教員による授業の平均値は、最も数値が高かった科目「インターンシップ入門Ⅱ／社会とつながるⅡ」で4.47であったが、今回「キャリア支援講座／社会とつながるⅢ」は4.60と、これを上回った。キャリア科目は評価が高い傾向にあり、この原因について、授業見学の機会を利用するなどして分析し、他の複数教員による授業でも参考にすることが求められる。

8 クロス集計

| | | | 設問 4 | | | | | |
|-----|-------|------|-------|-----|-----|-----|----|----|
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 4 | 2 | 1 | 2 | | |
| | | 1 | | 349 | 107 | 20 | 5 | 5 |
| | | 2 | | 90 | 367 | 65 | 10 | 6 |
| | | 3 | | 29 | 104 | 183 | 38 | 15 |
| | | 4 | | 5 | 23 | 14 | 8 | 4 |
| | | 5 | | 4 | 8 | 7 | 6 | 24 |
| | | | 設問 8 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 1 | 3 | 371 | 82 | 27 | 1 | 2 |
| | | 2 | 4 | 93 | 400 | 37 | 3 | 1 |
| | | 3 | 1 | 32 | 129 | 185 | 14 | 8 |
| | | 4 | | 7 | 22 | 18 | 6 | 1 |
| | | 5 | | 5 | 10 | 11 | 3 | 20 |
| | | | 設問 9 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 4 | 2 | 1 | 1 | | 1 |
| | | 1 | 1 | 379 | 82 | 16 | 5 | 3 |
| | | 2 | 3 | 100 | 378 | 41 | 12 | 4 |
| | | 3 | | 31 | 85 | 215 | 27 | 11 |
| | | 4 | | 12 | 17 | 14 | 9 | 2 |
| | | 5 | | 8 | 5 | 7 | 5 | 24 |
| | | | 設問 10 | | | | | |
| | | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 法学部 | 設問 11 | 回答なし | 4 | 3 | 1 | 1 | | |
| | | 1 | 1 | 411 | 61 | 7 | 3 | 3 |
| | | 2 | 7 | 130 | 363 | 33 | 5 | |
| | | 3 | 1 | 40 | 123 | 180 | 16 | 9 |
| | | 4 | | 15 | 20 | 7 | 10 | 2 |
| | | 5 | | 5 | 10 | 4 | 3 | 27 |

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

| 対象 | 有効数 | 科目名 | 設問04 (わかりやすさ) | 設問05 (新しいものの見方) | 設問11 (教室・授業管理) |
|-----------|-----|---------------------|------------------|--------------------|-------------------|
| 全学生 | 46 | (留1)市民生活と法(水2) | 4.30 | 4.30 | 4.28 |
| スポーツ学生のみ | 7 | | 4.14 | 4.14 | 4.14 |
| スポーツ学生を除く | 39 | | 4.33 | 4.33 | 4.31 |
| 全学生 | 41 | (留1)市民生活とキャリア形成(月1) | 4.34 | 4.41 | 4.15 |
| スポーツ学生のみ | 2 | | 4.00 | 4.00 | 4.00 |
| スポーツ学生を除く | 39 | | 4.36 | 4.44 | 4.15 |

専門共通基礎 II

| | | | | | |
|-----------|-----|-------------------------------|------|------|------|
| 全学生 | 124 | 国家と法(日本国憲法)①(金4) | 4.05 | 3.97 | 3.89 |
| 留学生のみ | 1 | | 5.00 | 4.00 | 5.00 |
| 留学生を除く | 123 | | 4.04 | 3.97 | 3.88 |
| スポーツ学生のみ | 80 | | 3.96 | 3.88 | 3.85 |
| スポーツ学生を除く | 44 | | 4.20 | 4.14 | 3.95 |
| 全学生 | 124 | 国家と法(日本国憲法)①/国家と法(日本国憲法)②(金4) | 3.23 | 3.47 | 3.73 |
| 留学生のみ | 30 | | 3.97 | 4.10 | 4.03 |
| 留学生を除く | 94 | | 2.99 | 3.27 | 3.63 |
| スポーツ学生のみ | 20 | | 3.40 | 3.55 | 4.25 |
| スポーツ学生を除く | 104 | | 3.19 | 3.45 | 3.63 |
| 全学生 | 69 | 国際社会と法①(木2) | 3.77 | 3.78 | 3.75 |
| 留学生のみ | 2 | | 3.50 | 3.50 | 3.50 |
| 留学生を除く | 67 | | 3.78 | 3.79 | 3.76 |
| スポーツ学生のみ | 39 | | 3.72 | 3.69 | 3.74 |
| スポーツ学生を除く | 30 | | 3.83 | 3.90 | 3.77 |
| 全学生 | 108 | 国際社会と法②(木3) | 4.12 | 4.10 | 4.15 |
| 留学生のみ | 59 | | 4.31 | 4.24 | 4.27 |
| 留学生を除く | 49 | | 3.90 | 3.94 | 4.00 |
| スポーツ学生のみ | 19 | | 4.26 | 4.37 | 4.53 |
| スポーツ学生を除く | 89 | | 4.09 | 4.04 | 4.07 |
| 全学生 | 115 | 犯罪と法①(水1) | 2.90 | 3.10 | 2.99 |
| 留学生のみ | 2 | | 3.50 | 2.50 | 2.50 |
| 留学生を除く | 113 | | 2.88 | 3.11 | 3.00 |
| スポーツ学生のみ | 67 | | 2.78 | 3.06 | 2.99 |
| スポーツ学生を除く | 48 | | 3.06 | 3.15 | 3.00 |
| 全学生 | 15 | 犯罪と法②(木2) | 3.73 | 3.80 | 3.93 |
| 留学生のみ | 5 | | 4.00 | 3.80 | 4.40 |
| 留学生を除く | 10 | | 3.60 | 3.80 | 3.67 |
| スポーツ学生のみ | 2 | | 4.50 | 4.50 | 5.00 |
| スポーツ学生を除く | 13 | | 3.62 | 3.69 | 3.75 |

今学期の専門共通基礎 I は、留学生科目のみであった。今年度前期の分析でも示されているが、留学生クラスは、全般的に、同種の日本人向け通常科目と比べて、平均値が高い傾向にある（例えば、今年度前期の「(日)市民生活と法」は 3.41~3.96、「(日)市民生活とキャリア形成」は 3.91~4.17 である。）。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の①が科目設置学部の学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。なお、「国家と法(日本国憲法)①」とのみあるのは法学部対象クラス、「国家と法(日本国憲法)①/国会と法(日本国憲法)②」とあるのは法学部生以外を対象とするクラスである。この「国家と法(日本国憲法)」においては、①/②より①の方が平均値が高い。しかし、「国際社会と法」及び「犯罪と法」においては、逆に、②の方が平均値が高い。内訳をみると、すべての科目について、①科目では、スポーツ学生の平均値が全体より低いものの、②科目では、逆に、スポーツ学生が平均値を引き上げていることが分かる。これは、今年度前期の分析でも指摘されている傾向である。

①の方が平均値が高い専門共通基礎 II 科目は、今年度前期後期を通じて、「国家と法(日本国憲法)」のみである。この点について科目担当教員から、①/②クラスにおいて、当初行われていた留学生向けの対応(単語帳配布、ふり仮名)が、担当者交代(オムニバス)のためにアンケートが実施される時期にはなされていなかったことの影響もあるのではないかと指摘があった。

2017(平成 29)年度後期 経済学部授業評価アンケート結果報告

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|-------------|------------------|------------------|--------------|--------------|
| 経済学部 | 2,847 | 2,847 | 1,830 | 64.28 |
| 【全体】 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |

回収率は 100%で回答率は 64.28%である。平成 28 年度後期の 65.91%を 1.6%程度下回った。平成 29 年度前期 63.83%は上回っている。大学全体の回答率 66.20%より低い回答率である。

2. 経済学部教員の所属別集計結果

| 設問 | 内容 | 平 28 後期 | 平 29 後期 |
|----|---|------------|------------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 3.9 | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.9 | 3.9 |
| 4 | 授業の内容はわかりやすかったと思いますか | 3.9 | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.9 | 3.9 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.1 | 4.1 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 4.0 | 4.0 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.0 | 4.1 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.0 | 4.0 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.1 | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 3.9 | 3.9 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.2 | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.8 | 3.9 |

平成 28 年度後期と比べ、平成 29 年度後期は、1 個の設問の値が 0.1 下回ったが、同じ値の設問が 8 設問あり、0.1 上回った設問が 4 設問ある。平成 28 年度後期に比べ、設問 12「教員は授業時間を守ったか」は、値が 0.1 下回った。値が上がった設問は、設問 1「授業への出席」、設問 2「授業への意欲」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 13「複数教員による授業が良かったか」の各設問でそれぞれ 0.1 ずつ上昇した。平成 29 年度後期は、平成

28 年度後期より全体として微増している。学生の経済学部教員への授業評価はわずかだが高まっている。

| 設問 | 内容 | 平 29 前期 | 平 29 後期 |
|----|---|------------|------------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.0 | 4.0 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 | 3.9 |
| 4 | 授業の内容はわかりやすかったと思いますか | 3.8 | 3.9 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.8 | 3.9 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.0 | 4.1 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 3.9 | 4.0 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.0 | 4.1 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.0 | 4.0 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.0 | 4.1 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 3.9 | 3.9 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.2 | 4.1 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | X | 3.9 |

平成 29 年度前期と比べ、平成 29 年度後期は平成 29 年度前期の値を下回った設問は 12 「教員が授業時間を守っていたか」だけで、0.1 下回っている。前期と同じ値の設問は 3 つあり、前期の値より上回った設問が 8 つある。具体的には 2 「授業への意欲」、3 「授業がシラバスどおりか」、4 「わかりやすさ」、5 「新しいものの見方」、6 「教員の熱意」、7 「授業の速さや進め方」、8 「教科書・配布資料の活用」、10 「教員の声の聞き取りやすさ」の各設問である。平成 29 年度後期は、平成 29 年度前期よりも全体として少し増えた。ただし、前期は 13 「複数教員による授業」は対象外であるが、後期について 13 を加えても除いても、全体に平成 29 年度後期は、前期に比べ微増している。

3. 学生視点集計結果

〔全体〕

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.0 | 4.3 | 3.9 |
| 留学生を除く | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 3.7 |
| 留学生のみ | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.4 | 4.4 |
| スポーツ学生の み | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.1 |

「留学生のみ」の値が、設問9「教科書・配布資料の活用」を除く全項目で最高値である。「スポーツ学生のみ」は10個の設問で「留学生のみ」と同じ値を示している。これに対し、「留学生を除く」すなわち日本人学生は、「留学生のみ」「スポーツ学生のみ」よりすべてに低めの値である。全体に昨年度後期とほぼ同じ傾向を示している。

〔学年別〕

1年

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.0 | 4.4 | 3.6 |
| 留学生を除く | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 3.9 | 4.3 | 3.5 |
| 留学生のみ | 4.2 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.5 | 4.3 | 4.5 | 4.2 |
| スポーツ学生の み | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.5 | 4.6 | 4.3 | 4.4 | 3.6 |

1年生の「全学生」の値は、1~4年にわたる「全学生」に比べ、わずかに高い傾向がある。1年生の授業への満足度が全体に高いことがわかる。中でも「留学生のみ」の値がとりわけ高く、全13設問の内、4.4以上が10あり、「スポーツのみ」の学生がその後が続く。「留学生を除く」が一番低い。

1年生は、ほかの学年に比べると授業への満足度がわずかに高い。満足度の高さは留学生、スポーツ学生、日本人学生の順である。

2年生

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 4.0 |
| 留学生を除く | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 3.9 | 4.2 | 3.7 |
| 留学生のみ | 4.2 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.4 | 4.5 |
| スポーツ学生の み | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.4 |

2年生は1年生に比べると、「留学生を除く」すなわち日本人学生がわずかに低く、「スポ

「スポーツ学生のみ」もわずかに低い傾向がある。「留学生のみ」は1年と同じ値である。

スポーツ学生や日本人学生が、2年次でやや下落するが、留学生は1年次と同じ高い満足度を示している。2年生のスポーツ学生や日本人学生への満足度を上げる配慮が次年度以降にも望まれる。今年度は、「留学生のみ」については1年次から2年次への値の下落はない。2年の留学生をもつ科目担当者の努力の結果かもしれない。

3年生

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.3 |
| 留学生を除く | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.3 | 4.1 | 4.2 | 4.2 |
| 留学生のみ | 3.9 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.4 |
| スポーツ学生の み | 3.8 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 |

「全学生」の値は、3年次では2年次の値と同程度である。属性ごとに見ると「留学生を除く」はわずかに上回り、「留学生のみ」は下落の傾向がある。「スポーツ学生のみ」はわずかに上回る傾向がある。

全体としては3年生の満足度は2年生と同じ程度である。日本人学生と「スポーツ学生のみ」で満足度が微増しているが、一方、「留学生のみ」では満足度が下落している。3年次での留学生の満足度を上げる努力が望まれる。

4年生

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全学生 | 3.5 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 3.9 | 4.3 | 3.7 | 4.2 | 5.0 |
| 留学生を除く | 3.4 | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 4.2 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 4.3 | 3.7 | 4.2 | 5.0 |
| 留学生のみ | 4.3 | 4.6 | 4.6 | 4.5 | 4.5 | 4.3 | 4.5 | 3.3 | 3.8 | 4.2 | 4.0 | 4.3 | 0.0 |
| スポーツ学生の み | 4.4 | 4.7 | 4.9 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |

設問13に関して、アンケートを実施したオムニバス科目は、4年生1名だけである。この1名は日本人学生でスポーツ学生ではなく、その結果が値となって表れている。

4年生の「全学生」の値は3年次と同じ程度である。「留学生を除く」の値は、「留学生のみ」の値より低い傾向がある。「スポーツ学生のみ」も同様のことが言える。

全体として、4年次の値は、3年次と同じ程度だが、日本人学生は微減し、留学生は微増の傾向がある。スポーツ学生の値は大きな増加傾向がある。

4年次では、スポーツ学生の評価が大幅に高まっていることは特徴的である。4年次での日本人学生の、特にスポーツ学生以外の学生の満足度を上げる努力が今後望まれる。

4. 履修者別集計結果

| 設問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1~50 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.0 | 3.9 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 3.9 | 4.1 | 0.0 |
| 51~100 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 0.0 |
| 101~150 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 3.9 |
| 151~200 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 4.0 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | 0.0 |

設問 13 に関して、2017 年度後期では、オムニバス科目はすべて教室規模が 101~150 人である。その結果が値となって表れている。

全体として、どの教室規模もほぼ同じ程度の値であるが、51~100 人の教室規模の値が設問全体にわたって最も高い傾向がある。

5. 設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」

| 科目名 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 教室・授業管理 |
|----------------------------|--------|----------|---------|
| 地域政策 (火 2) | 4.75 | 4.75 ① | 5.00 ① |
| キャリア支援講座 II (SPI 対策) (金 1) | 4.63 | 4.37 ⑤ | 4.03 |
| (留 2) 市民生活と経済 G(月 2) | 4.48 | 4.43 ④ | 4.33 ③ |
| (留) 日本語コミュニケーションレベル 2(月 3) | 4.43 | 4.57 ② | 4.00 |
| 経済統計学 (水 1) | 4.42 | 4.11 | 4.31 ④ |
| 環境共生の探求 II(金 2) | 4.38 | 4.17 ⑩ | 4.15 ⑥ |
| 英語リーディング (2) (水 3) | 4.36 | 3.91 | 4.27 ⑤ |
| 消費者政策 (木 2) | 4.33 | 4.22 ⑨ | 4.10 |
| (留 2) 市民生活と経済 H(月 2) | 4.24 | 4.47 ③ | 4.35 ② |
| (留 2) 市民生活と経済 I(月 2) | 4.24 | 4.24 ⑧ | 4.12 |

上の表では、設問 4「わかりやすさ」の値が高い順に科目を並べ、中央の列に設問 5「新しいものの見方」、右側に設問 11「授業・教室管理」の結果を示した。設問 5、11 については上位 10 科目について丸囲みの数字でその順位を示した。その結果「わかりやすさ」の値の高い科目は、ほぼ「新しいものの見方」の値も高い。3 設問すべてでは、4 科目がすべて上位 10 科目に含まれている。

「(留 2) 市民生活と経済 (月 2)」の 3 クラスすべてが 10 位以内に入り、高い値を示している。オムニバス科目ではないが、授業への学生の満足度が高いことがわかる。(設問 13「複数教員による授業」は、6. 後期専門共通基礎で考察する。)

6. 後期専門共通基礎

専門共通基礎 I の「(留 2) 市民生活と経済」(月 2) は、オムニバスではない。設問 4、設問 5、設問 11 の「全学生」で見て 3 人の担当者の値は、大学全体の専門共通基礎 I の中でも、高い方に位置している。また学生の属性別で見ると、「スポーツ学生を除く」の

値は、高い方に位置している。

後期の専門共通基礎Ⅰは、順調に実施されている、と言える。

専門共通基礎Ⅱの必修科目は、「地域経済と消費者①（水 2）」、「戦後日本経済の動き①（木 1）」の 2 科目である。「地域経済と消費者①」は 2 名の教員によるオムニバス科目である。「留学生のみ」、「スポーツ学生のみ」の値は大変高いが、「留学生を除く」、「スポーツ学生を除く」の値はそれに比べるとわずかに低い。また「戦後日本経済の動き①」は 1 名の担当者による科目だが、「全学生」、すべての属性別で高い値を示している。

専門共通基礎Ⅱの選択必修科目は、経営学部・法学部開講の「地域経済と消費者②（金 1）」、「戦後日本経済の動き②（火 1）」の 2 科目である。「地域経済と消費者②」は、2 名の教員によるオムニバス科目であり、「留学生のみ」、「スポーツ学生を除く」の値が高い。「戦後日本経済の動き②」は 1 名の担当者による科目だが、全体に「戦後日本経済の動き①」に比べると値は低めである。経済学専攻の学生以外の学生が受講するので、履修する動機が弱いかもしれない。

7. クロス集計について

設問 11 と設問 4、設問 8 とのクロス集計は、経済学部と大学全体とが同じような形となっている。設問 11 と設問 9 とのクロス集計では、経済学部では大学全体に比べ、どちらの設問にも、最高の評価を与える [1-1] の学生の人数が多い。つまり、「板書やスクリーンの見やすさ」と「教室・授業管理」への学生の評価が高いことを示している。設問 11 と設問 10 とのクロス集計では、大学全体では 1-1 の人数が一番多いのに対し、経済学部では二番目の評価 [2-2] の人数が一番多い。つまり、「教室・授業管理」と「教員の声の聞き取りやすさ」への学生の評価は大学全体に比べ低い。以上のことから、「板書やスクリーンの見やすさ」は「教室・授業管理」には大いにつながっているが、必ずしも「教員の声の聞き取りやすさ」にはつながっていないようだ。

2017(平成 29)年度後期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|---------------------|---------------------|-------------|--------------|
| 全体 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |
| 経営学部 | 2,099 | 2,099 | 1,371 | 65.32 |

実施予定 27 科目すべてにおいて授業評価アンケートが実施された。経営学部教員担当科目の回答率は 65.32%であり、全体平均 66.40%に比べ、1.08%低く、前期の 69.11%よりも 3.79%低下した。経営学部の学生に対しては、引き続き内発的・外発的動機づけによる出席率の向上が望まれる。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

| | 設問内容 | ポイント |
|----|---|------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.1 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.1 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 4.1 |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか | 4.2 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 4.1 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.3 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 4.1 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.3 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.2 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.3 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.1 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.3 |
| 13 | 複数教員による授業は良かったと思いますか | 3.7 |

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、昨年度(後期)に比べ、全設問における平均ポイントは若干上がった。本年度では設問 13 を除いては、全体平均と同等以上の評価であった。毎年度課題となっていた設問 1、設問 2(学生の自発的な参加や動機づけ)のポイントが高くなっており、経営学部教員の学生の意欲向上への工夫(講義のユニークさ、わかりやすい配布資料の作成など)の積み重ねが見受けられる。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

*属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

| | 全学部生 | 留学生のみ | 留学生除く | スポーツ学生のみ | スポーツ学生除く |
|----|------|-------|-------|----------|----------|
| 1 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.0 | 4.1 |
| 2 | 4.1 | 4.3 | 4.0 | 4.2 | 4.1 |
| 3 | 4.1 | 4.3 | 3.9 | 4.1 | 4.1 |
| 4 | 4.1 | 4.3 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 5 | 4.1 | 4.3 | 3.9 | 4.2 | 4.1 |
| 6 | 4.2 | 4.4 | 4.1 | 4.2 | 4.3 |
| 7 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 8 | 4.2 | 4.3 | 4.1 | 4.1 | 4.2 |
| 9 | 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.2 |
| 10 | 4.3 | 4.4 | 4.2 | 4.2 | 4.3 |
| 11 | 4.1 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.1 |
| 12 | 4.3 | 4.4 | 4.2 | 4.2 | 4.3 |
| 13 | 4.0 | 4.2 | 3.8 | 4.1 | 3.9 |

留学生はすべての設問について、高い数値を示し、満足度が高いと思われる。一方、日本人学生（留学生を除く）は多くの項目において前期より改善されたものの、設問 3、5、13は 4.0 未満であり、設問 5（新しいものの見方や考え方）、設問 13（複数教員による授業）が留学生よりもかなり低い。

日本人学生の中でも、スポーツ推薦入学生は設問 1、6、10、12 のポイントが低く、教員の熱意、教員の声、授業時間の厳守について不満を持っている結果となっており、教員の授業に向き合う姿勢の改善が求められる。

4. クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」

クラスサイズ別の各設問の得点をみると、大学全体では、毎年同様、受講者数が少ないほどすべての設問で得点が高くなる大体の傾向が見られた。経営学部についてもほぼ同じであるが、例外もある。50～100 人クラスと 101～150 人クラスを比較するとすべての設問において 50～100 人クラスの方が高い評価を得ているが、50～100 人クラスと 151～200 クラスを比べてみると設問 4（授業内容の分かりやすさ）、設問 7（授業の速さや進め方の適切さ）、設問 8（教科書や配布資料の活用）に関しては 151～200 人クラスの方が良い授業と評価される傾向がある。

5. クロス集計について

昨年と同じく「設問 11：教室管理」と、「設問 4：わかりやすさ」、「設問 8：教科書、配布資料の活用」、「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問 10：教員の声の聞こえやすさ」の 4 項目のクロス集計を行なった。いずれのクロス集計においても、昨年と同様、大学全体および他学部と同じく、「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

* 「設問 4: わかりやすさ」と「設問 11: 教室管理」結果

「設問 4: わかりやすさ」について評価平均 4.0 以上の科目は、27 科目中 22 科目 (81.5%) であり、昨年後期(72.0%)より 9.5%上がった。経営学部教員の講義への工夫の面で評価できる。

「設問 11: 教室管理」は、27 科目で 18 科目(66.7%)が 4.0 以上を得ており、昨年後期(60%)より 6.7%上がった。状況に応じた柔軟な教室管理がなされた結果である。

* 「設問 5: 新しいものの見方」結果

「設問 5: 新しいものの見方」では、経営学部は 4.1%と高い結果となった。4.0 以上は 27 科目中 21 科目の 77.8%(昨年は 52%)であり、昨年より 25%と大幅に増加した。

7. 経営学部担当の専門共通基礎 I,II について

* 「(留) 市民生活とビジネス」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」においては、4.0~4.3 であるが、「教室管理」「オムニバス」3.5~3.93 であり、今年度前期や昨年度後期と比べ、低い結果となっている。原因としては、後期は担当教員の変更が考えられる。担当教員の留学生向けの講義への工夫が必要である。

* 「情報技術の経営学① (経営学部必修)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、全体は 4.15~4.28 であるが、留学生は 4.28~4.40 であり、良好な結果と言える。

* 「情報技術の経営学② (経済、法学部選択)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、やや留学生のスコアが高いが、全体として 3.83~4.02 である。

* 「人と組織の経営学① (経営学部必修)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、4.25 以上となっている。わかりやすさに関しては日本人学生のポイントが高く、新しいものの見方においては、留学生のポイントが高い結果となっている。

* 「人と組織の経営学② (経済、法学部選択)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、3.98~4.05 となっている。留学生のポイントは、4.45 ~4.73 で全体よりも高いが日本人学生 3.88~3.99 と低いため、日本人学生への配慮が求められる。

2017(平成 29)年度後期 人間生活科学部教育保育学科
授業評価アンケート結果分析

1 実施概要・教員所属別集計結果より

教育保育学科教員の授業評価アンケートは 8 科目について行われ、回収率は 100%であった。また、対象履修科目は 309 名中 265 名で、回答率は 86.5%であった。回答率は(昨年度→今年度)は(85.76%→86.5%)と若干増加している。

次に教員所属別集計結果から、「シラバスを読んでいない学生」の百分率は(昨年度→今年度)は (62.1%→64.6%)と増加している。昨年度と同様、シラバスを見て講義を選択しているというより、免許・資格を取得することを優先し授業を選択していると言えるのではないだろうか。この点、昨年度と同様シラバスの内容を周知させる必要性が強く感じられる。一方、「シラバス通りに授業を行っている」という問いに対する平均点は(昨年度→今年度)は(3.9→3.9)は昨年と変わっていない。しかしながら、シラバスを読んでいない学生が増加している中でのデータであり、授業者側への指摘も依然として明確である。出席率と意欲的に取り組んだかどうかの平均点に 11.7%の開きが出ている。免許・資格取得が優先し意欲も無いのに講義にだけは出ておこうといった学生の存在が気になるところである。

2 学生視点集計結果より

昨年度 4「内容が分かりやすかった」・5「新しい物の見方や考え方・・・」との比較において、全体での現 4 年生において昨年度と同様「3.7」・「3.6」と低い傾向が見られる。他学年を見てみると、全体が「4.0」・「3.9」に対し、(除くスポーツ学生)、1 年生「4.0」・「3.9」2 年生「4.0」・「4.1」という結果となっている。一方、スポーツ学生のみ平均を見てみると 1 年生「3.3」・「3.1」2 年生「3.9」・「3.8」と 2 学年共にとも低い傾向が見られる。昨年度現 4 年生で心配されたことが、スポーツ学生 1・2 年に当てはまるのではと心配される。3 年生「4.2」・「4.1」という結果となっている。すなわち、授業内容に知的関心に合致しないものがあり、教員サイドから考えると、学生の興味関心を引きつけるような手立てや内容を考えていく必要があるし、大変気になるところである。

教員の熱意と授業の進め方について。教員の 6「教員の熱意」・7「授業の進め方の適性」との比較において、全体で「4.2」・「4.0」という結果であった。現 4 年生において昨年度と同様「3.8」・「3.8」と低い傾向が見られる。他学年毎見てみると、(除くスポーツ学生)、1 年生「4.2」・「4.0」2 年生「4.3」・「4.1」という結果となっている。一方、スポーツ学生のみ平均を見てみると 1 年生「3.7」・「3.5」2 年生「4.2」・「4.1」という結果であった。2 年生では差がないが、1 年生において設問 4・5 と同様、顕著に差が現れているとみえる。昨年同様、教員の熱意は学生に伝わっているが授業の進め方においては、教員側のカリキュラム全体の洗い出しと、全体を見通した内容の精選と工夫が求められているのではないだろうか。さらに、スポーツ推薦の学生に対してはさらなる配慮が必要ではないだろうか。3 年「4.2」・「4.2」4 年は「3.8」・「3.8」という結果であった。

次に項目 8「教科書・配付資料の活用」である。全体の平均点「4.2」であった。学年

別でも同様にそれぞれの学年で「4.2」と高い結果が出ている。しかしながら、1学年のスポーツ推薦の学生のみ「3.6」という結果であった。1学年のスポーツ推薦の学生のみで進めている講義は無いと把握している。同じ教科書、同じ資料の提示、同じ講義の流しにおいても差が出ている。とにかく、学生に教科書を買わせたらどの学生にもしっかりと活用させる。どの学生にもより分かりやすい資料を作り心掛け授業を進めていくことは今後も続けていくことが大切である。

項目9「板書やスクリーン・モニターなど・・・」の提示については、平均「4.1」と概ね工夫がされているようである。この項目においてもスポーツ推薦1年生においてもみ平均が「3.8」と低さが目立っている。特別の学生だからやむを得ないという問題ではないと考える。同様の提示をしても1年生スポーツ推薦の学生は異なる答えを出していることは事実である。一層の授業改善・カリキュラムの見直しなどが必要であると考えられる。

項目10「教員の声は聞き取りやすさ」については、平均「4.2」と高い数値が得られている。今後も部屋の大きさ、学生の数、授業の内容などによって、マイクを使ったり、立ち位置を考えたりなど工夫していく必要がある。この項目においてはスポーツ推薦1年生において平均が「3.7」4年生「3.8」と低さが目立っている。

項目11「授業の妨げに対する教員の対応」については、昨年度と同様に平均「4.0」と概ねきちんと対応しているように思われる。スマートホンや私語などに対しては、多くの学生の授業の妨げになるので注意を厳しくしていくとともに、学生に自覚させていく必要がある。また遅刻に関してはどこまで認めるかを今後とも議論していく必要がある。また、スポーツ特待の学生を受け入れていくと、特別欠席についても何らかのペナルティーを与えるなど工夫する場面が今後考えられる。スポーツ推薦1年生においてのみ平均「3.9」とやや目立つ結果である。

項目12「教員は授業時間を守っていたか」については、平均「4.3」という高い結果が得られた。授業の内容や形態によっても始めと終わりが90分とは行かないにしても、やはり時間通り始まり終わるとするのが原則であり、徹底するようにしていきたい。

3 履修者数別集計結果

通常、どの項目も履修者が多くなれば数値が低くなることが予想される。ところが、項目1「授業に良く出席したか」平均「4.1」→平均「4.4」と0.3ポイント、項目9「板書・スクリーンモニターなどは見やすいか・・・」平均「4.2」→平均「4.3」と0.1ポイント、項目11「授業の妨げに対する教員の対応」平均「4.0」→平均「4.2」と0.2ポイント、項目12「教員は授業時間を守っていた・・・」平均「4.4」→平均「4.5」と0.1ポイント高い数値となっている。履修者が多い方が気楽に出席出来るのだろうか。また指導者側は履修者が多いほど板書など見やすく工夫し、出席管理も力を入れてやっているという結果が出ている。履修者の多い少ないが影響しているならば少々残念な結果である。

一方、低下したものは、項目2「意欲的に取り組んだか」平均「4.2」→平均「4.1」と0.1ポイント、項目7「授業の進め方、速さは適切か」平均「4.4」→平均「4.3」と0.1ポイント、項目8「教科書・配付資料は活用されていたか」平均「4.3」→平均「4.1」と0.2ポイント下回る結果が出ている。どんな場合もより分かりやすい授業に、購入した教

科書などはしっかりと活用したいものである。講義をさらに分かりやすく板書やスクリーン・モニターを見やすくしていく工夫が今後一層要求されていくことになる。

※ スポーツ推薦学生とスポーツを除く学生との結果比較

同学年内で「スポーツ学生」と「除くスポーツ学生」の得点を比較してみる。

2年生において差が見られなかった項目は7、11、12、差が「0.1」は項目4、6、8、9、10、差が「0.2」の項目2、差が「0.4」と大きかったのは項目3「授業の内容は分かりやすかったか」であった。

1年生において低い得点結果となった項目を挙げてみると、差が「0.7」の項目4「授業のわかりやすさ」、5「新しい物の見方考え方を得られたか」、8「教科書・配付資料は活用されたか」、差が「0.6」の項目2「授業に意欲的に取り組んだか」、差が「0.5」の項目6「教え方に熱意があったか」、7「授業の速さ進め方は適切であったか」、差が「0.4」の項目3「シラバスに沿って進められたか」、9「板書やスクリーンモニターは見やすかったか」、10「教員の声は聞き取りやすかったか」、差が「0.3」の項目1「授業によく出席したか」、差が0.2の項目11「授業の妨げに対する教員の対応」という結果であった。

現2年「スポーツ学生」は他の学生と比較しハンディキャップのある中よく頑張っているようである。しかしながら、昨年度の分析結果には「全体的に、スポーツ学生の方がどの項目を比べても、スポーツ学生を除く学生の結果よりも高い傾向である。……」（現2年生）というコメントが残されている。今年度、同学年他学生より高い数値を示した項目はなかった。

一方、1年生「スポーツ学生」では他の学生と比較しほとんどの項目で大きな得点差が出てしまっている。

この結果より、教員側の配慮事項・対策として、授業の速さ進め方の検討、さらに分かりやすい授業への教材研究などを大いに進めること、「スポーツ学生」の学習指導・生活指導を含め部活指導の監督との密接な連携が必要不可欠だと考える。しかしながら、限られた時間内で指導しなければならないため、内容を精選しさらに分かりやすく工夫するには限界があることも事実である。また教育実習や保育実習など時間に制約されることが多い中で、スポーツとの両立が可能だろうか、いや両立させていかなければならない状況である。学生自身の頑張りも必要だが、取得単位・教育実習との兼ね合い方・特別休暇などなど・学科側のシステム変更も必要になってくると考える。

**2017(平成 29)年度後期 人間生活科学部管理栄養学科
授業アンケート結果報告**

1. 実施概要

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率(F÷E) |
|--------|------------------|------------------|----------|----------|
| 管理栄養学科 | 1,247 | 1,213 | 891 | 73.45 |
| 【全体】 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |

人間生活科学部管理栄養学科の平成 29 年後期授業アンケート対象は、管理栄養学科の専任担当科目のうち 25 科目であった。回収科目の履修者数は 1,213 人、回答者数は 891 人であり、回答率は 73.45%である。前期の回収率 (85.12%) に比べ若干減少したが、大学全体の回収率より高い傾向である。

2. 管理栄養学科所属教員の平均および学年結果

| 設問 | 内容 | 平均 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 4.4 | 3.9 |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか | 4.0 | 3.8 | 4.2 | 4.1 | 4.1 |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか | 3.8 | 3.6 | 4.1 | 4.0 | 4.1 |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか | 3.9 | 3.5 | 4.3 | 4.2 | 4.4 |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか | 3.9 | 3.5 | 4.2 | 4.2 | 4.5 |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか | 4.1 | 3.8 | 4.4 | 4.3 | 4.6 |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか | 4.0 | 3.7 | 4.2 | 4.1 | 4.6 |
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか | 4.1 | 3.9 | 4.4 | 4.2 | 4.6 |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか | 4.1 | 3.8 | 4.3 | 4.2 | 4.6 |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか | 4.1 | 3.7 | 4.4 | 4.3 | 4.8 |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか | 4.0 | 3.7 | 4.3 | 4.1 | 3.9 |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか | 4.2 | 4.1 | 4.4 | 4.3 | 4.4 |

管理栄養学科に所属する専任教員担当科目の平均は、3.8 が 1 項目、3.9 が 2 項目であったが、その他の設問で 4.0 以上であった。

設問 1 の出席に関する項目では平均 4.4 であり、特に 4 年次の授業参加率は低かった。

設問 2 の授業への意欲的に取り組んでいるかの項目では 2 年次の評価が高い値を示した。

設問 3 のシラバスにそって授業を行ったかの項目で 1 年次の評価が若干低かった。

設問 4(授業内容のわかりやすさ)と 5 (新たなものの見方や考え方) では、1 年次の評価が他年次と比べ低い値を示した。以上設問 3 から設問 5 まで評価平均が 4.0 を切っていたが、原因は 1 学年の評価が低いことが原因であった。

設問 6 の教員の意欲、設問 7 の授業の進行、設問 8 教科書の活用、設問 9 の板書などの見やすさ、設問 10 の教員の声、設問 11 の教室管理、設問 12 の授業時間の項目で 1 年次以外の学年では良い結果を得ている。1 年次の

結果は全体的に他の学年と比べ、かなり低い結果を示している。学年毎に学生の特徴を把握し、対応する必要があると考える。

3. 授業のわかりやすさおよび知的関心について

表1. わかりやすさ

| | |
|------------------------------|------|
| 基礎栄養学 II(2 組)(金 2) | 4.77 |
| 給食経営管理論実習(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 4.72 |
| 基礎栄養学実習(1 組)(火 2.火 3.火 4) | 4.66 |
| 食品学実験 II(1 組)(木 2.木 3.木 4) | 4.64 |
| 食品機能学(火 5) | 4.56 |
| 給食経営管理論 II(1 組)(金 2) | 4.43 |
| 臨床栄養学 III(2 組)(月 4) | 4.36 |
| 栄養教育論実習 I(2 組)(火 2.火 3.火 4) | 4.31 |
| 食品学 II(2 組)(火 3) | 4.30 |
| 臨床栄養学実習 II(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.26 |
| 栄養教育論演習(1 組)(木 2.木 3) | 4.21 |
| 公衆衛生学 II(2 組)(火 3) | 4.17 |
| 公衆衛生学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 4.17 |
| 公衆栄養学 I(1 組)(月 1) | 4.15 |
| 臨床栄養学 I(2 組)(木 5) | 4.15 |
| 栄養教育論 I(1 組)(月 3) | 4.13 |
| 総合演習(火 4.木 4) | 4.10 |
| 病態学 II(2 組)(木 4) | 3.93 |
| 解剖生理学実習(1 組)(金 1.金 2.金 3) | 3.85 |
| フードコーディネータ論(月 1) | 3.82 |
| 生命の科学(火 3) | 3.82 |
| 生化学 II(2 組)(月 2) | 3.61 |
| 解剖生理学 II(2 組)(火 4) | 3.58 |
| 応用栄養学 II(1 組)(金 1) | 3.55 |
| 生化学実験 II(1 組)(木 2.木 3.木 4) | 3.46 |

表1に授業のわかりやすさについての結果を示した。項目平均は3.9であり、17の科目で4.0以上の結果である。4.0以下の結果の科目は1年・2年次の科目が多く、基礎科目の理解度を向上させる授業の取り組みが必要とされる。

表2. 新しいものの見方や考え方

| | |
|-----------------------------|------|
| 給食経営管理論実習(2 組)(木 1.木 2.木 3) | 4.76 |
| 基礎栄養学 II(2 組)(金 2) | 4.55 |
| 基礎栄養学実習(1 組)(火 2.火 3.火 4) | 4.53 |
| 食品学実験 II(1 組)(木 2.木 3.木 4) | 4.44 |
| 食品機能学(火 5) | 4.44 |

| | |
|-----------------------------|------|
| 臨床栄養学 III(2組)(月 4) | 4.39 |
| 栄養教育論実習 I(2組)(火 2.火 3.火 4) | 4.38 |
| 臨床栄養学実習 II(1組)(金 1.金 2.金 3) | 4.31 |
| 給食経営管理論 II(1組)(金 2) | 4.30 |
| 栄養教育論演習(1組)(木 2.木 3) | 4.28 |
| 総合演習(火 4.木 4) | 4.18 |
| 栄養教育論 I(1組)(月 3) | 4.17 |
| 公衆栄養学 I(1組)(月 1) | 4.15 |
| 臨床栄養学 I(2組)(木 5) | 4.15 |
| 公衆衛生学 II(2組)(火 3) | 4.13 |
| 食品学 II(2組)(火 3) | 4.10 |
| 解剖生理学実習(1組)(金 1.金 2.金 3) | 4.06 |
| 公衆衛生学実習(1組)(金 1.金 2.金 3) | 4.03 |
| 病態学 II(2組)(木 4) | 3.96 |
| 生命の科学(火 3) | 3.84 |
| フードコーディネーター論(月 1) | 3.80 |
| 解剖生理学 II(2組)(火 4) | 3.74 |
| 生化学実験 II(1組)(木 2.木 3.木 4) | 3.60 |
| 応用栄養学 II(1組)(金 1) | 3.58 |
| 生化学 II(2組)(月 2) | 3.46 |

表 2 は新しいものの見方や考え方に関する結果を示してある。項目平均は 3.9 である。

新しいものの見方や考え方の設問では 18 科目が 4.0 以上の値をしてしる。高学年の科目で高い評価が見られる。学年が上がるにつれ、基礎科目で学んだ知識の活用や理解が深まり、総合的に学ぶ学習力の向上に繋がっているのではないかと考えられる。

4. 授業・教室管理について

表 3. 授業・教室管理

| | |
|----------------------------|------|
| 基礎栄養学実習(1組)(火 2.火 3.火 4) | 4.75 |
| 給食経営管理論実習(2組)(木 1.木 2.木 3) | 4.64 |
| 栄養教育論実習 I(2組)(火 2.火 3.火 4) | 4.41 |
| 食品機能学(火 5) | 4.38 |
| 臨床栄養学 I(2組)(木 5) | 4.37 |
| 食品学実験 II(1組)(木 2.木 3.木 4) | 4.36 |
| 基礎栄養学 II(2組)(金 2) | 4.35 |
| 給食経営管理論 II(1組)(金 2) | 4.30 |
| 栄養教育論演習(1組)(木 2.木 3) | 4.24 |
| 栄養教育論 I(1組)(月 3) | 4.23 |
| 総合演習(火 4.木 4) | 4.21 |
| 臨床栄養学 III(2組)(月 4) | 4.21 |
| 公衆栄養学 I(1組)(月 1) | 4.21 |

表 3 は授業及び教室管理に関する結果を示している。平均は 4.0 であり、19 科目が 4.0 以上の値をしてした。授業・教室管理の数値が高い科目の多くは、わかりやすさや新しい見方や考え方の数値も高くなっている。教員の教室管理のやり方について学生に明確に周知しておく必要があるかもしれない。学生がより良い環境で授業を受けるような努力が必要とされる。

| | |
|-----------------------------|------|
| 公衆衛生学 II(2組)(火 3) | 4.19 |
| 食品学 II(2組)(火 3) | 4.17 |
| 病態学 II(2組)(木 4) | 4.04 |
| 応用栄養学 II(1組)(金 1) | 4.03 |
| 解剖生理学実習(1組)(金 1.金 2.金 3) | 4.03 |
| フードコーディネータ論(月 1) | 4.02 |
| 臨床栄養学実習 II(1組)(金 1.金 2.金 3) | 3.94 |
| 公衆衛生学実習(1組)(金 1.金 2.金 3) | 3.93 |
| 生化学実験 II(1組)(木 2.木 3.木 4) | 3.86 |
| 生化学 II(2組)(月 2) | 3.82 |
| 生命の科学(火 3) | 3.78 |
| 解剖生理学 II(2組)(火 4) | 3.63 |

5. クロス集計

| | | わかりやすさ 設問 4 | | | | | |
|----------------------|------|-------------|-----|-----|----|----|---|
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室 管理 設問 11 | 回答なし | | | 2 | | | |
| | 1 | | 258 | 49 | 13 | 2 | 2 |
| | 2 | 2 | 48 | 280 | 32 | 11 | 1 |
| | 3 | | 16 | 50 | 86 | 13 | 4 |
| | 4 | | 4 | 1 | 5 | 3 | 2 |
| | 5 | | | 1 | 1 | | 5 |

| | | 教科書・配布資料の活用 設問 8 | | | | | |
|----------------------|------|------------------|-----|-----|----|---|---|
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室 管理 設問 11 | 回答なし | | | 2 | | | |
| | 1 | | 268 | 35 | 19 | | 2 |
| | 2 | 1 | 46 | 287 | 35 | 5 | |
| | 3 | 2 | 20 | 57 | 83 | 6 | 1 |
| | 4 | | 3 | 5 | 3 | 4 | |
| | 5 | | 1 | | 1 | | 5 |

| | | 板書やスクリーンの見やすさ 設問 9 | | | | | |
|----------------------|------|--------------------|-----|-----|----|---|---|
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室 管理 設問 11 | 回答なし | | | 2 | | | |
| | 1 | 18 | 260 | 37 | 7 | 1 | 1 |
| | 2 | 6 | 55 | 290 | 17 | 6 | |
| | 3 | 4 | 21 | 62 | 74 | 7 | 1 |
| | 4 | 1 | 4 | 3 | 5 | 2 | |
| | 5 | | 1 | 1 | | | 5 |

| | | 声の聞き取りやすさ 設問 10 | | | | | |
|----------------------|------|-----------------|-----|-----|----|---|---|
| | | 回答なし | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 教室 管理 設問 11 | 回答なし | | | 2 | | | |
| | 1 | 1 | 296 | 20 | 7 | | |
| | 2 | | 71 | 284 | 16 | 2 | 1 |
| | 3 | | 31 | 50 | 85 | 2 | 1 |
| | 4 | | 5 | 2 | 5 | 3 | |
| | 5 | | | 2 | | | 5 |

クロス集計では、教室管理（設問 11）とわかりやすさ（設問 4）、教科書・配布資料の活用（設問 8）、板書やスクリーンの見やすさ（設問 9）、声の聞き取りやすさ（設問 10）の 4 つの設問について行った。

共通する結果として、教室・授業管理について低い評価を得ている場合、クロス項目の評価も低い値を示す傾向が見られた。

設問 11 の教室管理の評価基準に私語・携帯電話・遅刻などの対応が含まれているが厳しく注意することにより、一部の学生からは学習意欲の低下になるとの意見もあった。高学年の場合、平均が高いのは、学習目標の明確化（国家試験）により勉学への意欲も高くなる傾向にあると考えられる。

2017（平成 29）年度後期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

前期授業評価アンケート対象科目のうち、非常勤講師担当は 21 科目についてアンケートが実施された。

実施科目の内訳は情報科目 15、教職科目 3、学部学科専門科目 3 であった。

| 所属名 | 対象科目数 (A) | 回収科目数 (B) | 回収率 (B÷A) | コメント 提出科目数 (C) | コメント提出率 (C÷B) |
|------|--------------|--------------|--------------|----------------------|------------------|
| 【全体】 | 141 | 140 | 99.29 | 140 | 100.00 |
| 非常勤 | 21 | 21 | 100.00 | 21 | 100.00 |

| 所属名 | 対象科目 履修者数 (D) | 回収科目 履修者数 (E) | 回答者数 (F) | 回答率 (F÷E) |
|------|---------------------|---------------------|-------------|--------------|
| 【全体】 | 9,312 | 9,278 | 6,161 | 66.40 |
| 非常勤 | 526 | 526 | 299 | 56.84 |

回答率（アンケート時の出席率）が全体と比較してかなり低い。21 科目はすべて小規模クラスであり、従来小クラスの回答率は高い傾向にあるため、情報科目（15 クラス）とそれ以外の科目（6 クラス）について別資料を調べた結果、情報科目の回答率が低く、5 クラスについては回答者が 10 名未満であり（下記参照）、分析対象として不適切な回答数であった。この傾向は前期にも見られ、次年度に向けて学生が出席するような仕組みを考える必要がある。

II. 集計結果について

設問項目

| | |
|---|---------------------------------|
| 1 | あなたはこの授業によく出席しましたか |
| 2 | あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか |
| 3 | この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか |
| 4 | 授業内容はわかりやすかったと思いますか |
| 5 | この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか |
| 6 | 教員の教え方には熱意があったと思いますか |
| 7 | 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか |

| | |
|----|---|
| 8 | 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか |
| 9 | 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか |
| 10 | 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか |
| 11 | 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか |
| 12 | 教員は授業時間を守っていたと思いますか |
| E | あなたはこの授業のシラバスを読みましたか |

1. 21科目の平均ポイント

| 設問 1 | 設問 2 | 設問 3 | 設問 4 | 設問 5 | 設問 6 | 設問 7 | 設問 8 | 設問 9 | 設問 10 | 設問 11 | 設問 12 | 設問 E(Yes 率) |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------------|
| 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 4.0 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.8 | 4.3 | 45.5% |

設問 4「わかりやすさ」と設問 5「新しいものの見方」が 3.9、設問 11「授業・教室管理」が 3.8 で、改善が求められる。

2. クラスサイズ別の平均ポイント

21 クラスすべてが 50 名以下のため、平均ポイントは上記の 1 と同様となる。21 クラスの内訳をみると、履修者数 15 名~20 名が 5 クラス、25 名~30 名が 12 クラス、31 名~40 名が 4 クラスであった。履修者数の視点からは適切な学習環境と思われ、この点からも「わかりやすさ」「授業・教室管理」の改善が望まれる。

3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

(1) 情報科目 (15 クラス)

| 科目名 | 担当者 | わかりやすさ | 新しいものの見方 | 授業・教室管理 | 履修者数 | 回答者数 |
|-----------------------|-----|--------|----------|---------|------|------|
| (留)情報(Word)A(月 3.金 4) | A | 4.29 | 4.14 | 4.29 | 25 | 7 |
| (留)情報(Word)B(月 3.金 4) | D | 4.33 | 4.33 | 4.27 | 27 | 15 |
| (留)情報(Word)C(月 3.金 4) | E | 4.00 | 4.00 | 4.50 | 27 | 4 |
| (留)情報(Word)D(月 4.金 3) | E | 4.38 | 4.38 | 4.00 | 20 | 9 |
| (留)情報(Word)E(月 4.金 3) | A | 4.60 | 4.40 | 4.50 | 23 | 10 |
| (留)情報(Word)F(月 4.金 3) | D | 4.08 | 3.92 | 3.83 | 23 | 12 |
| ビジネス情報処理 II(木 3) | C | 4.27 | 4.23 | 4.23 | 25 | 22 |

| | | | | | | |
|-------------------------|---|------|------|------|----|----|
| 情報(Excel)(2)(木 2) | E | 4.00 | 3.73 | 3.93 | 27 | 15 |
| 情報(Excel)(3)(木 4) | C | 4.20 | 4.27 | 4.27 | 37 | 15 |
| 情報(Excel)(4)(金 2) | D | 3.80 | 3.80 | 3.80 | 24 | 20 |
| 情報(Power Point)(1)(金 2) | B | 3.75 | 3.50 | 3.75 | 25 | 4 |
| 情報(Power Point)(2)(金 2) | A | 4.36 | 4.00 | 4.36 | 27 | 11 |
| 情報(Word)(5)(金 3) | B | 4.50 | 4.50 | 4.50 | 15 | 2 |
| 情報基礎 I(1)(木 1)管理栄養 | E | 3.24 | 3.35 | 3.18 | 23 | 17 |
| 情報基礎 I(2)(木 1)管理栄養 | C | 3.83 | 4.00 | 4.08 | 24 | 12 |

16クラス中5クラスがアンケート時の回答者数が10名未満であった。データとしては「アンケート対象外」の扱いになる。1クラスを除き、「わかりやすさ」「新しいもの見方」「授業・教室管理」のポイントは適切である。MOSなどの資格対策科目のため、出席し、実際に作業をすることが目的である。出席を促す指導が求められる。

(2) 教職科目 (3科目)、学部専門科目 (3科目)

| 科目名 | 担当者 | わかりやすさ | 新しいもの見方 | 授業・教室管理 | 履修者数 | 回答者数 |
|----------------------------|-----|--------|---------|---------|------|------|
| (教)教育の方法・技術(金 5) | F | 3.81 | 3.94 | 3.88 | 18 | 16 |
| (教)教職実践演習(栄養) (土 1.土 2) | G | 4.64 | 4.90 | 3.64 | 13 | 11 |
| (教)生徒指導(中・高)(水 4) | H | 4.45 | 4.55 | 4.18 | 14 | 11 |
| 特別支援教育論(金 1) | I | 4.37 | 4.44 | 3.78 | 35 | 27 |
| 健康管理論(2組)(月 3) | J | 2.68 | 2.86 | 3.00 | 39 | 32 |
| 健康管理論(1組)(月 2) | | 3.09 | 3.31 | 3.34 | 35 | 28 |

教職3科目のうち2科目は「わかりやすさ」と「新しいもの見方」について高いポイントを示している。専門科目「健康管理論」は授業改善が求められる。

4. 「授業・教室管理」との4項目クロス集計について

設問11「授業・教室管理」と、設問4「わかりやすさ」、設問8「教科書、配布資料の活用」、設問9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問10「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計結果（詳細データは省略）では、いずれのクロス集計においても、「授業・教室管理」のポイントが高ければ、クロス項目のポイントも高くなるという強い相関関係が見られた。

以上